

同和問題（部落差別）についての
市民意識調査
報 告 書

令和3年3月

名古屋市

はじめに

日本には特定の地域の出身であることなどを理由として差別を受けるといふ人権問題があります。この日本固有の人権問題は、「同和問題（部落差別）」と呼ばれており、憲法に保障された基本的人権にかかわる重要な問題です。

本市では、同和問題（部落差別）の解決を図るために、同和対策事業を総合的かつ計画的に推進してまいりました。こうした取り組みにより、物的な基盤整備は、急速に進展し、実態的な差別解消に向けて、大きな成果と実績を挙げることができました。しかしながら、教育、就労、産業などの分野や同和問題（部落差別）に関する心理面、意識面においては、なお、いくつかの課題があり、粘り強くそれらの解決を図っていく必要があります。

現在、法に基づく特別対策としての事業は終了しましたが、平成12年には、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が制定され、地方公共団体は、国との連携を図りつつ、人権教育・啓発に関する施策を策定し、実施する責務を有するとされました。

また、平成28年には、現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、部落差別の解消に関し、基本理念や相談体制の充実等について定めた「部落差別の解消の推進に関する法律」が公布・施行されました。

本市では、昭和56年以降、同和問題（部落差別）に関する市民意識調査を概ね5年ごと実施しており、このたび、令和2年10月に第9回目の市民意識調査を実施しました。

本報告書は、その結果をまとめたものであり、同和問題（部落差別）の速やかな解決と人権意識の高揚に向けて、今後の啓発活動に役立てていきたいと考えております。

この調査の実施にあたりまして、ご協力いただきました市民の皆様には厚くお礼を申し上げます。

令和3年3月

名古屋市スポーツ市民局長
寺澤 雅代

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査項目	1
3	調査方法	1
4	回収状況	1
5	標本構成	2
6	調査結果の見方	3
7	標本誤差	3
II	調査結果	4
	〔一般的意識の状況〕	
1	差別に対する考え方	4
	〔同和問題（部落差別）の認知状況〕	
2	同和問題（部落差別）の認知状況	13
3	同和問題（部落差別）の認知経路	17
4	同和問題（部落差別）の認知時期	21
	〔同和問題（部落差別）の認識状況〕	
5	同和問題（部落差別）を知ったときの印象	25
6	同和問題（部落差別）に対する認識状況	28
	〔交際や結婚における差別意識の状況〕	
7	交際における差別意識	31
8	結婚における差別意識1（親類や親しい人の結婚）	34
9	結婚における差別意識2（子どもの結婚）	37
10	結婚における差別意識3（本人の結婚）	41
	〔同和問題（部落差別）の現状認識〕	
11	インターネット上での差別についての認知状況	45
12	起きていると思う人権問題	49
	〔同和問題（部落差別）に関する啓発活動等の認識状況〕	
13	啓発活動への参加・関わりの状況	53
	〔人権教育の状況〕	
14	同和問題（部落差別）の学習	60
15	人権教育に期待するもの	64
16	今後の教育・啓発のあり方	68
	〔同和問題（部落差別）の解決策〕	
17	同和問題（部落差別）の解決策	71
	〔「部落差別の解消の推進に関する法律」の認知状況〕	
18	「部落差別の解消の推進に関する法律」の認知状況	74
	〔人権に関する認識状況〕	
19	「基本的人権」に対する意識	77
III	単純集計表/性別クロス集計表	80
IV	使用調査票	89

I 調査の概要

1 調査の目的

本市では同和問題（部落差別）についての市民意識調査として昭和56年7月に第1回を実施して以来、おおむね5年ごとに調査を実施し、今回で9回目となる。この間、その結果を踏まえ市民啓発の推進を図ってきたが、これまで実施してきた啓発の効果及び課題を明らかにするとともに、今後の啓発のあり方等の資料を得ることを目的として実施した。

2 調査項目

この調査は、次の事項全19問について実施した。

- (1) 一般的意識の状況
- (2) 同和問題（部落差別）の認知状況
- (3) 同和問題（部落差別）の認識状況
- (4) 交際や結婚における差別意識の状況
- (5) 同和問題（部落差別）の現状認識
- (6) 同和問題（部落差別）に関する啓発活動等の認識状況
- (7) 人権教育の状況
- (8) 同和問題（部落差別）の解決策
- (9) 「部落差別の解消の推進に関する法律」の認知状況
- (10) 人権に関する認識状況 など

なお、以前実施した調査と比較できるようにした。

3 調査方法

- (1) 調査地域 名古屋市全域
- (2) 調査対象 名古屋市内に居住する満18歳以上の市民3,000人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送法
- (5) 調査期間 令和2年10月12日～11月2日
- (6) 実施主体 名古屋市スポーツ市民局

4 回収状況

	標本数	有効回収標本数	有効回収率(%)
全市	3,000	1,741	58.0%

5 標本構成

(1) 年齢階層

	総数	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	無回答
合 計	1741	173	221	314	288	276	277	141	51
	100.0%	9.9%	12.7%	18.0%	16.5%	15.9%	15.9%	8.1%	2.9%
男 性	761	71	90	137	134	139	132	58	0
	43.7%	41.0%	40.7%	43.6%	46.5%	50.4%	47.7%	41.1%	0.0%
女 性	884	98	127	172	147	130	137	73	0
	50.8%	56.6%	57.5%	54.8%	51.0%	47.1%	49.5%	51.8%	0.0%
その他	9	3	1	1	1	2	0	1	0
	0.5%	1.7%	0.5%	0.3%	0.3%	0.7%	0.0%	0.7%	0.0%
無回答	87	1	3	4	6	5	8	9	51
	5.0%	0.6%	1.4%	1.3%	2.1%	1.8%	2.9%	6.4%	100.0%
	100.0%	1.1%	3.4%	4.6%	6.9%	5.7%	9.2%	10.3%	58.6%

性別欄の中段は年齢階層別の男女比、下段は男女別の年齢階層比

(2) 職業分布

	総数	自営業主 (商工サー ビス、建設 業、自由業 などの事業 主)	家族従事者 (商工サー ビス、建設 業、自由業 などの家族 従事の方)	公務員	教員	企業・団体 の経営者、 役員	企業・団体 の勤め人	臨時雇、 パートタイ マー、派 遣、契約社 員などの非 正規雇用	その他の有 業者
合 計	1741	120	30	64	24	44	454	297	32
	100.0%	6.9%	1.7%	3.7%	1.4%	2.5%	26.1%	17.1%	1.8%
男 性	761	83	6	36	8	38	279	67	19
	43.7%	69.2%	20.0%	56.3%	33.3%	86.4%	61.5%	22.6%	59.4%
女 性	884	33	23	23	16	6	167	227	10
	50.8%	27.5%	76.7%	35.9%	66.7%	13.6%	36.8%	76.4%	31.3%
その他	9	0	1	3	0	0	2	0	1
	0.5%	0.0%	3.3%	4.7%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	3.1%
無回答	87	4	0	2	0	0	6	3	2
	5.0%	3.3%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	1.3%	1.0%	6.3%
	100.0%	4.6%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	6.9%	3.4%	2.3%

	家事専業者	学生	無職	無回答
合 計	204	58	357	57
	11.7%	3.3%	20.5%	3.3%
男 性	1	22	198	4
	0.5%	37.9%	55.5%	7.0%
女 性	200	36	143	0
	98.0%	62.1%	40.1%	0.0%
その他	0	0	2	0
	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
無回答	3	0	14	53
	1.5%	0.0%	3.9%	93.0%
	3.4%	0.0%	16.1%	60.9%

性別欄の中段は職業分布別の男女比、下段は男女別の職業分布比

6 調査結果の見方

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。
このため、合計が100%にならないこともある。
- (2) 本文中の比率はすべて件数を100%として算出した。
- (3) 調査結果では、質問文の最後に(SA)(MA)と表示した。SA(Single Answer)は回答を1つだけ選ぶ質問、MA(Multiple Answer)は複数回答が可能な質問であることを表している。
- (4) 複数回答が可能な質問では、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をするため、各項目の比率の合計は通常100%を超える。
- (5) 本報告書のグラフ・集計表内の回答選択肢は、省略をして掲載している場合がある。

7 標本誤差

調査結果については、統計上多少の誤差(標本誤差)が生じることがあり、調査結果を見る場合には、次のような一定の幅を持たせて見る必要がある。

この調査の標本誤差は次の公式により計算される。

【計算式】

$$\sigma = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

※ただし σ = 標本誤差

n = 回収数

P = 回答率

この公式によって計算された標本誤差は次のとおりとなる。

【標本誤差早見表(信頼度:95%)】

n	P	%				
		10 または90	20 または80	30 または70	40 または60	50
サンプル数	50	±8.5	±11.3	±13.0	±13.9	±14.1
	100	±6.0	±8.0	±9.2	±9.8	±10.0
	300	±3.5	±4.6	±5.3	±5.7	±5.8
	500	±2.7	±3.6	±4.1	±4.4	±4.5
	800	±2.1	±2.8	±3.2	±3.5	±3.5
	1,000	±1.9	±2.5	±2.9	±3.1	±3.2
	1,200	±1.7	±2.3	±2.6	±2.8	±2.9
	1,500	±1.5	±2.1	±2.4	±2.5	±2.6
	1,741	±1.4	±1.9	±2.2	±2.3	±2.4
	2,000	±1.3	±1.8	±2.0	±2.2	±2.2

《この表の見方》

例えば、回答者数が1,741である質問における、ある1つの選択肢の回答比率が30%であった場合、その回答の比率の誤差の範囲は±2.2%(27.8%~32.2%)の範囲にあることが95%の信頼度でいえることになる。

Ⅱ 調査結果

1 差別に対する考え方

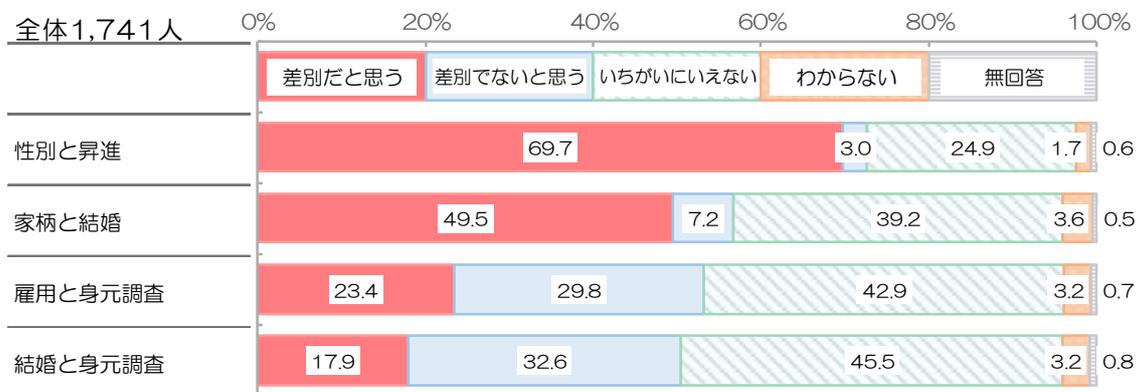
【質問1】

日本国憲法の第14条には、「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」と定められています。あなたは「差別」ということについてどうお考えですか。（SA）

- I 同じように仕事ができるのに、性別だけで昇進に差をつけることは
 - Ⅱ 家柄が違うということで、結婚に反対することは
 - Ⅲ 人を雇うときに身元調査（聞き合わせ）をすることは
 - Ⅳ 結婚のときに相手の身元調査（聞き合わせ）をすることは
- （あてはまる番号1つに○）

- 1 差別だと思う
- 2 差別でないと思う
- 3 いちがいにいえない
- 4 わからない

【単純集計】



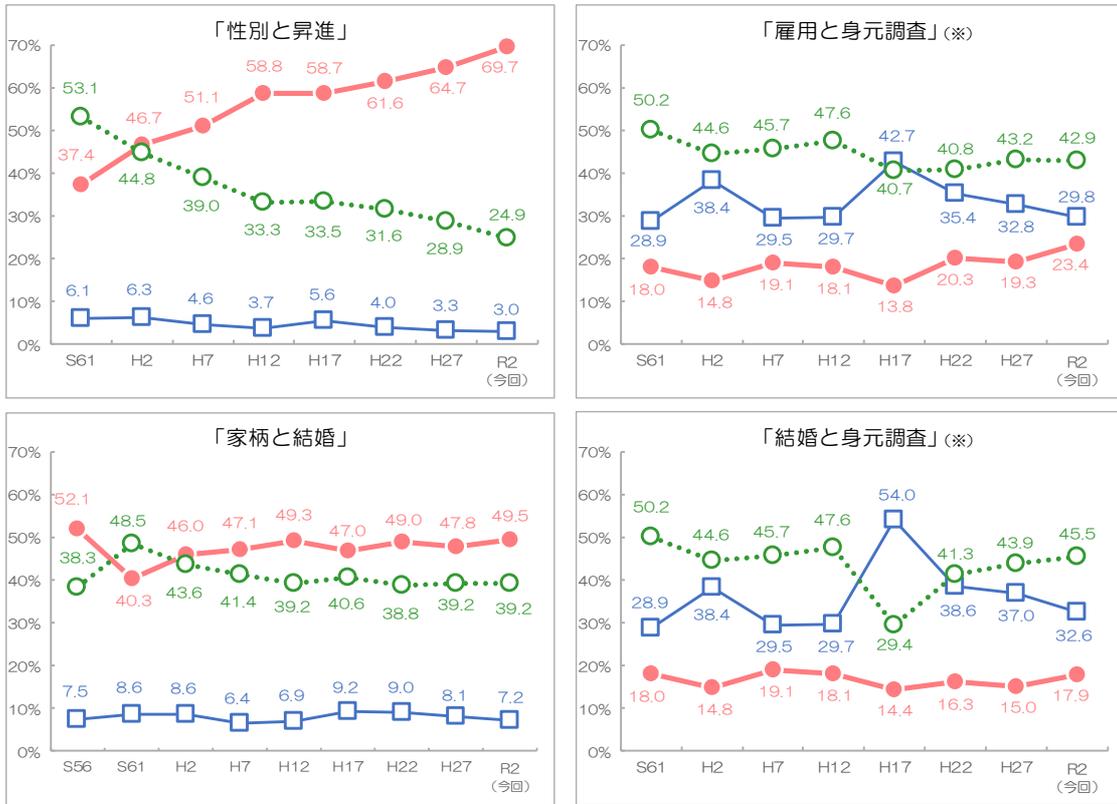
「差別だと思う」と答えた人の割合は、【性別で昇進に差をつける】は69.7%、【家柄で結婚に反対する】は49.5%と高くなっている。

一方、【雇用時に身元調査をする】【結婚時に身元調査をする】では、いずれも「差別でないと思う」と答えた人の割合（各29.8%、32.6%）は、「差別だと思う」と答えた人の割合（各23.4%、17.9%）を上回っている。

 【性別で昇進に差をつける】【家柄で結婚に反対する】を「差別だと思う」と答えた人の割合は高く、【雇用時に身元調査をする】【結婚時に身元調査をする】を「差別だと思う」と答えた人の割合は低い

【時系列比較】

●● 差別だと思う □□ 差別でないと思う ●● いちがいにいいない



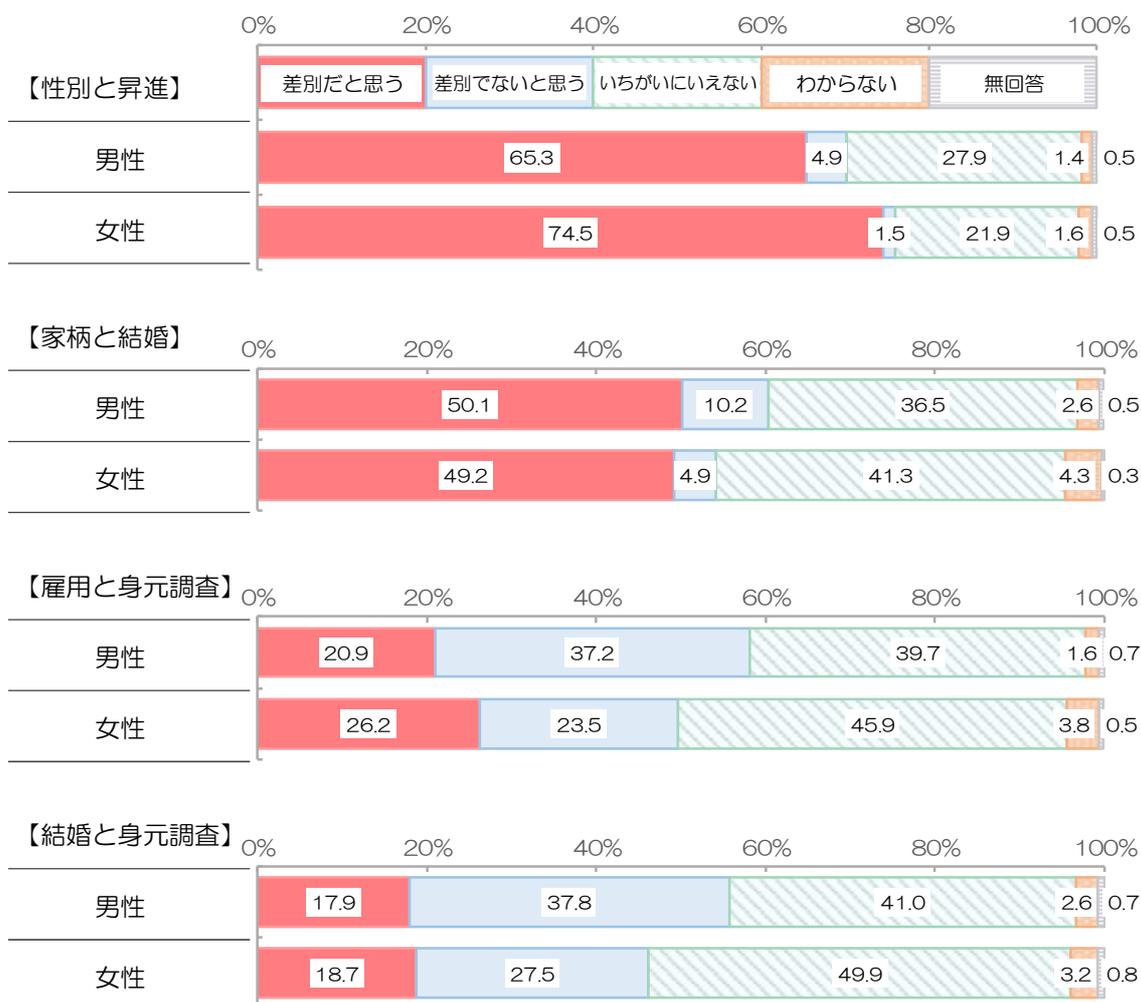
※注：H12までは「雇用・結婚と身元調査」という項目で調査した。



【性別で昇進に差をつける】を「差別だと思う」と答えた人の割合は増えており、以前の調査と比較して最も高くなっている

【属性別集計】

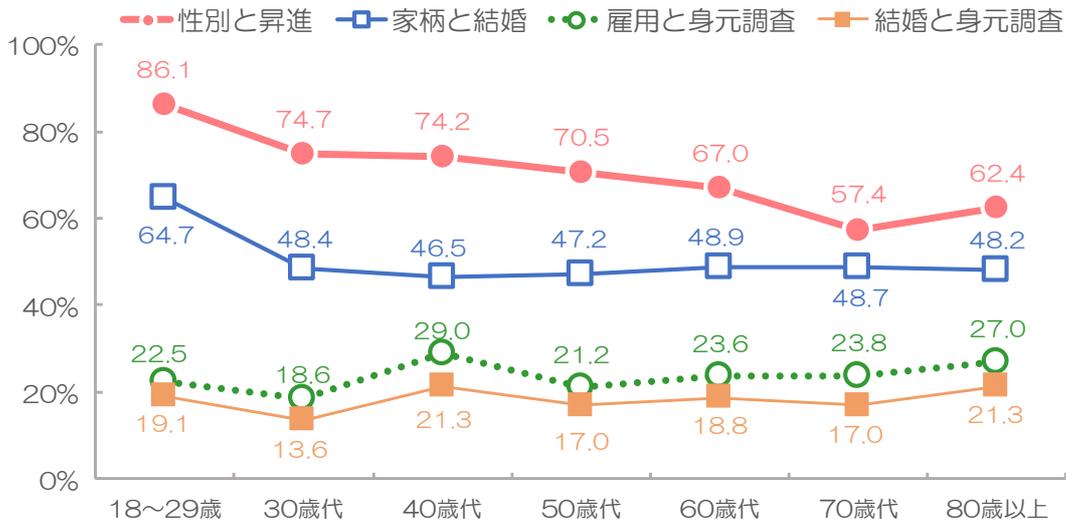
●性別比較



【性別で昇進に差をつける】を「差別だと思う」と答えた人の割合は、男性 65.3%、女性 74.5%、【家柄で結婚に反対する】を「差別だと思う」と答えた人の割合は、男性 50.1%、女性 49.2%となっている。

●年代別比較

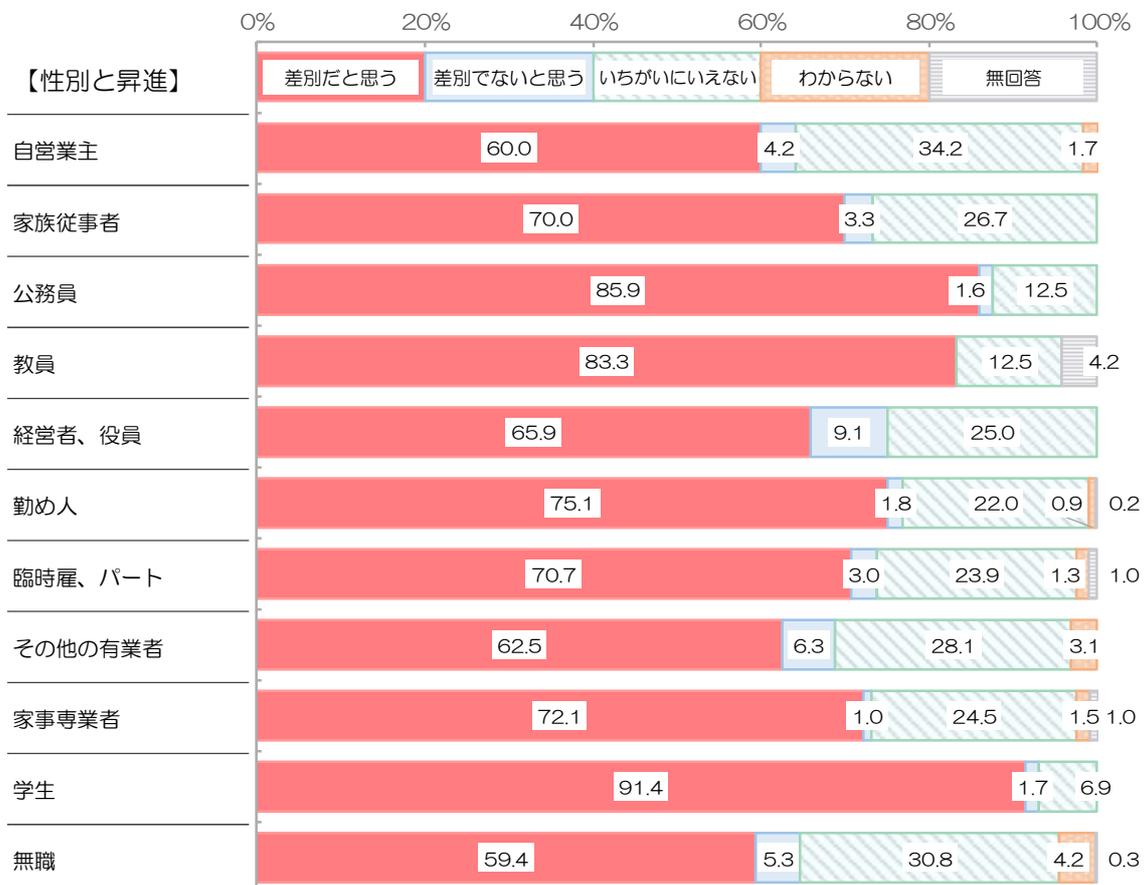
質問 1 (I~IV) について「差別だと思う」と答えた人の割合を、年代別比較



いずれの年代も、【性別で昇進に差をつける】【家柄で結婚に反対する】を「差別だと思う」と答えた人の割合は、【雇用時に身元調査をする】【結婚時に身元調査をする】と比較すると高い

●職業別比較

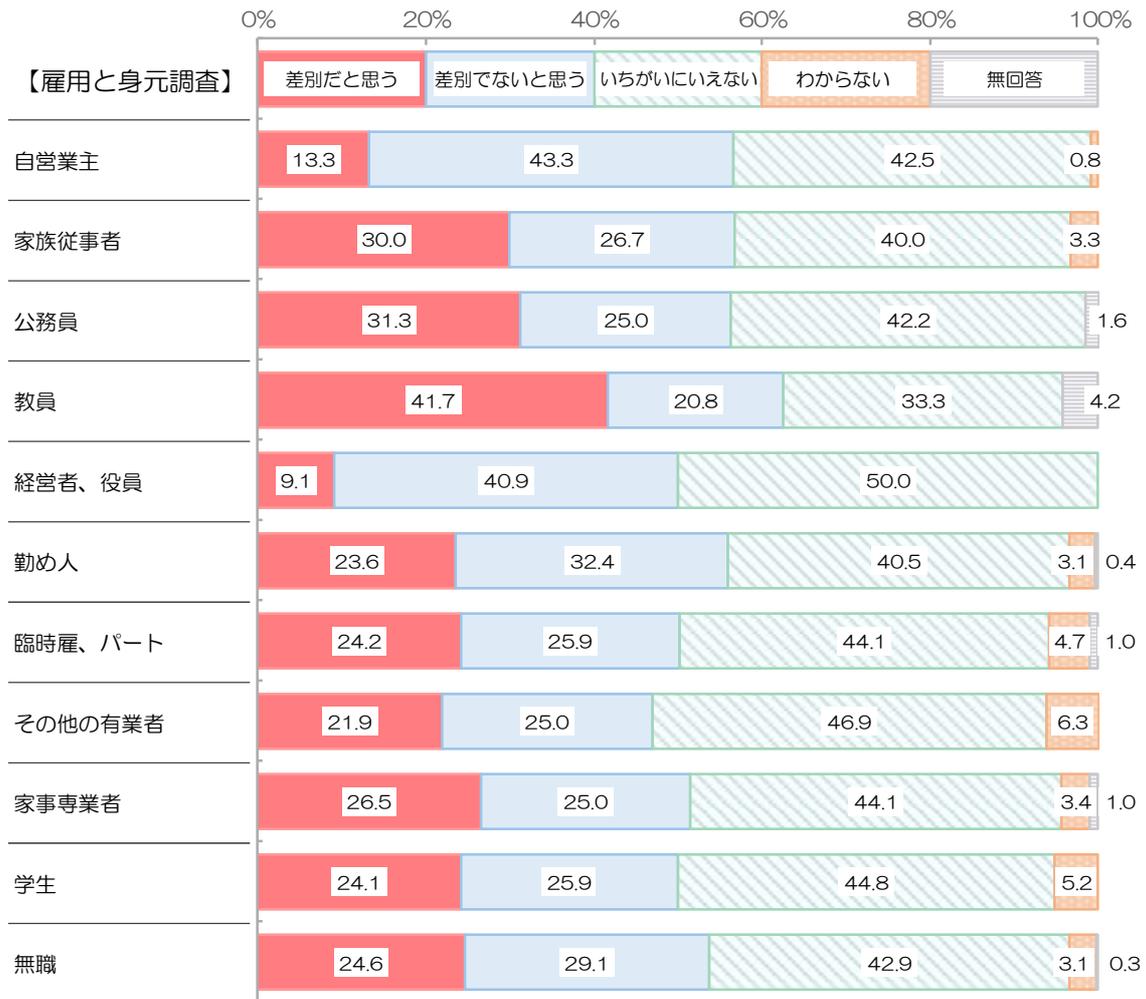
(質問 1-I)



(質問 1-Ⅱ)

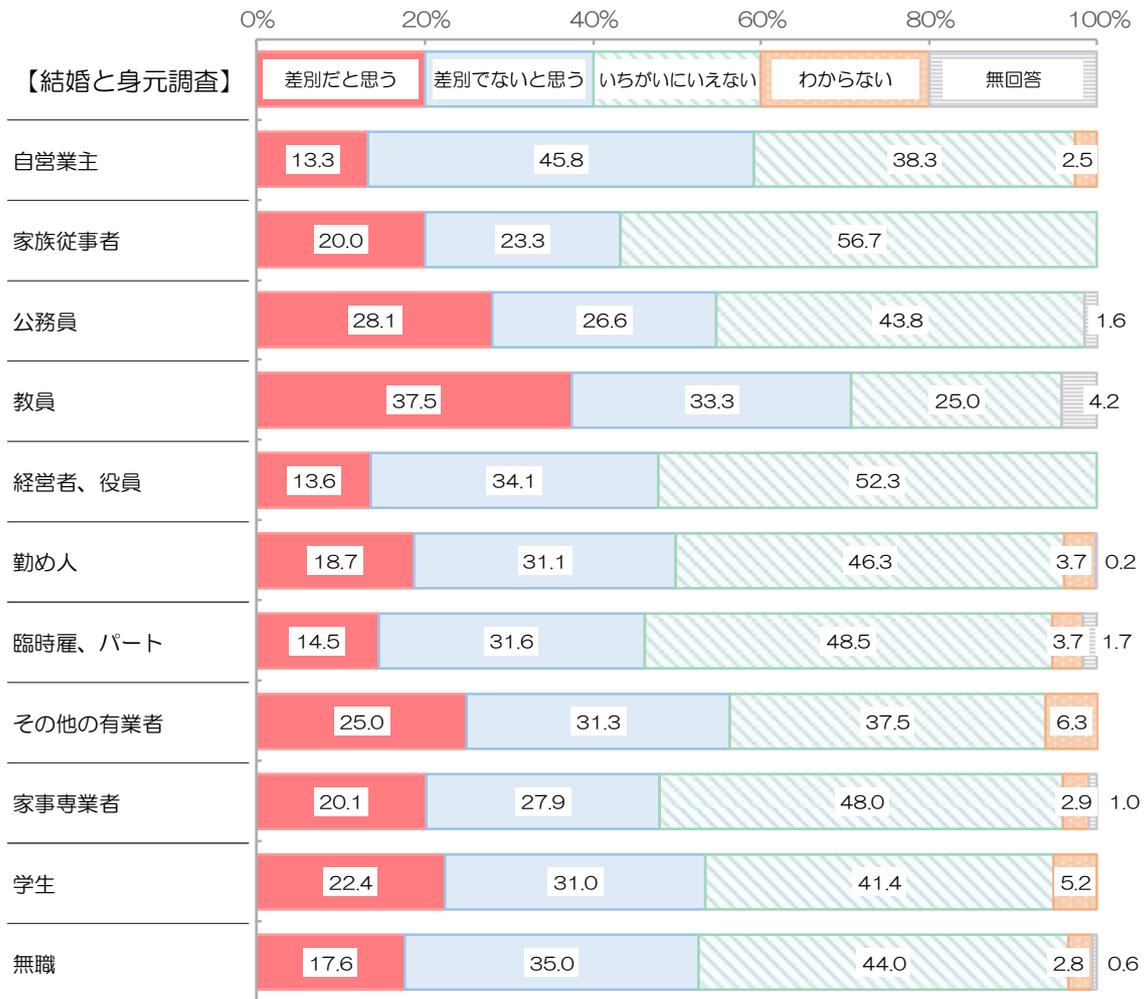


(質問 1-Ⅲ)



「差別でないと思う」と答えた人の割合は、「自営業主」が 43.3%と最も高く、次いで「経営者、役員」40.9%、「勤め人」32.4%の順となっている。

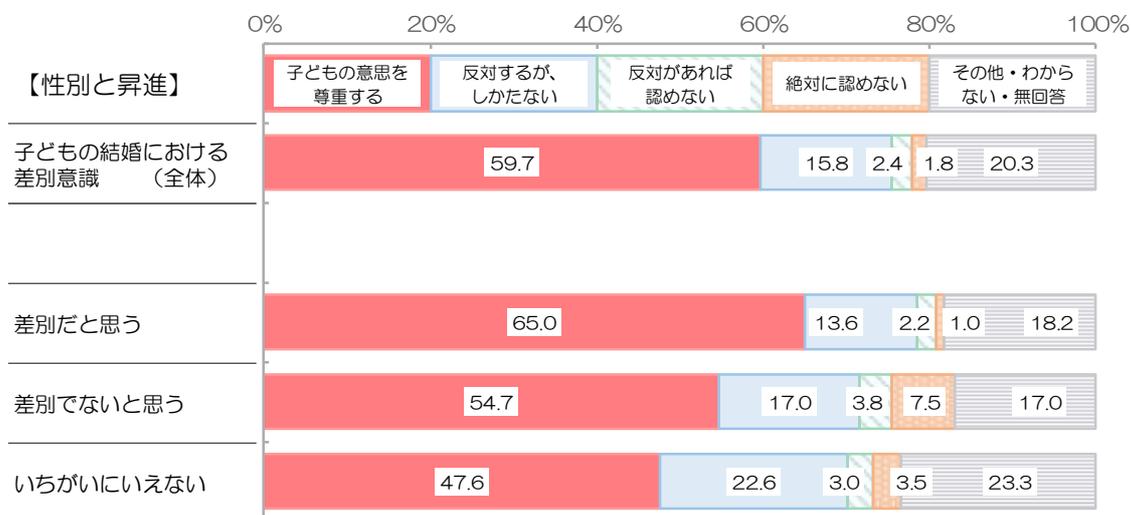
(質問 1-IV)



「差別でないと思う」と答えた人の割合は、「自営業主」が 45.8%と最も高く、次いで「無職」35.0%、「経営者、役員」34.1%の順となっている。

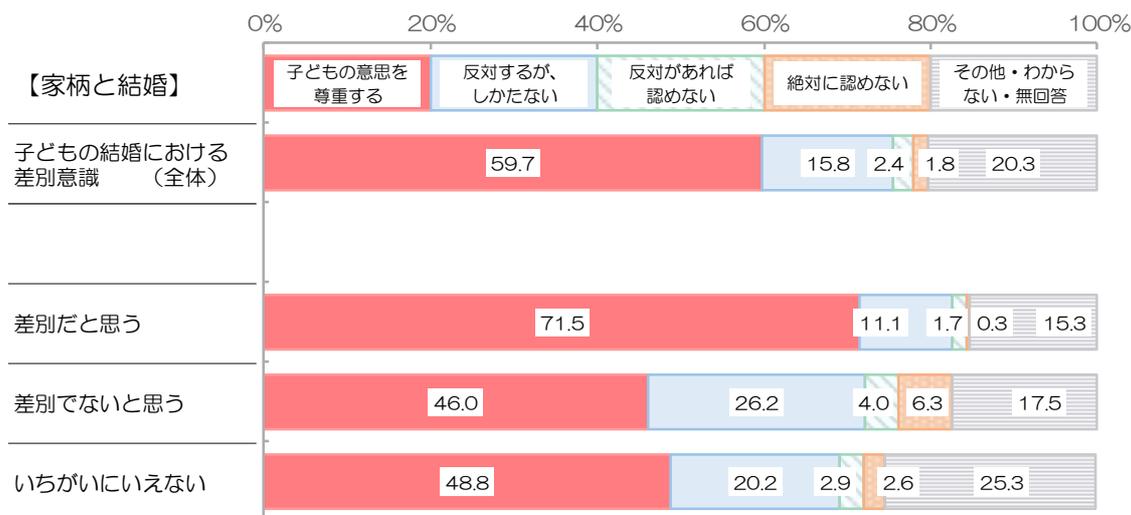
【設問間クロス集計】

質問 1-I 「差別に対する考え方（性別と昇進）」と質問9「子どもの結婚相手が同和地区出身者とわかった場合どうするか」との関連分析



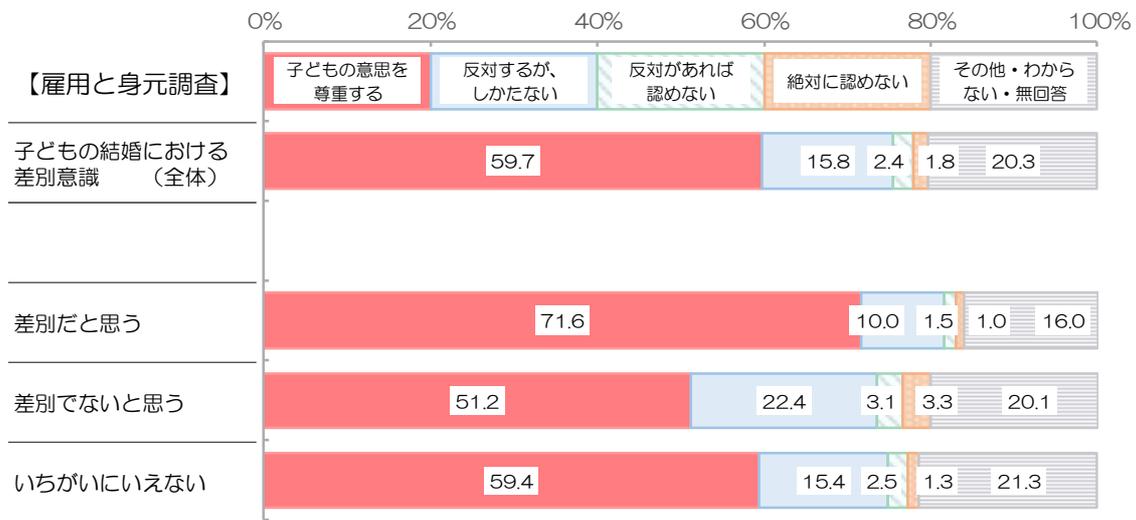
☀️ 【性別で昇進に差をつける】を「差別だと思う」と答えた人は、「差別でないと思う」、「いちがいにいえない」と答えた人より「子どもの意思を尊重する」と答えた割合が高い

質問 1-II 「差別に対する考え方（家柄と結婚）」と質問9「子どもの結婚相手が同和地区出身者とわかった場合どうするか」との関連分析



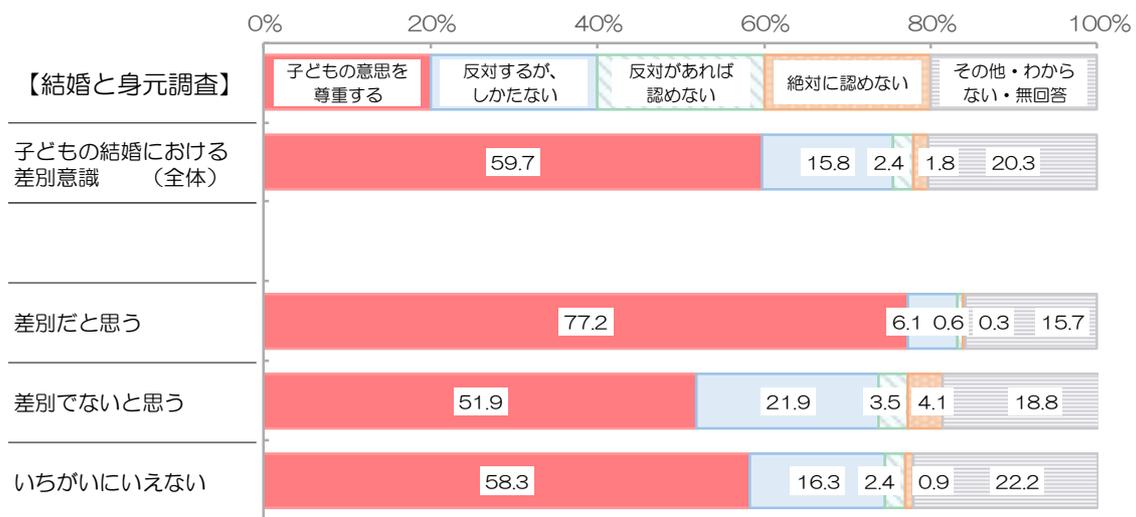
☀️ 【家柄で結婚に反対する】を「差別だと思う」と答えた人は、「差別でないと思う」、「いちがいにいえない」と答えた人より「子どもの意思を尊重する」と答えた割合が高い

質問 1-Ⅲ「差別に対する考え方（雇用と身元調査）」と質問9「子どもの結婚相手と同和地区出身者とわかった場合どうするか」との関連分析



☀️【雇用時の身元調査】を「差別だと思う」と答えた人は、「差別でないと思う」、「いちがいにいえない」と答えた人より「子どもの意思を尊重する」と答えた割合が高い

質問 1-Ⅳ「差別に対する考え方（結婚と身元調査）」と質問9「子どもの結婚相手と同和地区出身者とわかった場合どうするか」との関連分析



☀️【結婚時の身元調査】を「差別だと思う」と答えた人は、「差別でないと思う」、「いちがいにいえない」と答えた人より「子どもの意思を尊重する」と答えた割合が高い

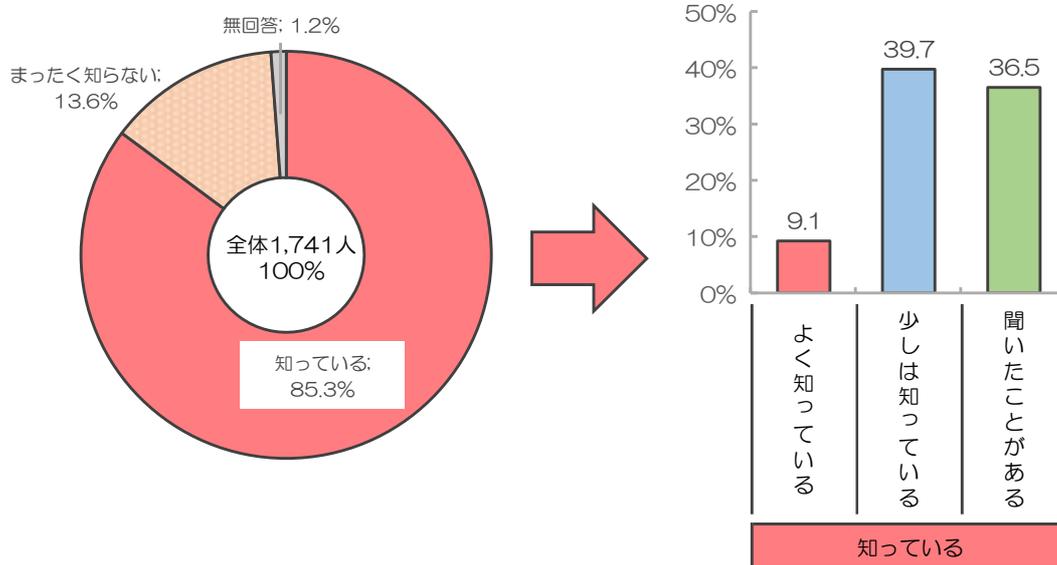
2 同和問題（部落差別）の認知状況

【質問2】

あなたは同和問題（部落差別）を知っていますか。（SA）（あてはまる番号1つに○）

- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 聞いたことがある
- 4 まったく知らない

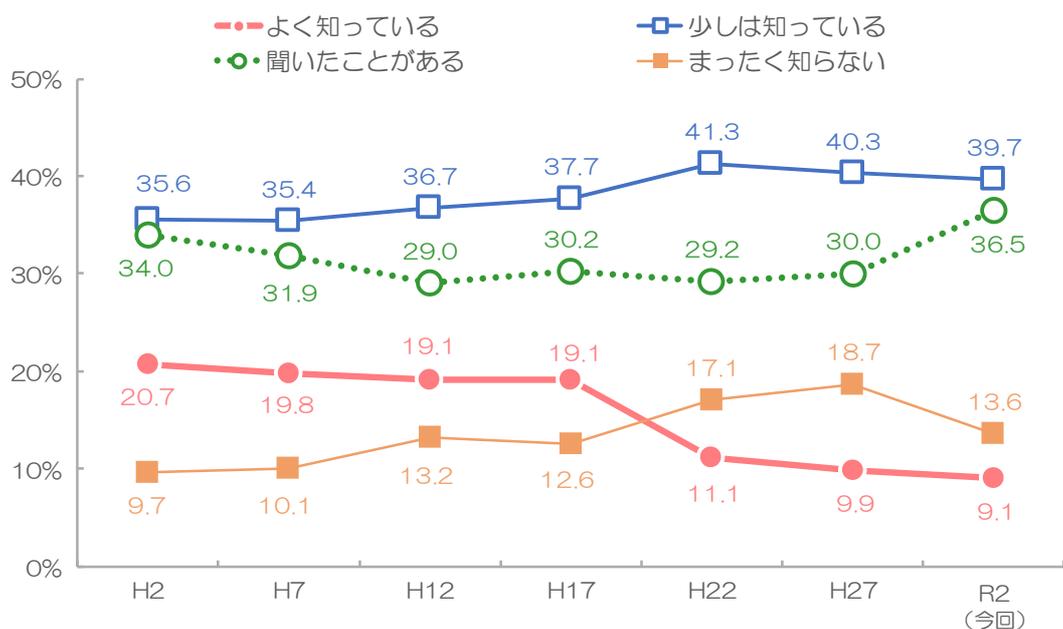
【単純集計】



「よく知っている」は9.1%、「少しは知っている」は39.7%、「聞いたことがある」は36.5%となり、合わせて、何らかの形で同和問題（部落差別）を『知っている』と答えた人の割合は85.3%を占める。

 同和問題（部落差別）を『知っている』と答えた人の割合が最も高い

【時系列比較】

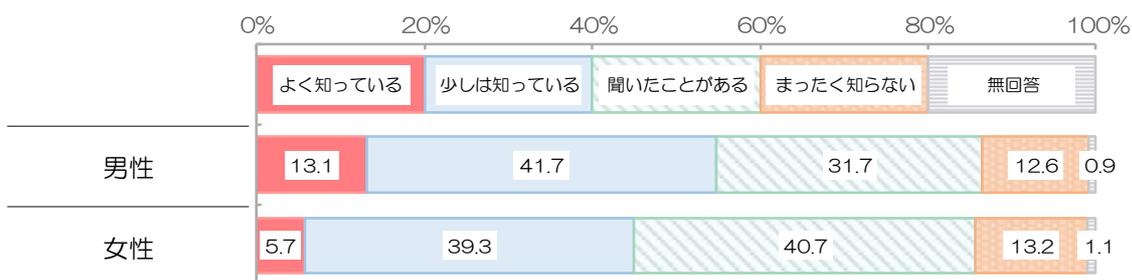


以前の調査と比較して、「よく知っている」と答えた人の割合は減っており、9.1%となっている。

☀ 同和問題（部落差別）を「よく知っている」人は減っている

【属性別集計】

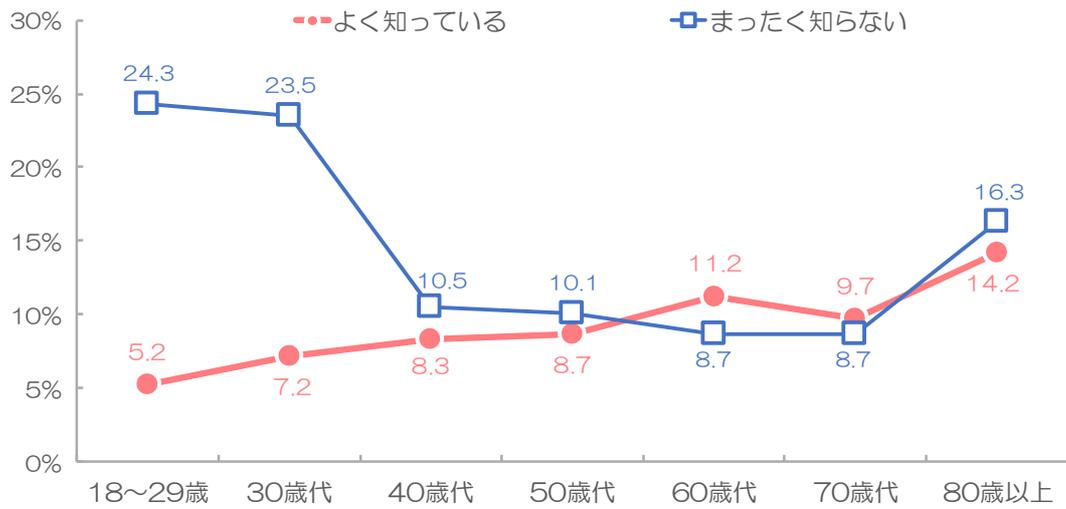
● 性別比較



「よく知っている」と答えた人の割合は、13.1%で男性の方が高い。

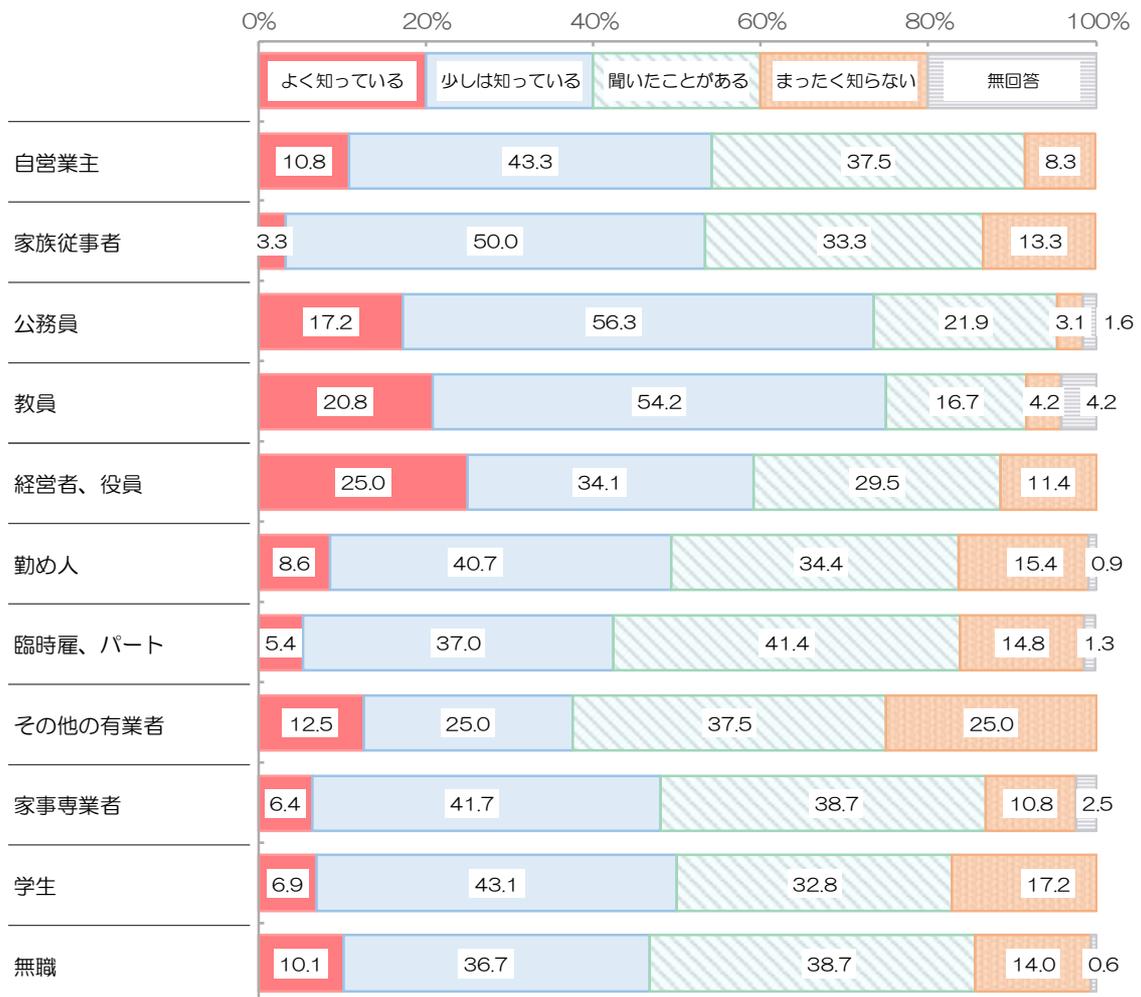
●年代別比較

「よく知っている」「まったく知らない」と答えた人の割合を、年代別比較



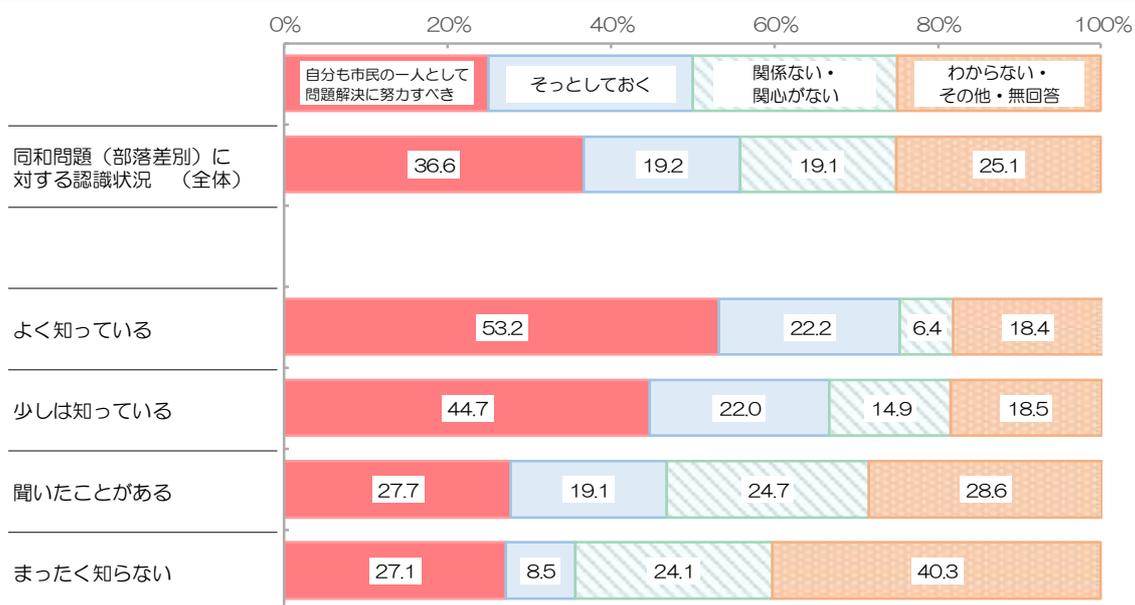
「よく知っている」と答えた人の割合は、80歳以上が14.2%と最も高く、18~29歳が5.2%と最も低くなっている。

●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問2「同和問題（部落差別）の認知状況」と質問6「同和問題（部落差別）に対する認識状況」との関連分析



☀️ 「よく知っている」と答えた人は、「少しは知っている」、「聞いたことがある」、「まったく知らない」と答えた人より「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた割合が高い

3 同和問題（部落差別）の認知経路

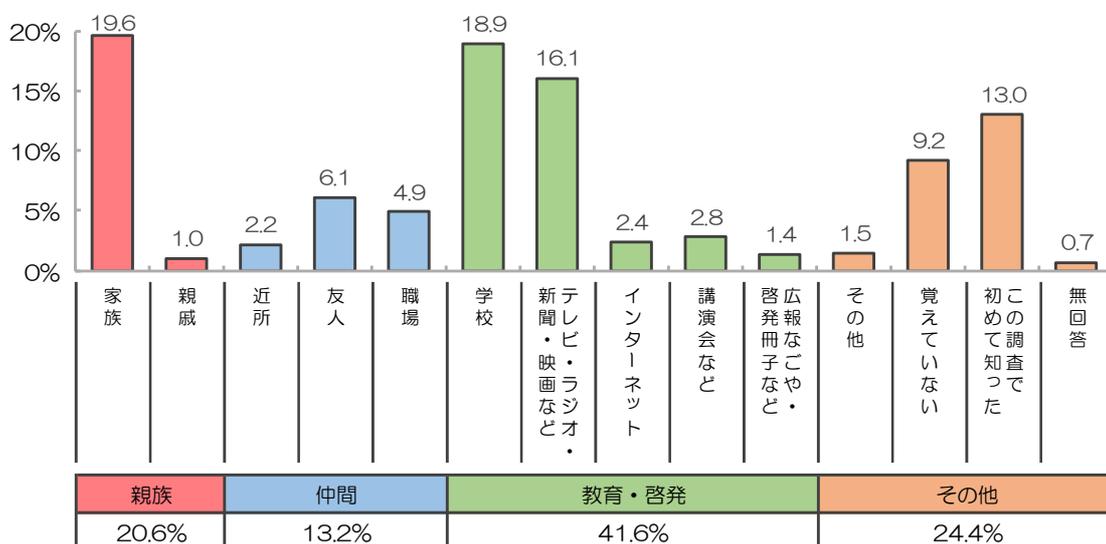
【質問3】

あなたが同和問題（部落差別）を初めて知ったり、聞いたりしたきっかけは、誰からまたは何からですか。（SA）

（あてはまる番号1つに○）

- 1 家族(祖父母、父母、兄弟姉妹など)から聞いた
- 2 親戚の人から聞いた
- 3 近所の人から聞いた
- 4 友人から聞いた
- 5 職場の人から聞いた
- 6 学校の授業で教わった
- 7 テレビ・ラジオ・新聞・映画・本などで知った
- 8 インターネットで知った
- 9 講演会や研修会で知った
- 10 広報なごや・啓発冊子「同和問題と人権」などで知った
- 11 その他
- 12 覚えていない
- 13 このアンケート調査で初めて知った

【単純集計】

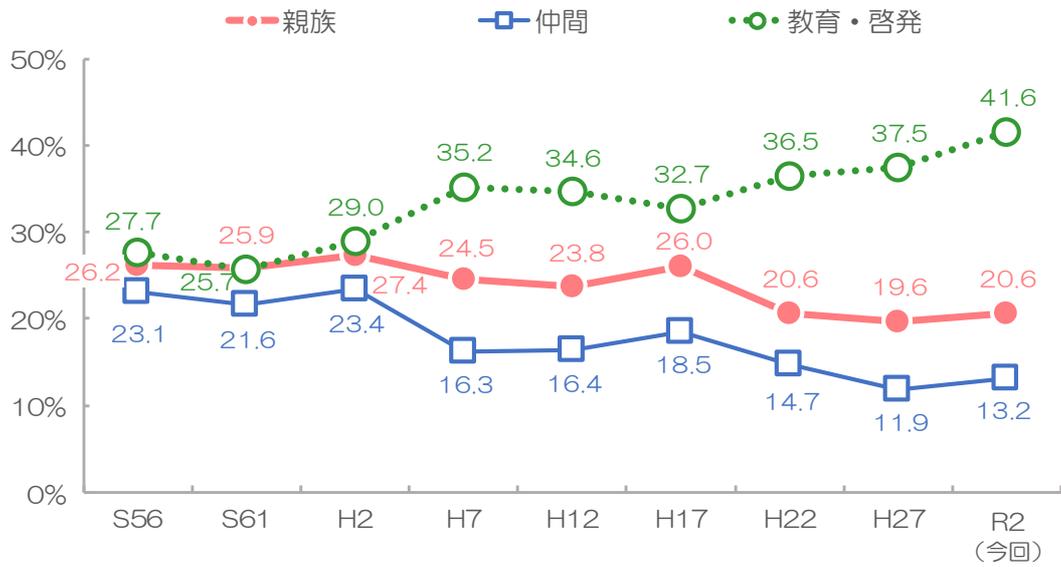


同和問題（部落差別）の認知経路を『親族』『仲間』『教育・啓発』のグループに分けてみると、『教育・啓発』が41.6%と最も高く、次いで『親族』20.6%、『仲間』13.2%となっている。

項目別にみると、「家族」が19.6%と最も高く、「学校」18.9%、「テレビ・新聞など」16.1%、「この調査で初めて知った」13.0%の順となっている。

 『教育・啓発』と答えた人の割合が最も高い

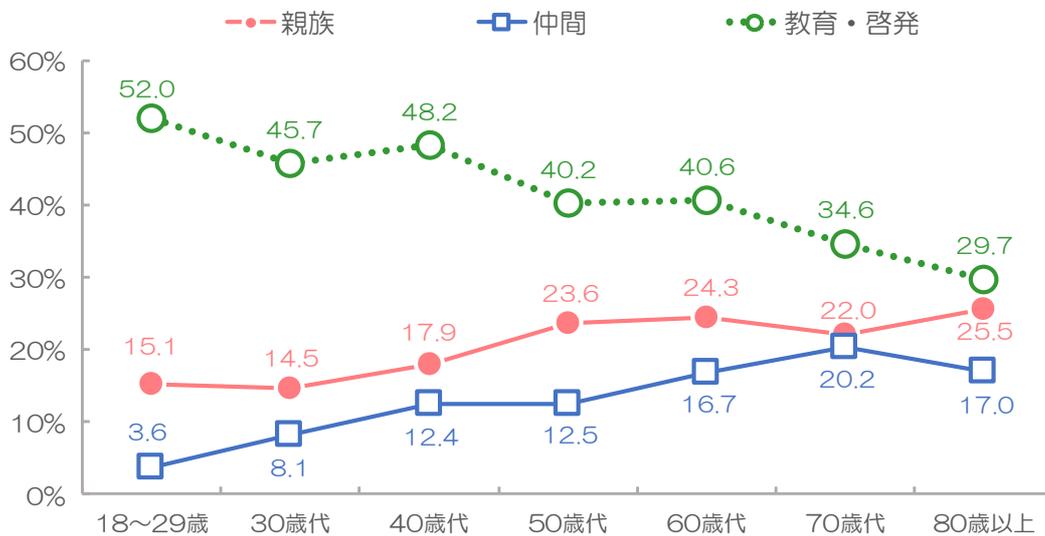
【時系列比較】



☀ 『教育・啓発』と答えた人の割合が増えている

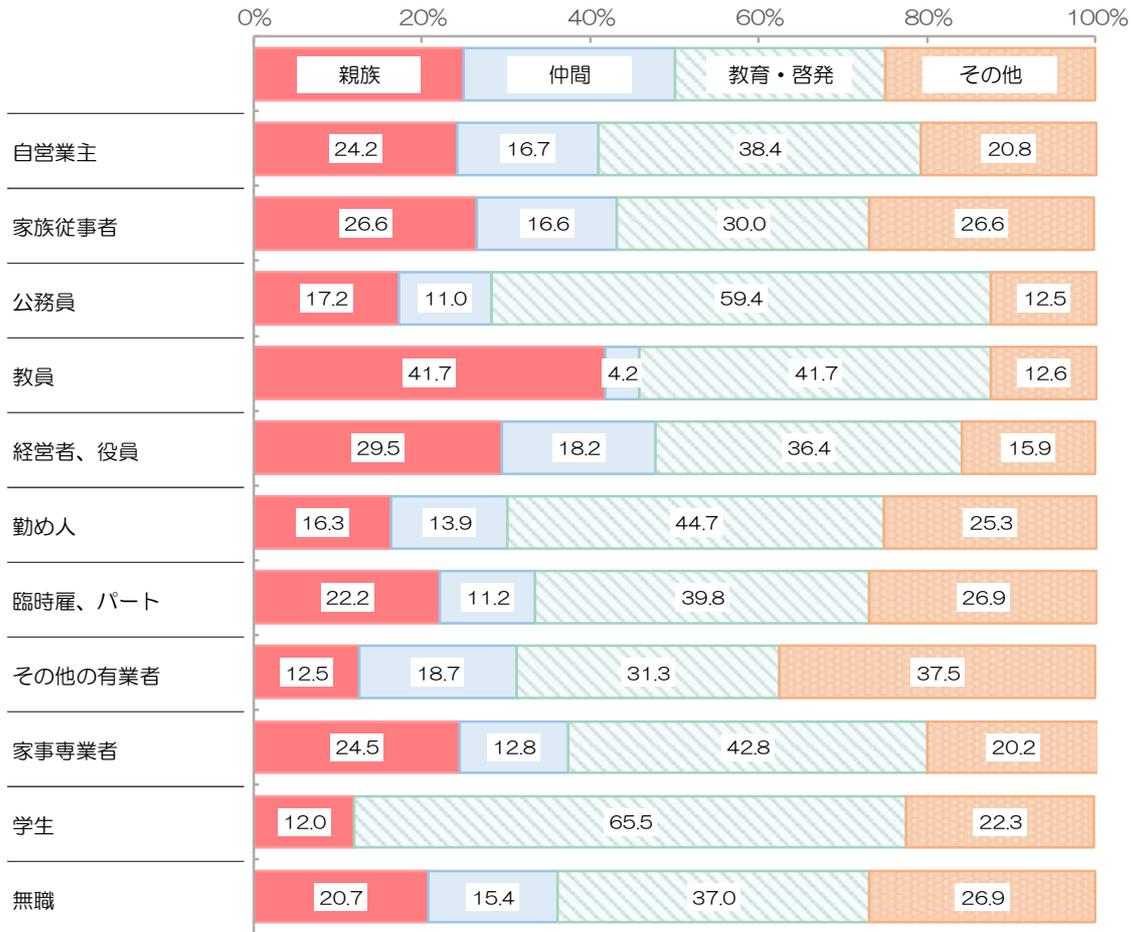
【属性別集計】

●年代別比較



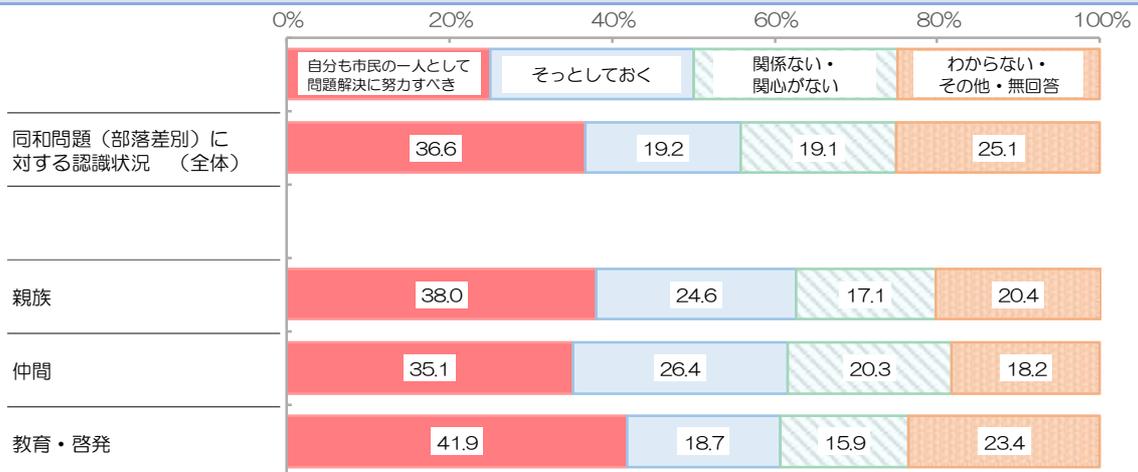
☀ いずれの年代も、『教育・啓発』と答えた人の割合が最も高い

●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問3「同和問題（部落差別）の認知経路」と質問6「同和問題（部落差別）に対する認識状況」との関連分析

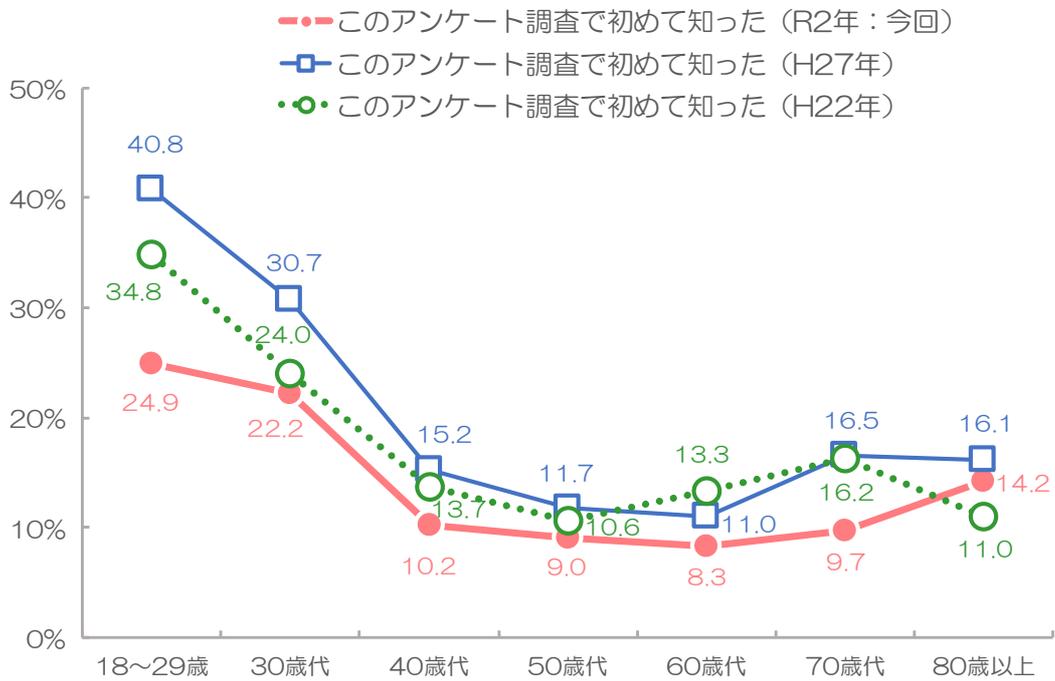


『教育・啓発』と答えた人は、『親族』、『仲間』と答えた人より「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた割合が高い

【属性別集計】

●年代別時系列比較

質問3（選択肢13）「このアンケート調査で初めて知った」の分析



※注：H27 まで満 20 歳以上を対象に調査を行った。

☀️ いずれの年代も、「このアンケート調査で初めて知った」と答えた人の割合は、前回の調査と比較して減っている

4 同和問題（部落差別）の認知時期

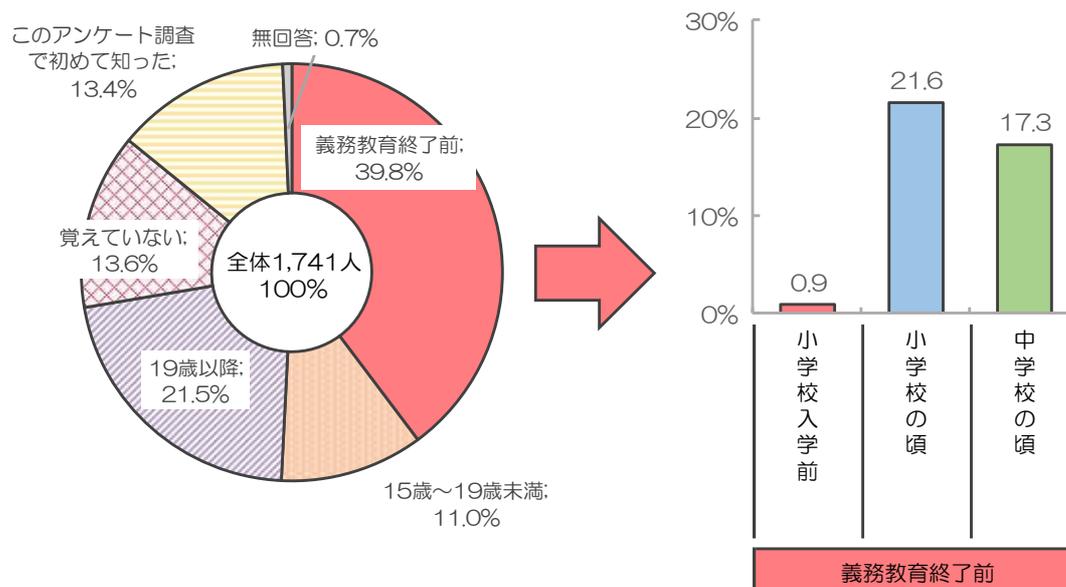
【質問4】

あなたが同和問題（部落差別）について初めて知ったり、聞いたりしたのは、いつ頃のことですか。（SA）

（あてはまる番号1つに○）

- 1 6歳未満(小学校に入学する前)
- 2 6歳～12歳未満(小学生の頃)
- 3 12歳～15歳未満(中学生の頃)
- 4 15歳～19歳未満
- 5 19歳以降
- 6 覚えていない
- 7 このアンケート調査で初めて知った

【単純集計】



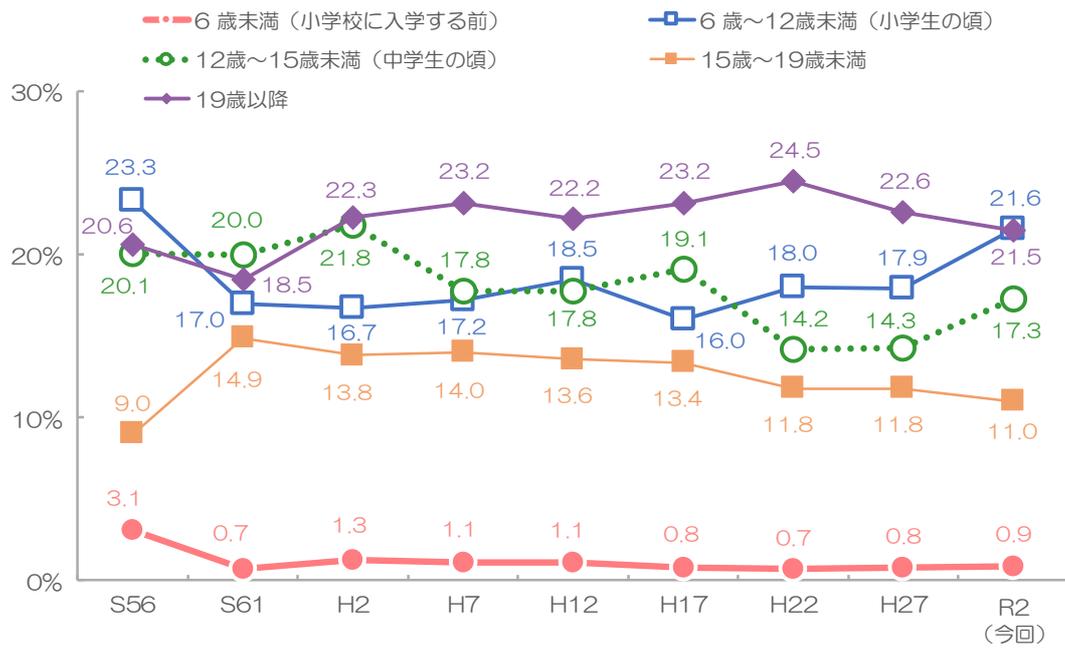
※注：『義務教育終了前』は15歳未満

認知時期は『義務教育終了前』と答えた人の割合が39.8%と最も高く、次いで「19歳以降」21.5%、「覚えていない」13.6%の順となっている。

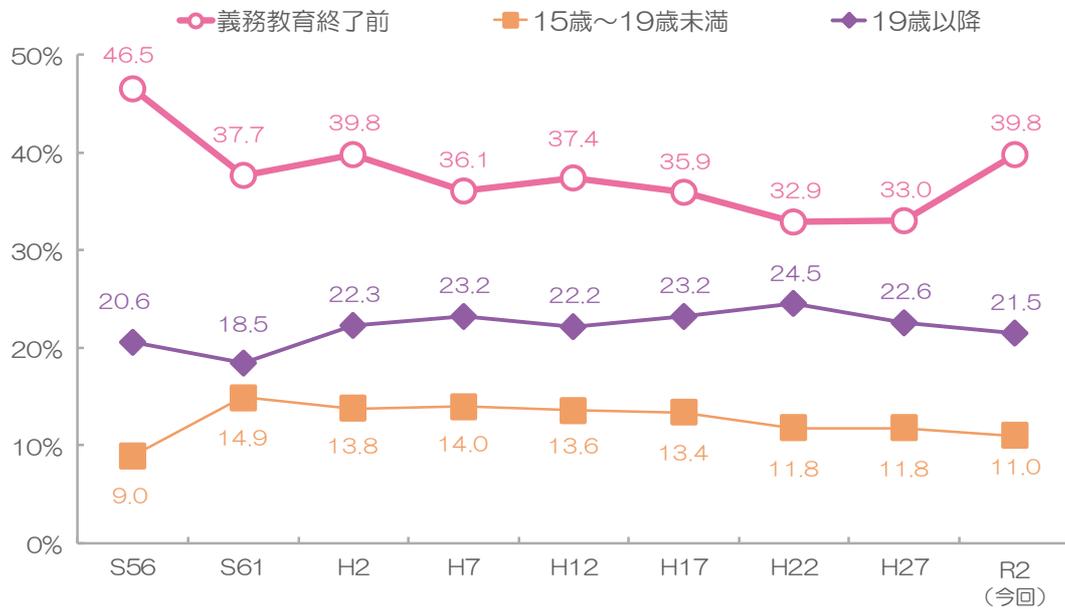
『義務教育終了前』と答えた人の認知時期の割合は、「小学校の頃」が21.6%と最も高くなっている。

 『義務教育終了前』に知ったと答えた人の割合が最も高い

【時系列比較】



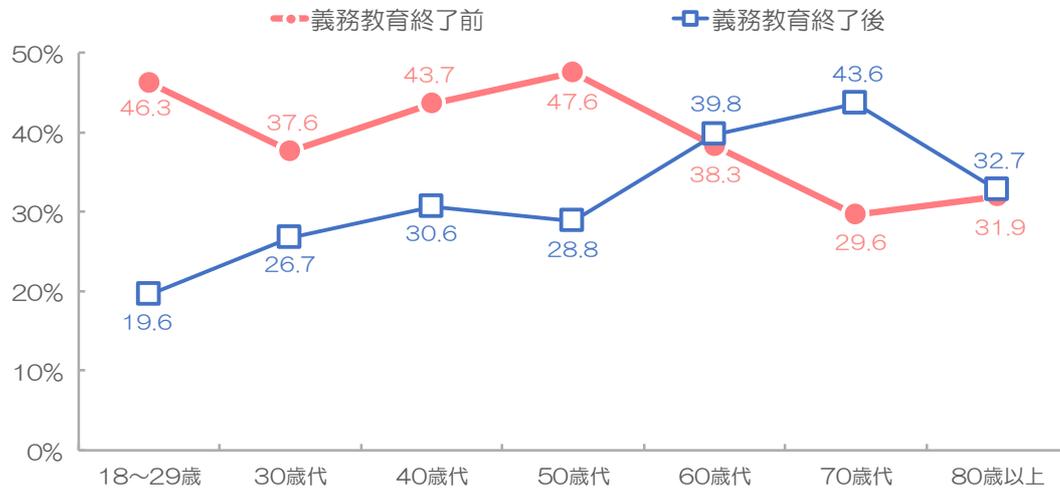
「6歳未満 (小学校に入学する前)」「6歳～12歳未満 (小学生の頃)」「12歳～15歳未満 (中学生の頃)」を『義務教育終了前』にまとめ、時系列比較



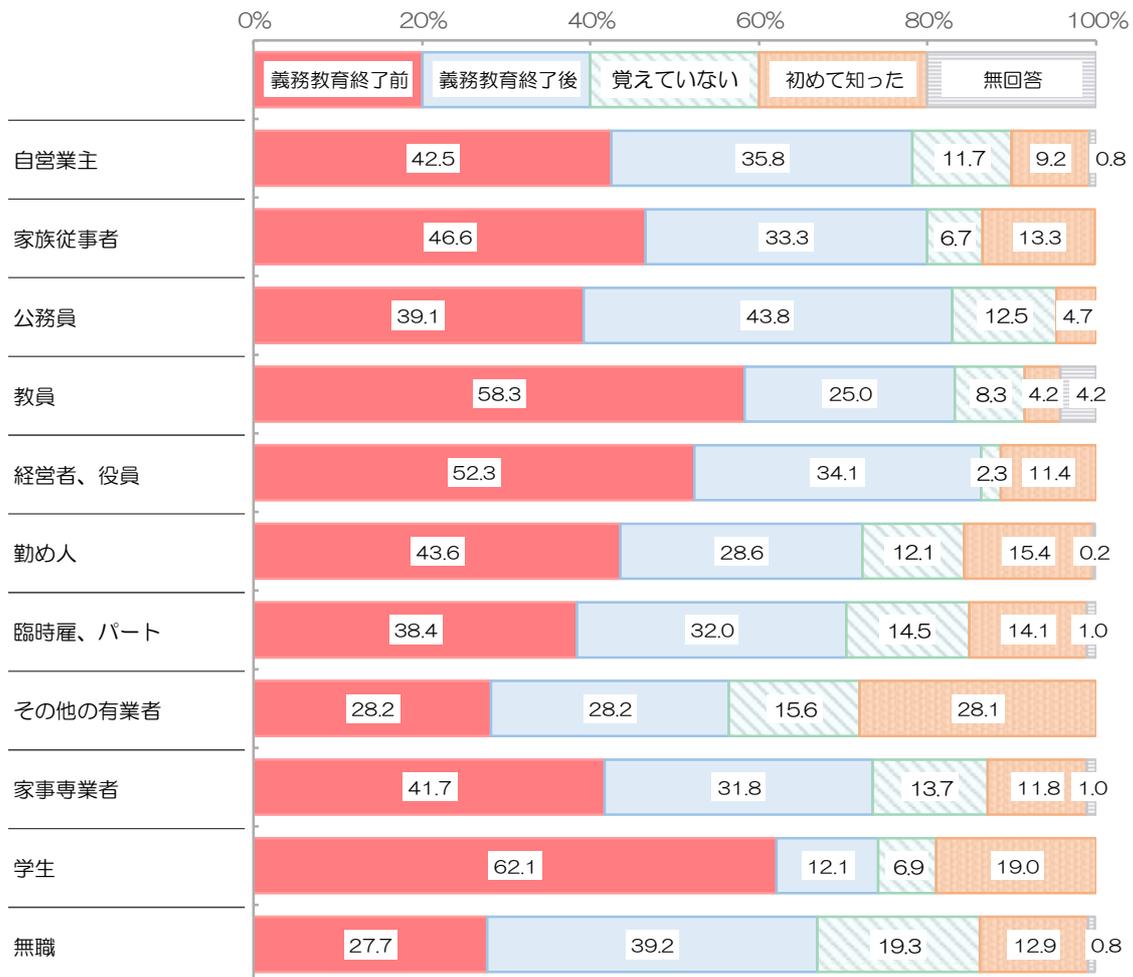
【属性別集計】

「15～19歳未満」、「19歳以降」を『義務教育終了後』にまとめ、『義務教育終了前』と『義務教育終了後』を年代別、職業別比較

●年代別比較

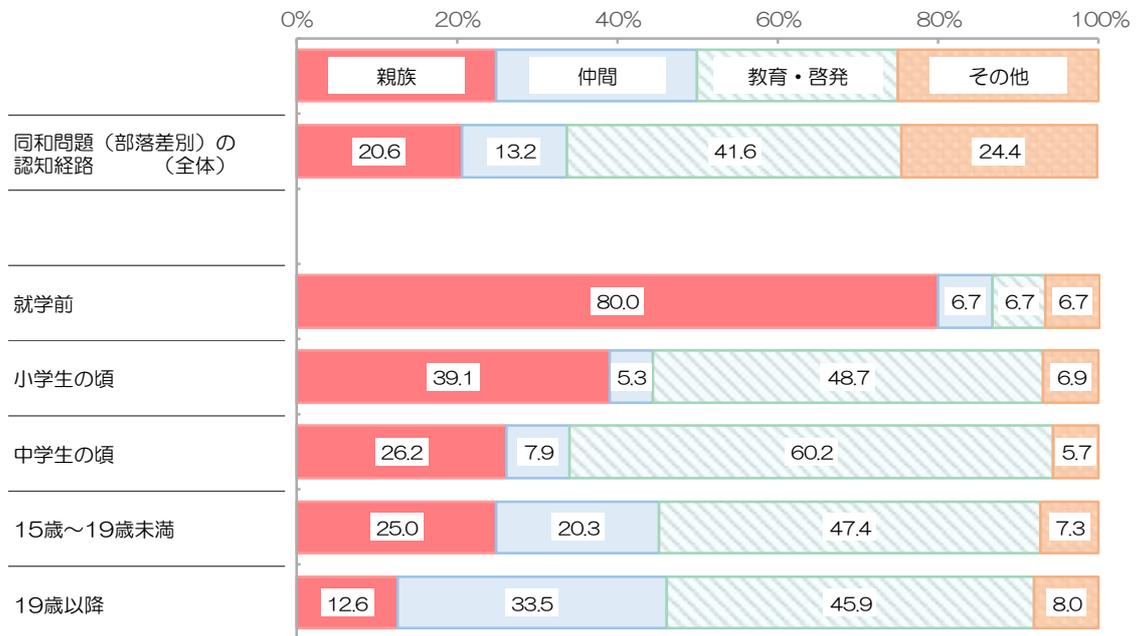


●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問4「同和問題（部落差別）の認知時期」と質問3「同和問題（部落差別）の認知経路」との関連分析



☀️ 「小学生の頃」以降と答えた人は、『教育・啓発』と答えた割合が最も高い

5 同和問題（部落差別）を知ったときの印象

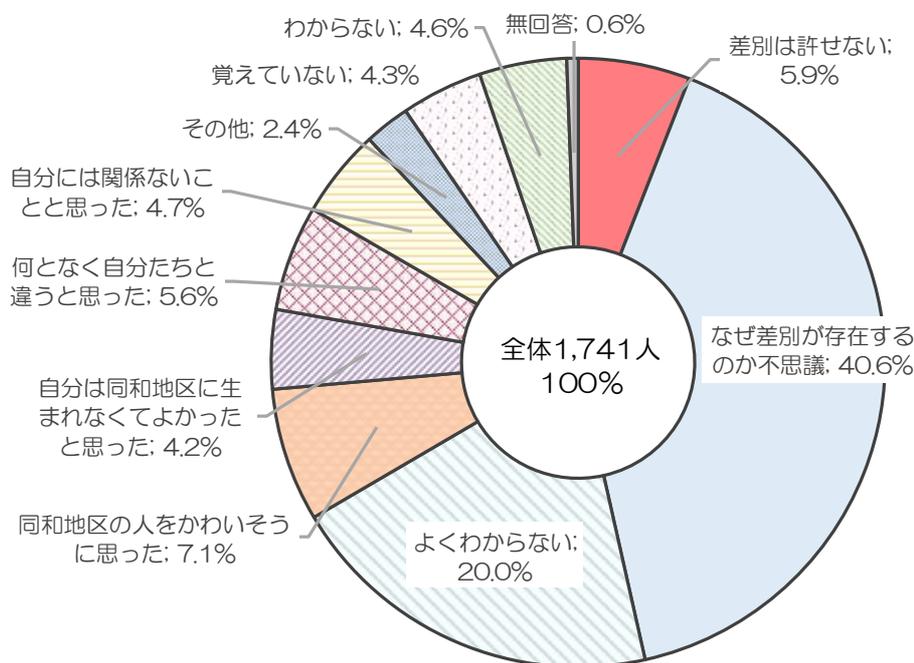
【質問5】

あなたが同和問題（部落差別）を初めて知ったり、聞いたりしたとき、どう思いましたか。
(SA)

(あてはまる番号1つに○)

- 1 差別があることを許せないと思った
- 2 なぜ差別が存在するのか不思議に思った
- 3 どういうことなのかよくわからなかった
- 4 同和地区の人をかわいそうに思った
- 5 自分は同和地区に生まれなくてよかったと思った
- 6 何となく自分たちと違うと思った
- 7 自分には関係ないことと思った
- 8 その他
- 9 覚えていない
- 10 わからない

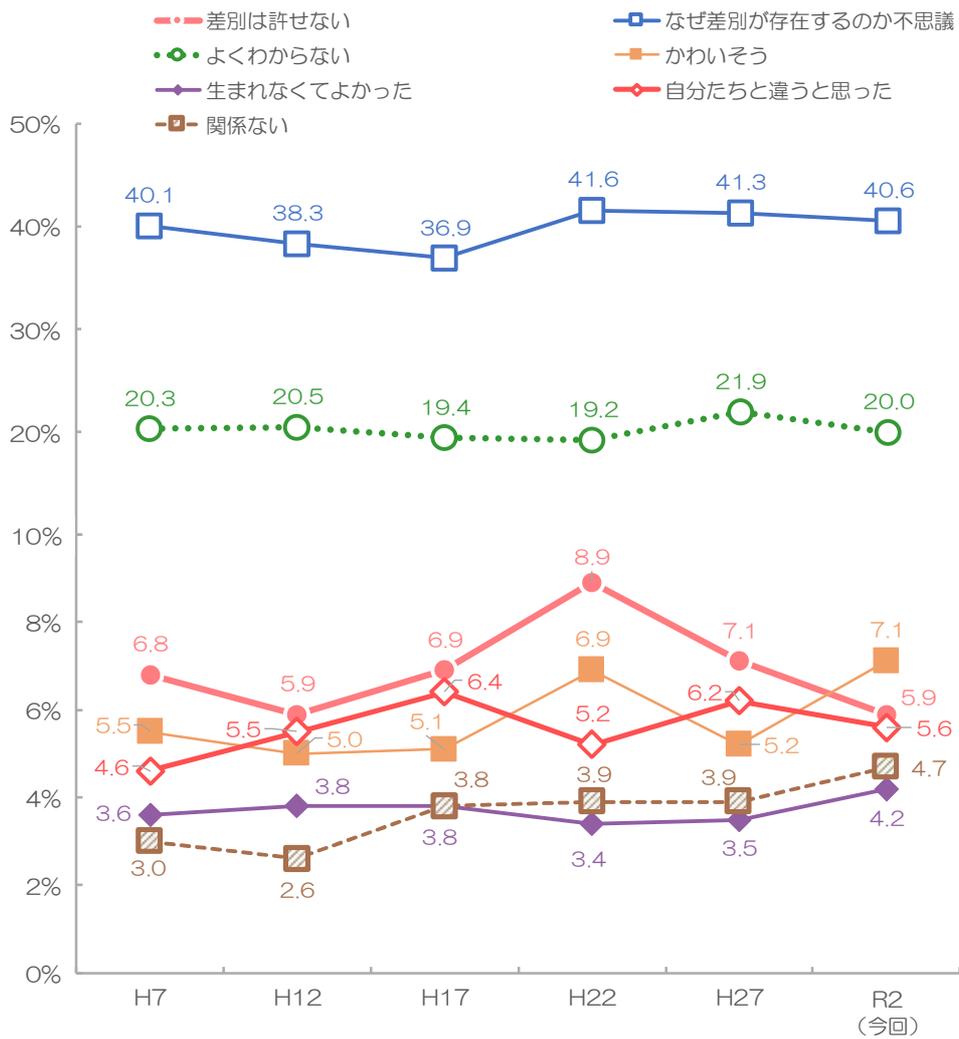
【単純集計】



「なぜ差別が存在するのか不思議」と答えた人の割合が40.6%と最も高く、次いで「よくわからない」20.0%、「同和地区の人をかわいそうに思った」7.1%の順となっている。

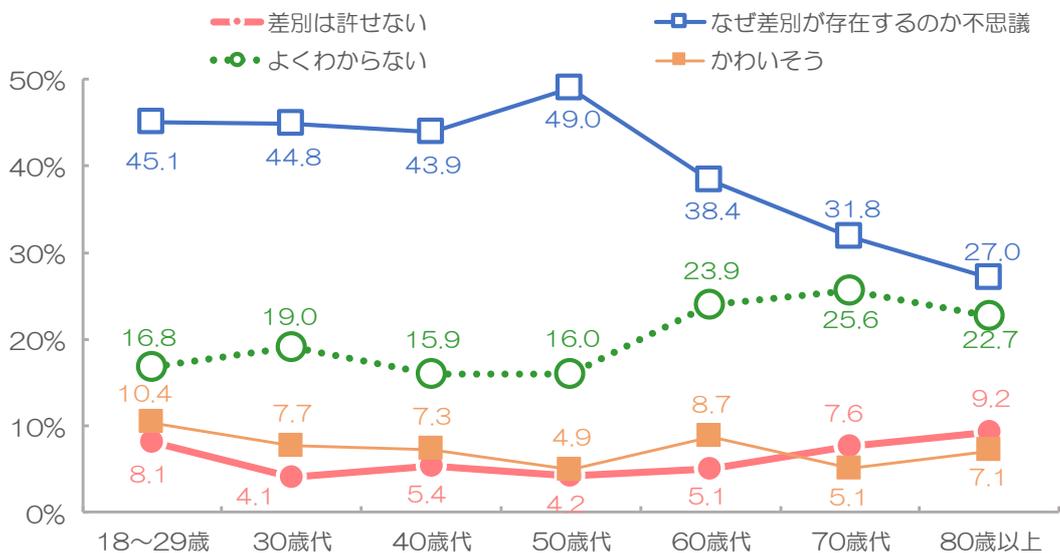
🌟 「なぜ差別が存在するのか不思議」と答えた人の割合が最も高い

【時系列比較】

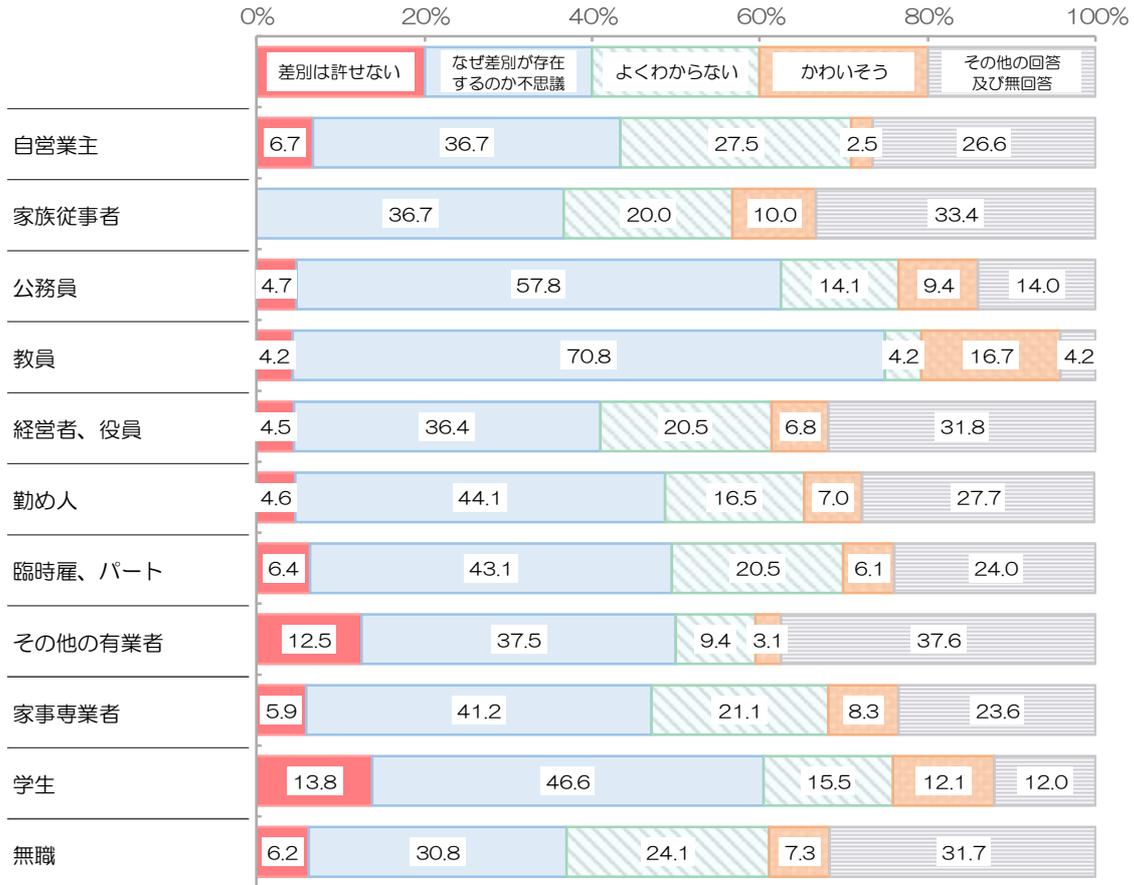


【属性別集計】

●年代別比較

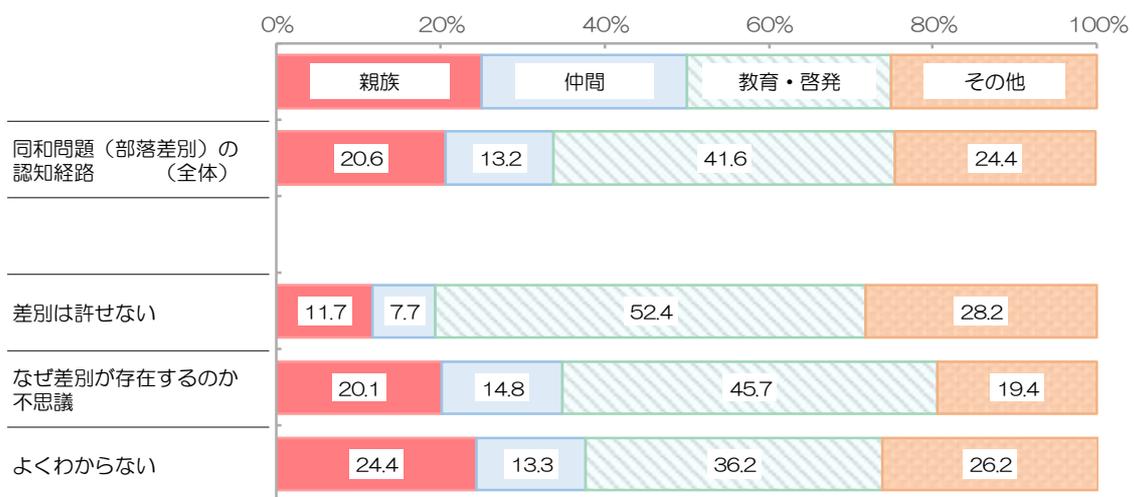


●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問5「同和問題（部落差別）を知ったときの印象」と質問3「同和問題（部落差別）の認知経路」との関連分析



☀️「差別は許せない」と答えた人は、「なぜ差別が存在するのか不思議」、「よくわからない」と答えた人より『教育・啓発』と答えた割合が高い

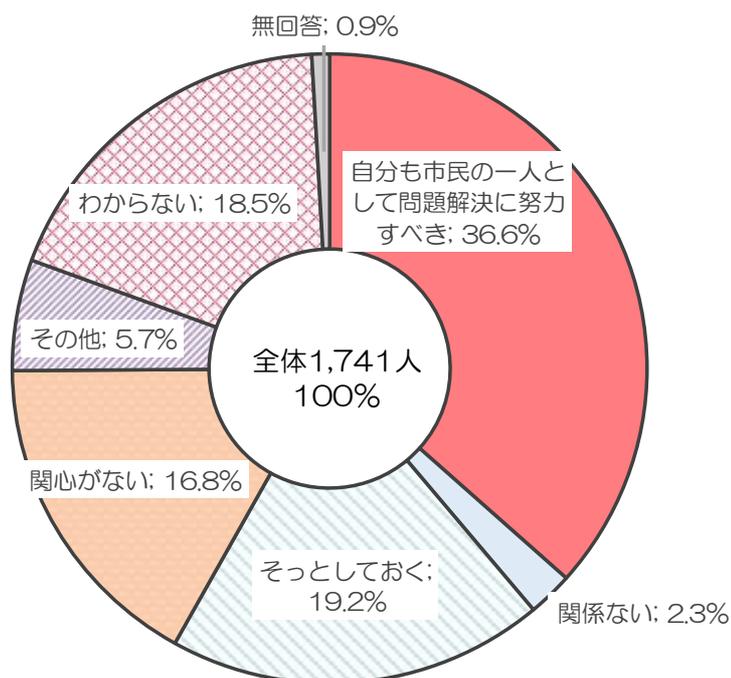
6 同和問題（部落差別）に対する認識状況

【質問6】

同和問題（部落差別）について、現在あなたはどのようにお考えですか。（SA）
（あてはまる番号1つに○）

- 1 人間の自由や平等にかかわる問題なので、自分も市民の一人としてこの問題の解決に努力すべきだと思う
- 2 同和地区の人々の問題であるから、自分には関係ないと思う
- 3 あまり騒がずにそっとしておくのがよいと思う
- 4 特に関心がない
- 5 その他
- 6 わからない

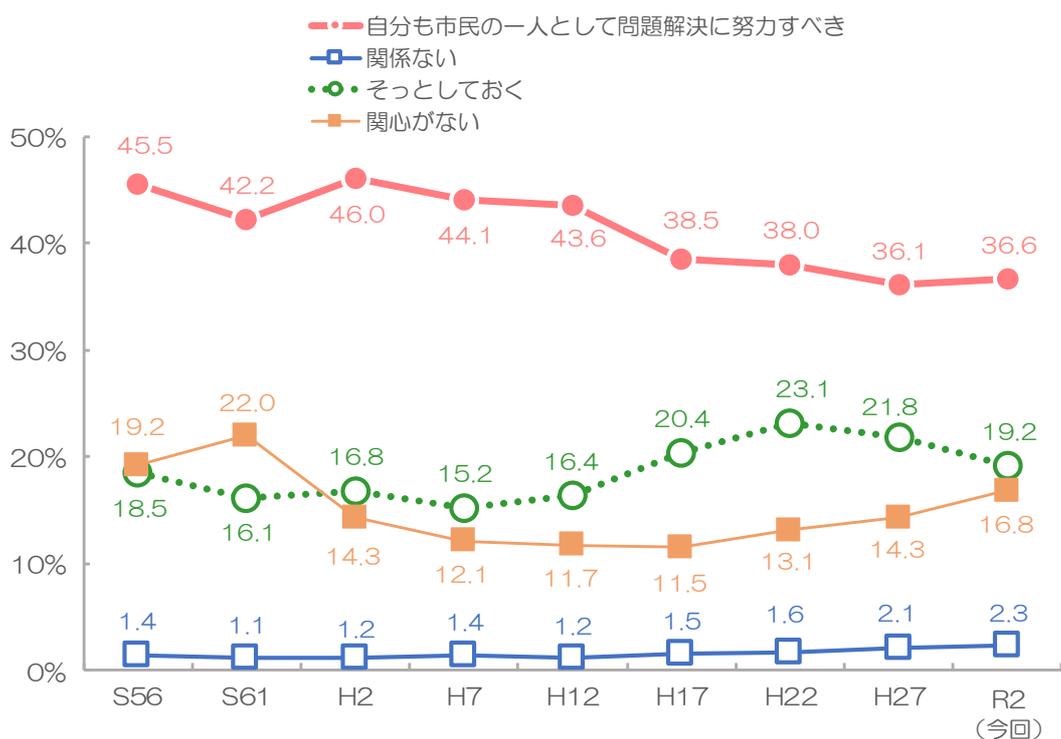
【単純集計】



「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた人の割合は、36.6%と最も高く、次いで「そっとしておく」19.2%、「わからない」18.5%、「関心がない」16.8%の順となっている。

 「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた人の割合が最も高い

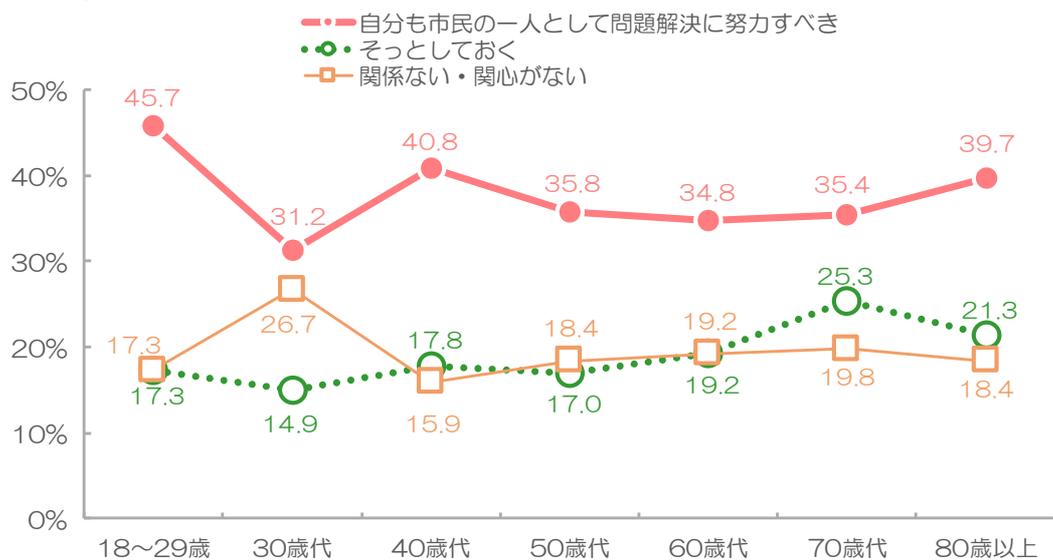
【時系列比較】



※注：H12までは1の回答項目は「人間の自由や平等に関わる問題なので、国民（市民）全体で考えるべきである」という項目で調査した。

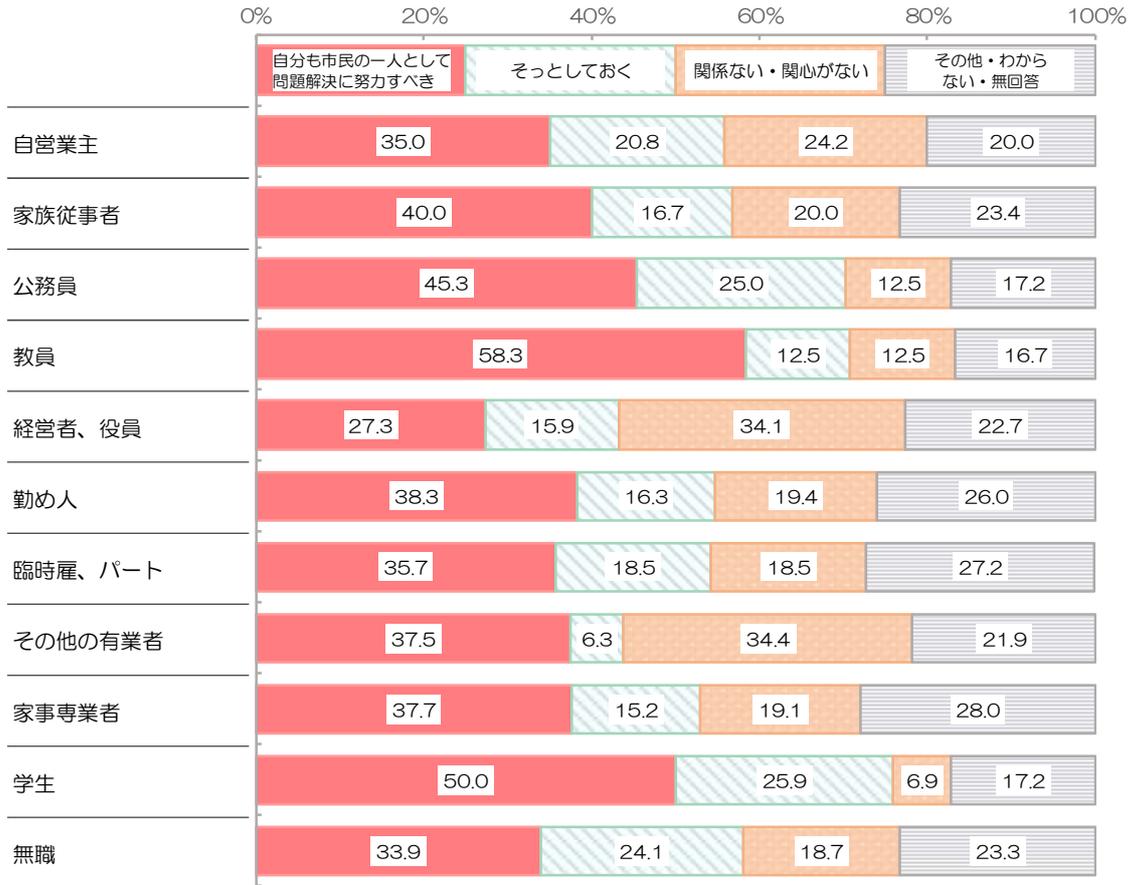
【属性別集計】

●年代別比較



☀️ いずれの年代も、「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた人の割合が最も高い

●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問6「同和問題（部落差別）に対する認識状況」と質問17「同和問題（部落差別）の解決策」との関連分析



※注：問17はマルチ（複数回答）のため、項目別ごとの回答の合計は100%を超える。

🌟 「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた人は、「教育・啓発の推進」と答えた割合が最も高い

7 交際における差別意識

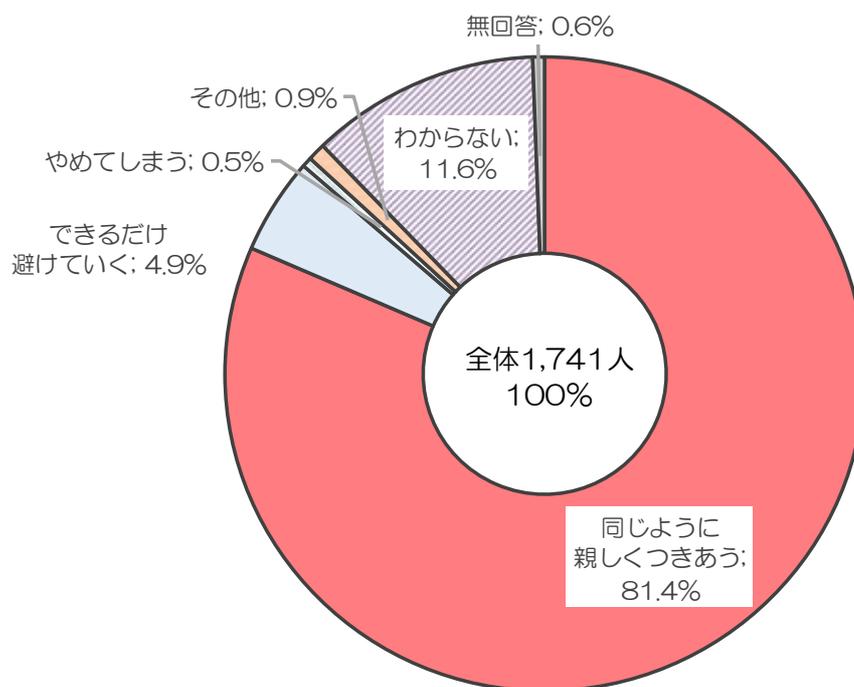
【質問7】

かりに、日ごろ親しくつきあっている職場の人や近所の人、同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか。(SA)

(あてはまる番号1つに○)

- 1 これまでと同じように親しくつきあう
- 2 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく
- 3 つきあいはやめてしまう
- 4 その他
- 5 わからない

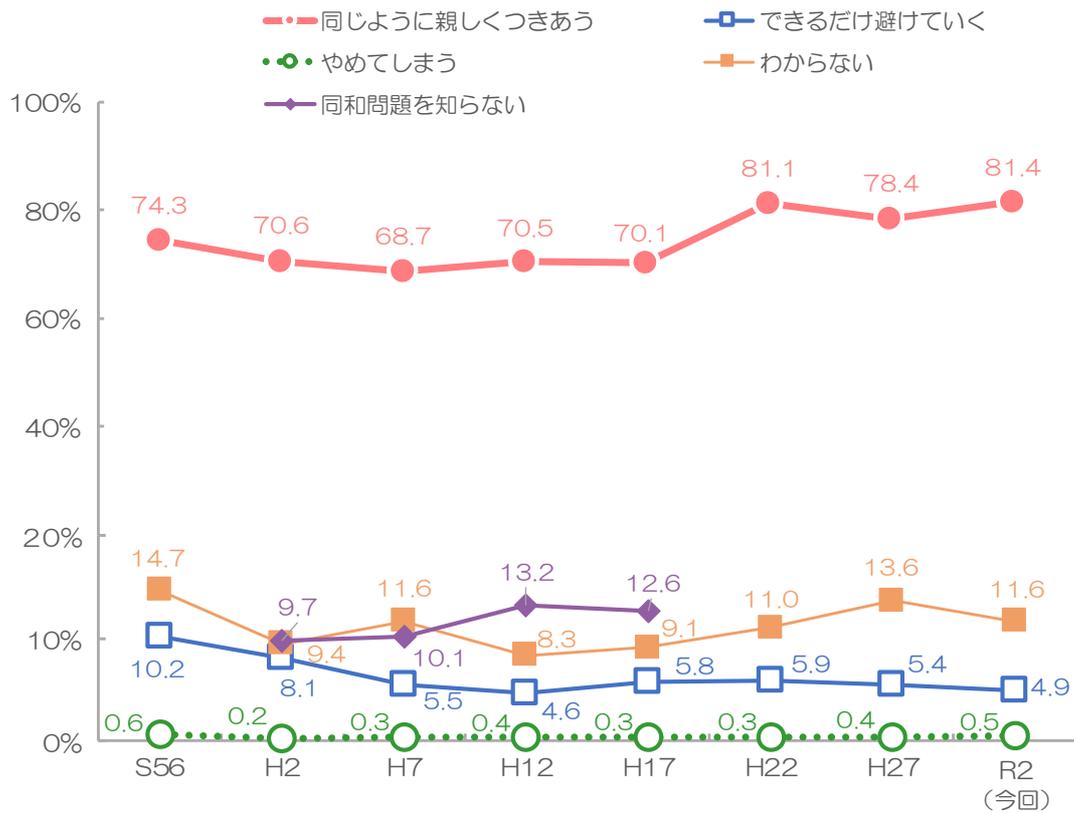
【単純集計】



「同じように親しくつきあう」と答えた人の割合は、81.4%となっている。一方、「できるだけ避けていく」(4.9%)と答えた人、「やめてしまう」(0.5%)と答えた人の割合は、合わせて5.4%となっている。

 「同じように親しくつきあう」と答えた人の割合は、81.4%

【時系列比較】



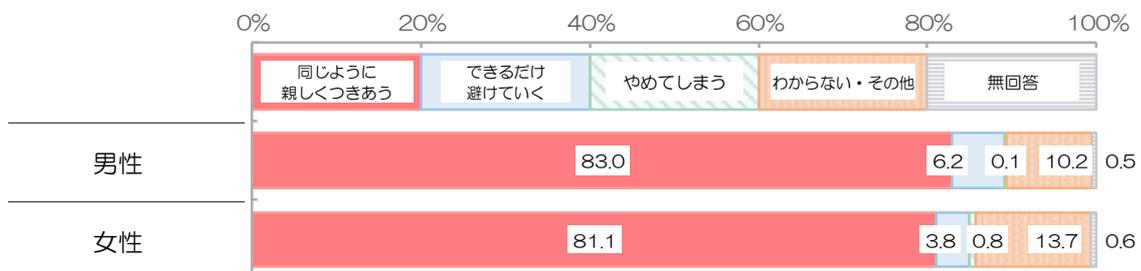
※注：H2～H17は「同和問題を知らない」という項目も調査した。

「同じように親しくつきあう」と答えた人の割合は81.4%となっており、以前の調査と比較して、最も高くなっている。

☀️ 「同じように親しくつきあう」と答えた人の割合は増えている

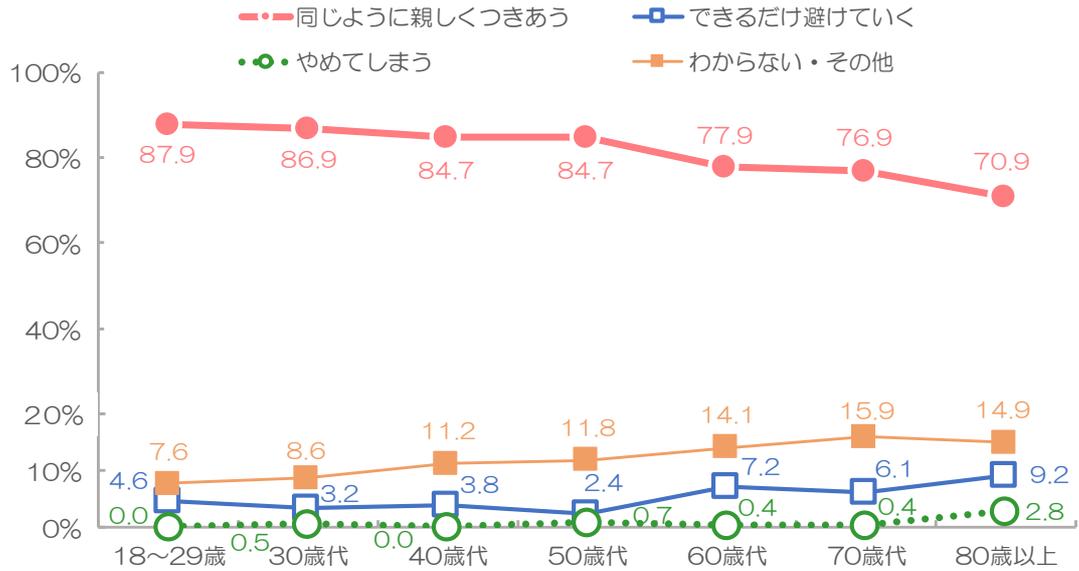
【属性別集計】

●性別比較



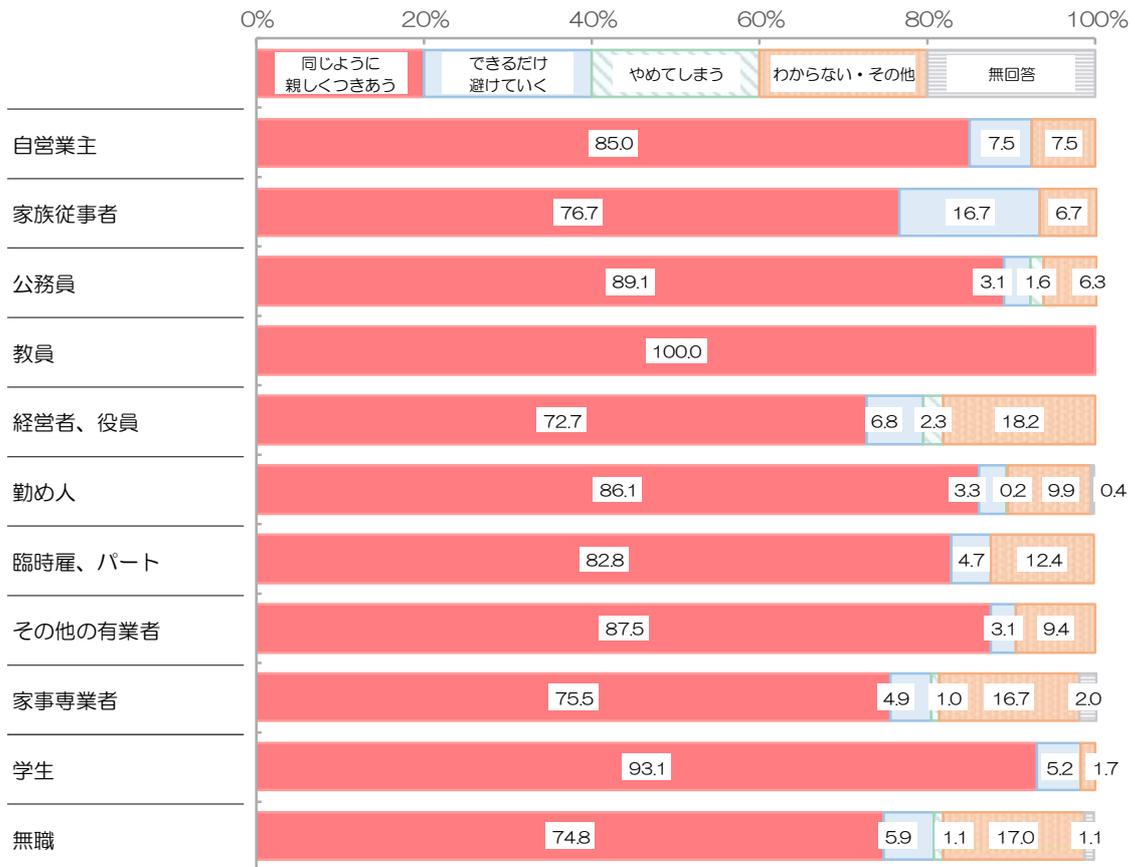
☀️ 男女ともに、「同じように親しくつきあう」と答えた人の割合が最も高い

●年代別比較



いずれの年代も、「同じように親しくつきあう」と答えた人の割合が最も高い

●職業別比較



いずれの職業も、「同じように親しくつきあう」と答えた人の割合が最も高く、教員、学生は90%を超える

8 結婚における差別意識1（親類や親しい人の結婚）

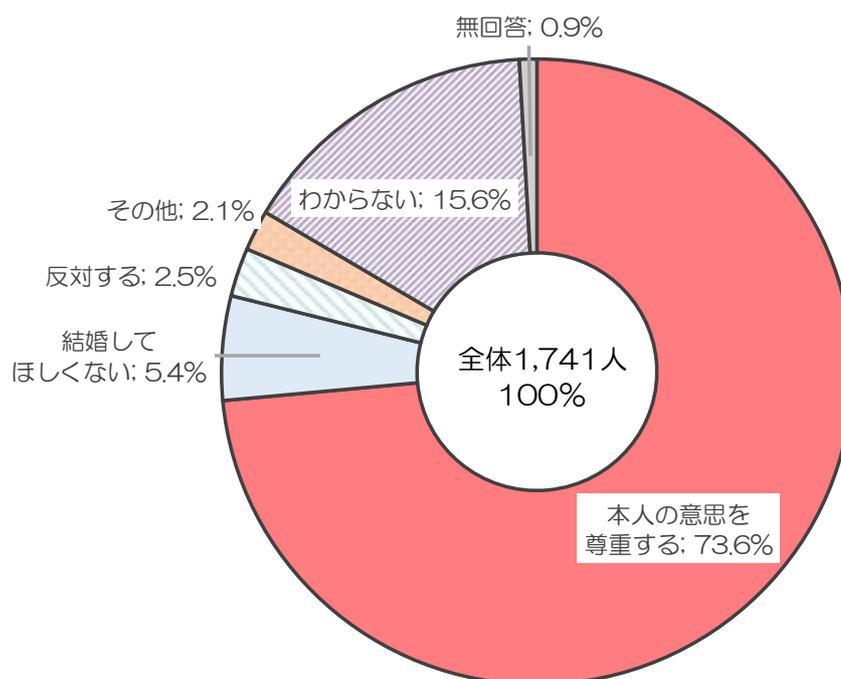
【質問8】

かりに、あなたの親類や親しい人の結婚しようとしている相手が、同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか。（SA）

（あてはまる番号1つに○）

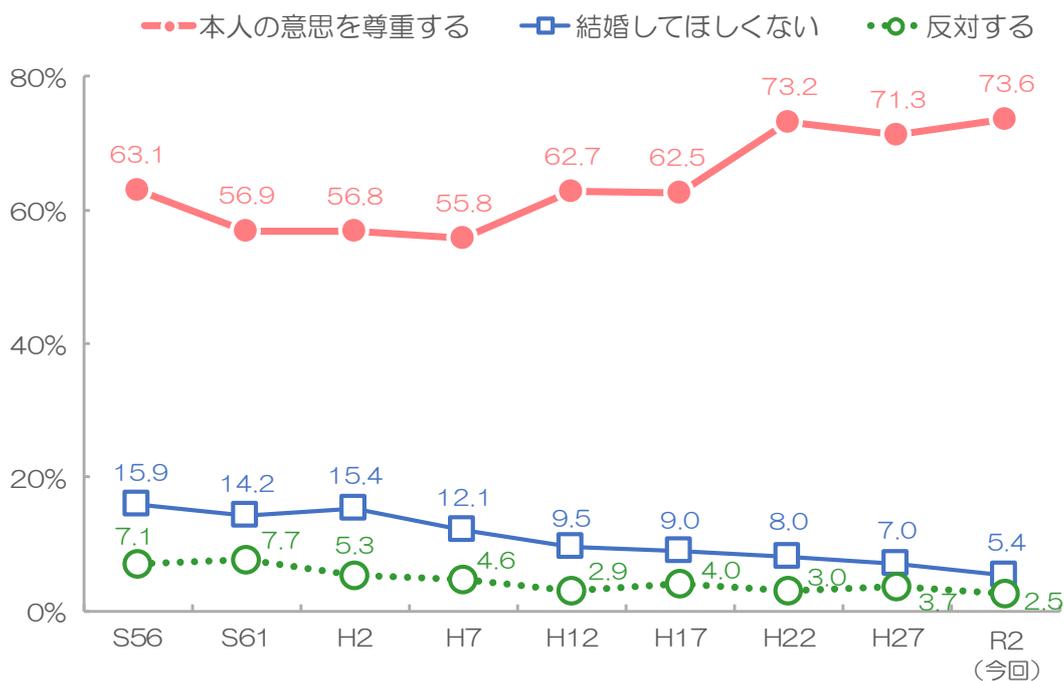
- 1 本人の意思を尊重する
- 2 自分がかまわないが、世間へのてまえがあるから、できれば結婚してほしくない
- 3 結婚することには反対する
- 4 その他
- 5 わからない

【単純集計】



☀️ 「本人の意思を尊重する」と答えた人の割合は、73.6%

【時系列比較】

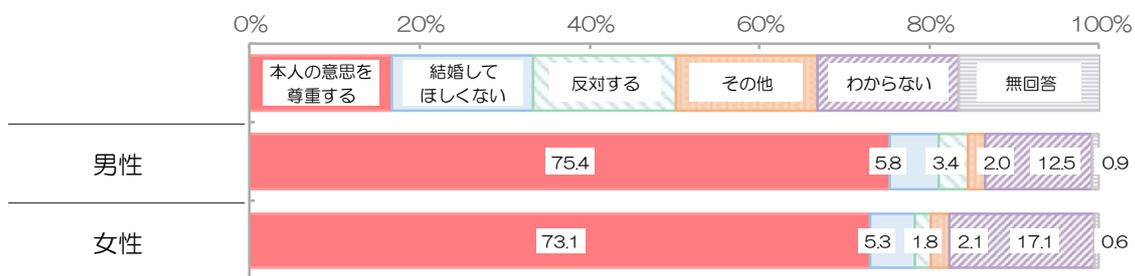


「本人の意思を尊重する」と答えた人の割合は73.6%と、以前の調査と比較して最も高くなっている。昭和56年からの推移をみると「結婚してほしくない」「反対する」と答えた人の割合は減少している。

☀️ 「本人の意思を尊重する」と答えた人の割合は増えている

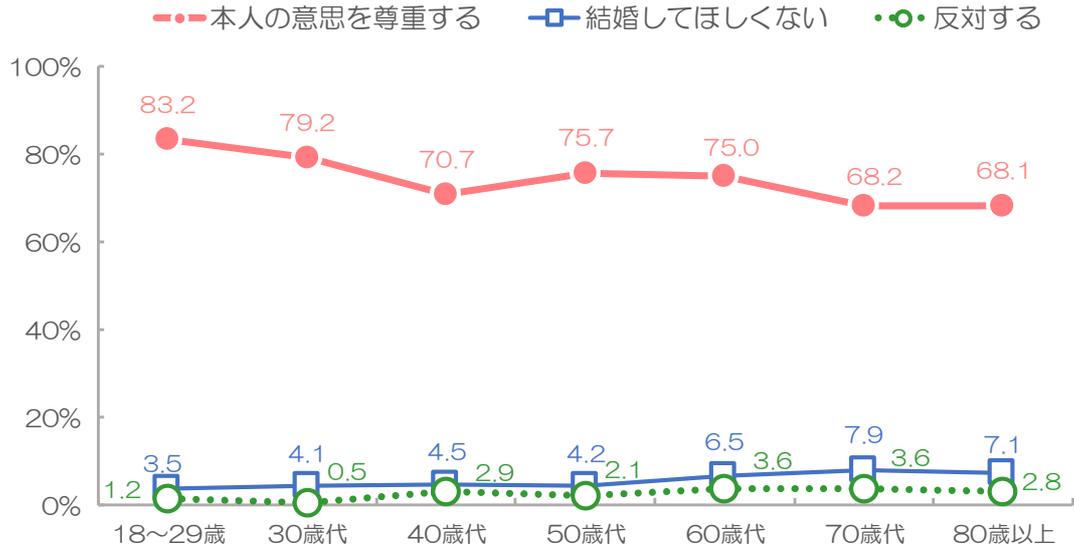
【属性別集計】

● 性別比較



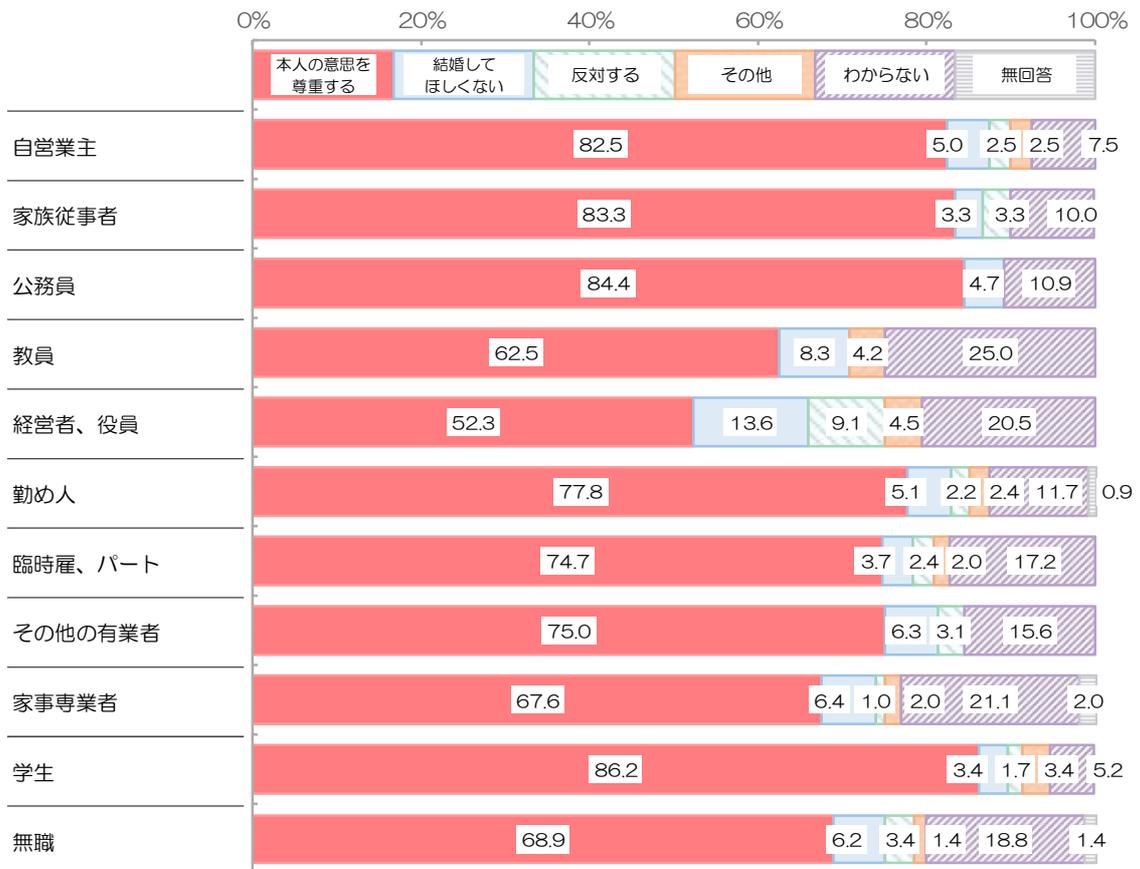
☀️ 男女ともに、「本人の意思を尊重する」と答えた人の割合が最も高い

●年代別比較



❁ いずれの年代も、「本人の意思を尊重する」と答えた人の割合が最も高い

●職業別比較



❁ いずれの職業も、「本人の意思を尊重する」と答えた人の割合が最も高い

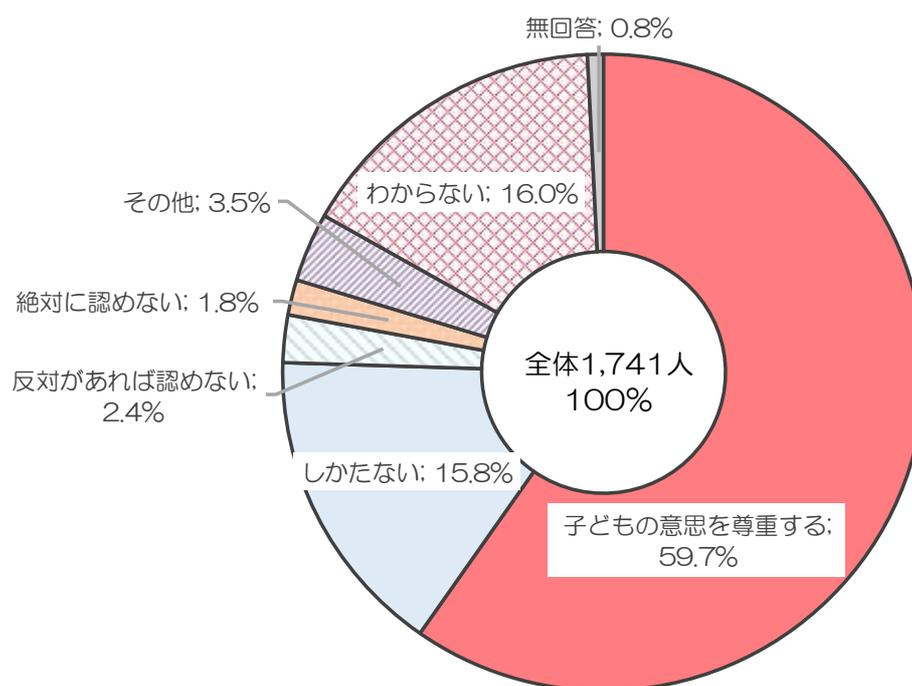
9 結婚における差別意識2（子どもの結婚）

【質問9】

かりに、あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどのようにされますか。(SA)
(あてはまる番号1つに○)

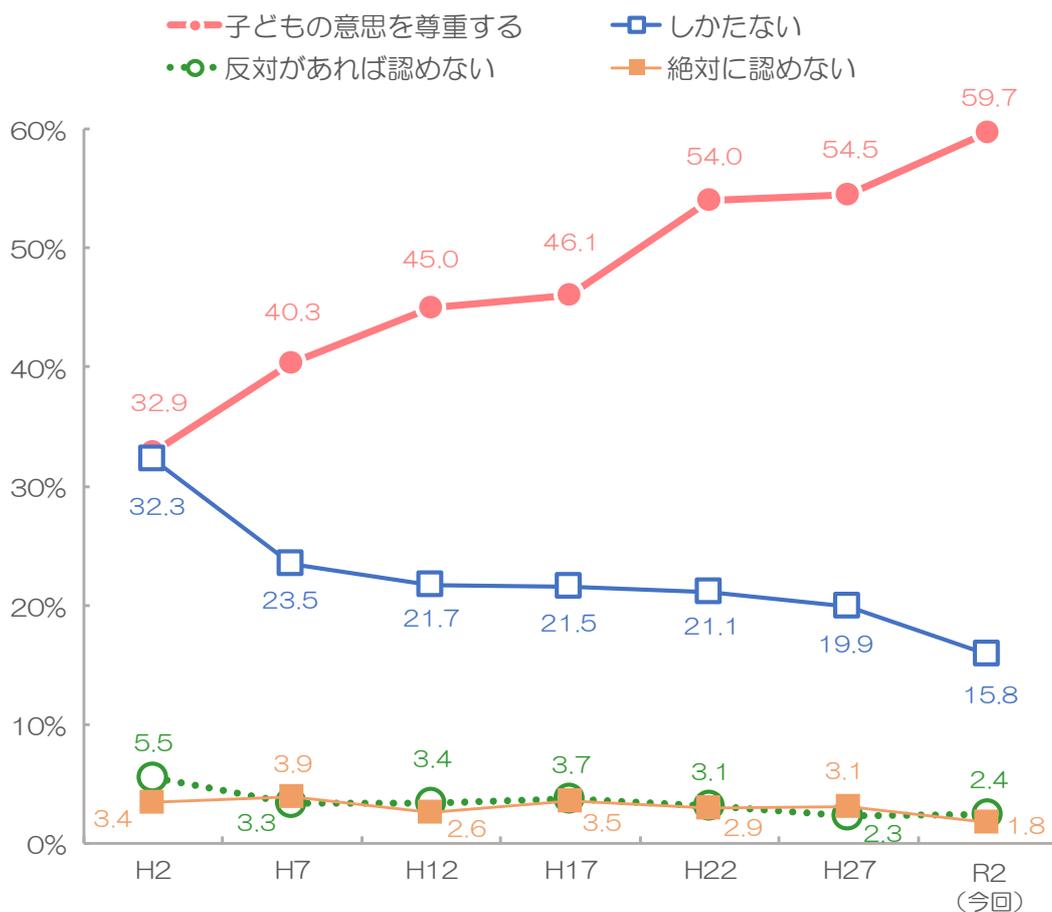
- 1 子どもの意思を尊重する
- 2 親として反対するが、子どもの意思が強ければしかたない
- 3 家族や親類の反対があれば、結婚を認めない
- 4 絶対に結婚を認めない
- 5 その他
- 6 わからない

【単純集計】



☀️ 「子どもの意思を尊重する」と答えた人の割合は、59.7%

【時系列比較】

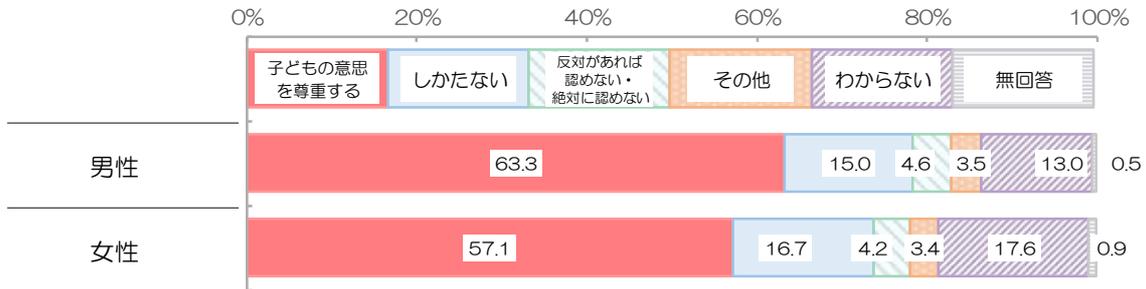


「子どもの意思を尊重する」と答えた人の割合は59.7%と、以前の調査と比較して最も高くなっている。

- ☀️ 「子どもの意思を尊重する」と答えた人の割合は増えており、「しかたない」と答えた人の割合は減っている
- また、「反対があれば認めない」「絶対に認めない」も少しずつ減っている

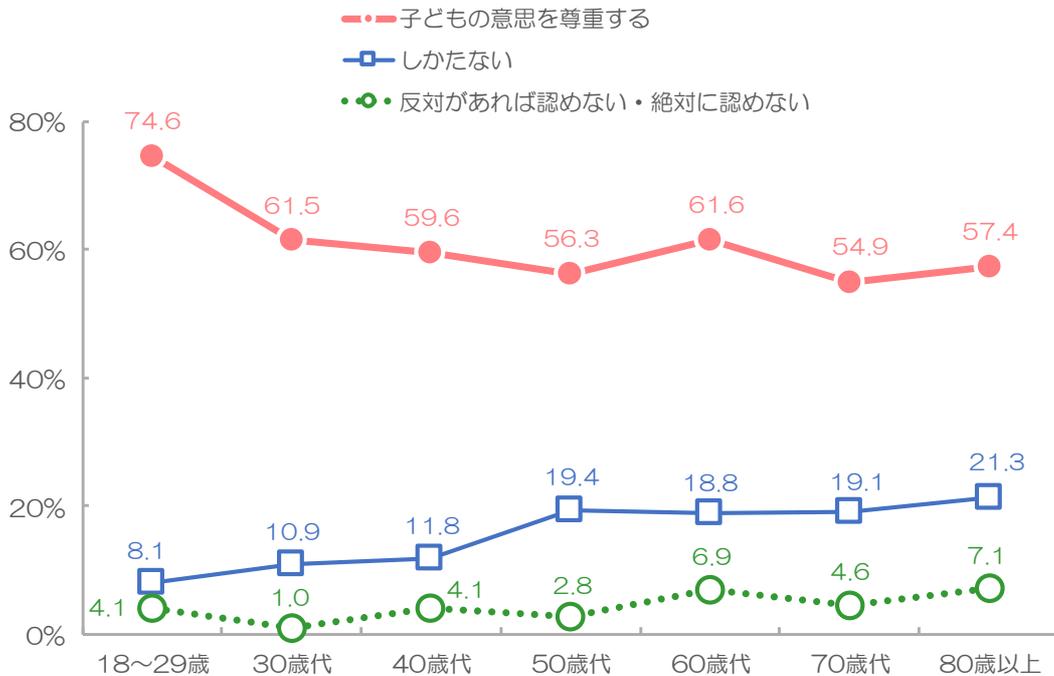
【属性別集計】

●性別比較



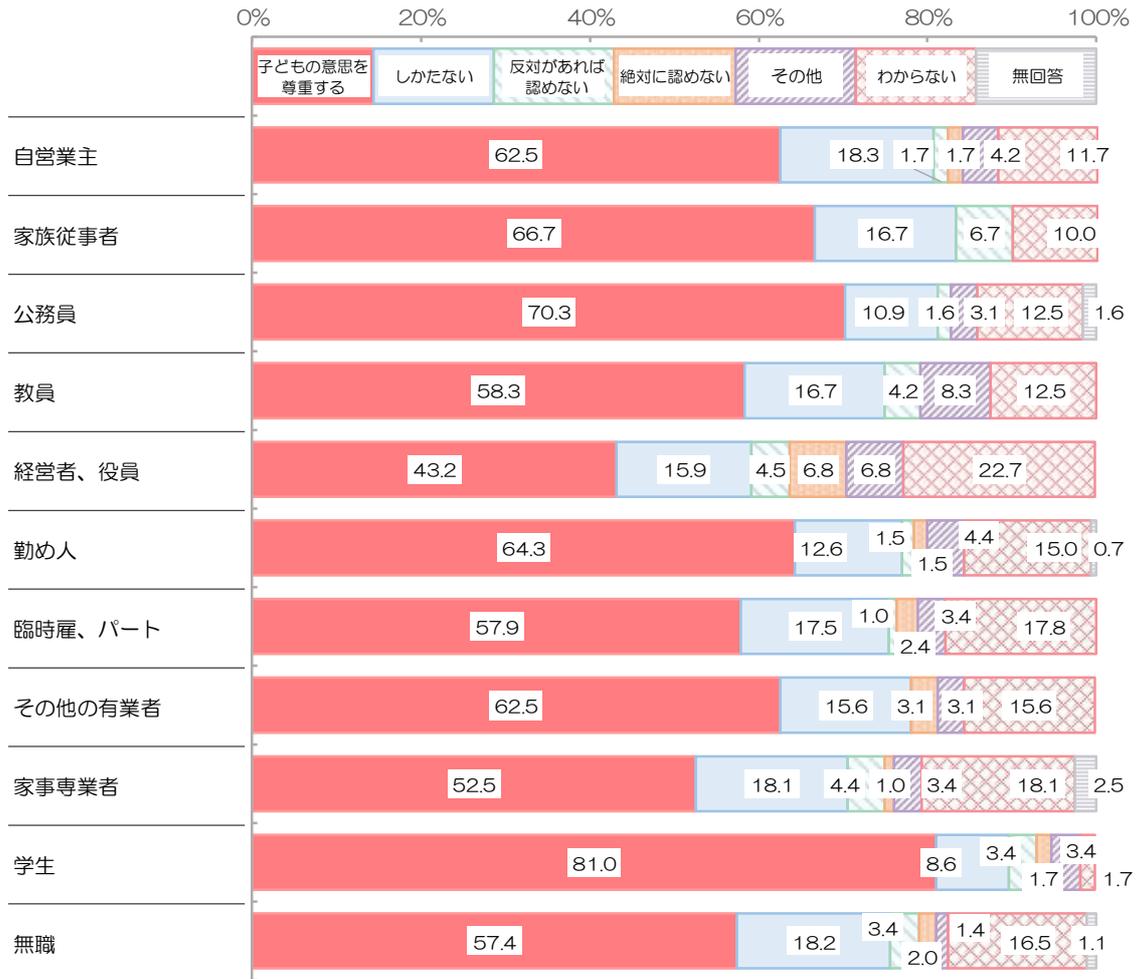
☀ 「子どもの意思を尊重する」と答えた人の割合は、男性の方が高い

●年代別比較



☀ いずれの年代も、「子どもの意思を尊重する」と答えた人の割合が最も高いが、年代が上がるにつれて「しかたない」の割合が高くなっている

●職業別比較



❁ いずれの職業も、「子どもの意思を尊重する」と答えた人の割合が最も高い

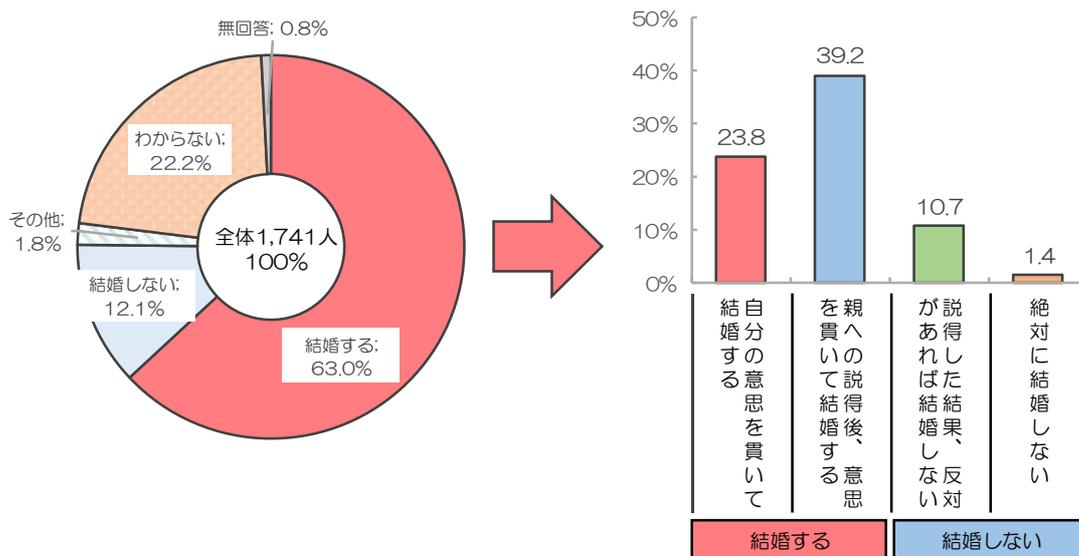
10 結婚における差別意識3（本人の結婚）

【質問10】

かりに、あなたが同和地区出身の人と恋愛をし、結婚しようとしたとき、家族や親類の人から強い反対を受けたら、あなたはどうされますか。(SA)
(あてはまる番号1つに○)

- 1 自分の意思を貫いて結婚する
- 2 親の説得に全力を傾けた後に、自分の意思を貫いて結婚する
- 3 説得した結果、家族や親類の反対があれば結婚しない
- 4 絶対に結婚しない
- 5 その他
- 6 わからない

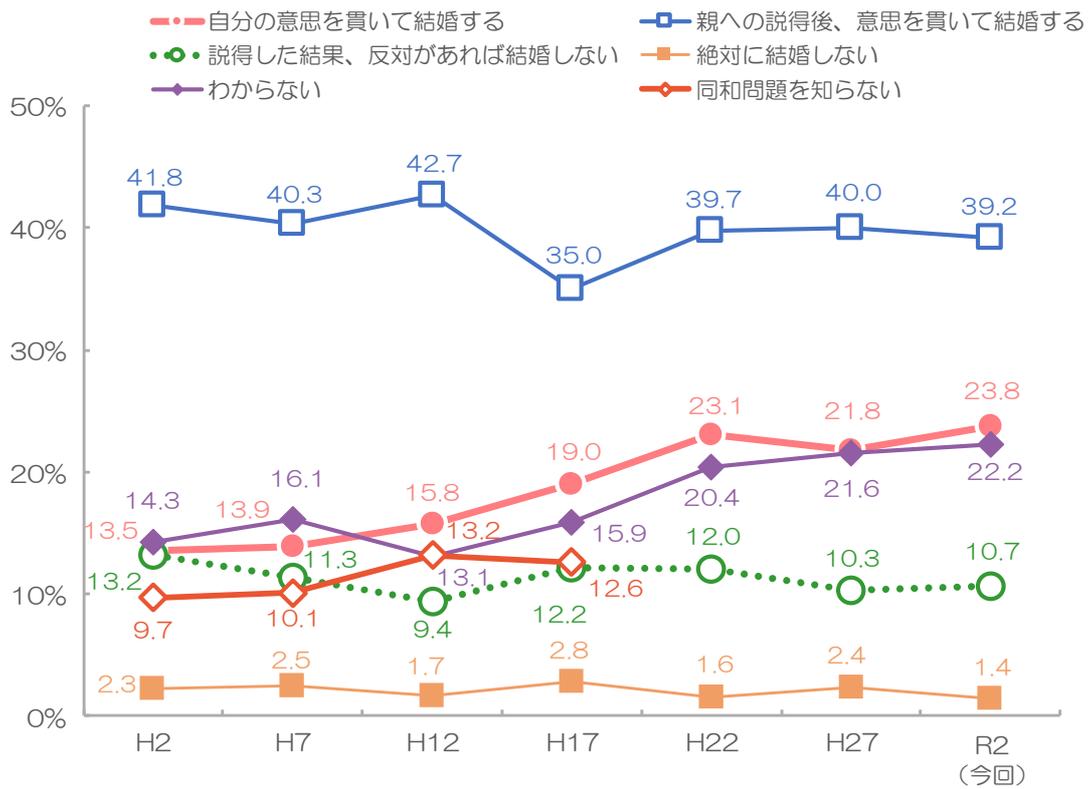
【単純集計】



「自分の意思を貫いて結婚する」(23.8%)と「親への説得後、意思を貫いて結婚する」(39.2%)を合わせて、63.0%の人が『結婚する』と答えている。

☀ 『結婚する』と答えた人の割合は、63.0%

【時系列比較】



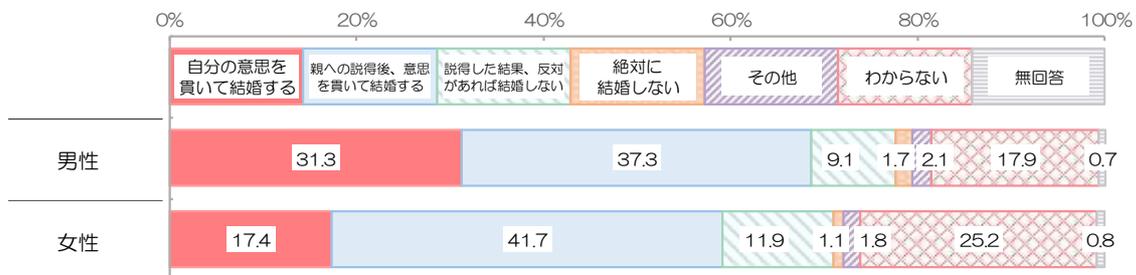
※注1：H2～H17まで「同和問題を知らない」という項目も調査した。

「自分の意思を貫いて結婚する」と答えた人の割合は増加傾向にあり、今回の調査は23.8%であった。

🔴 「自分の意思を貫いて結婚する」と答えた人の割合は増えている

【属性別集計】

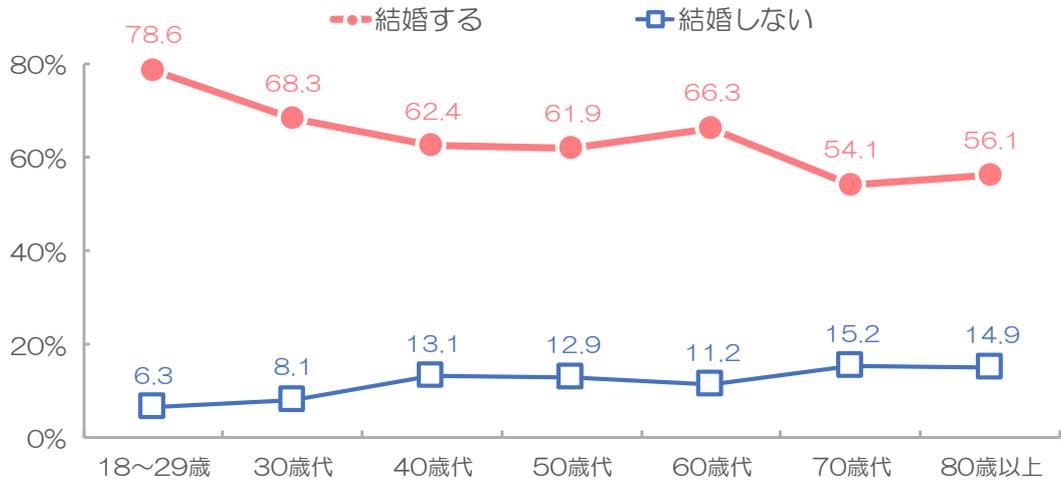
●性別比較



🔴 『結婚する』と答えた人の割合は、男性の方が高い

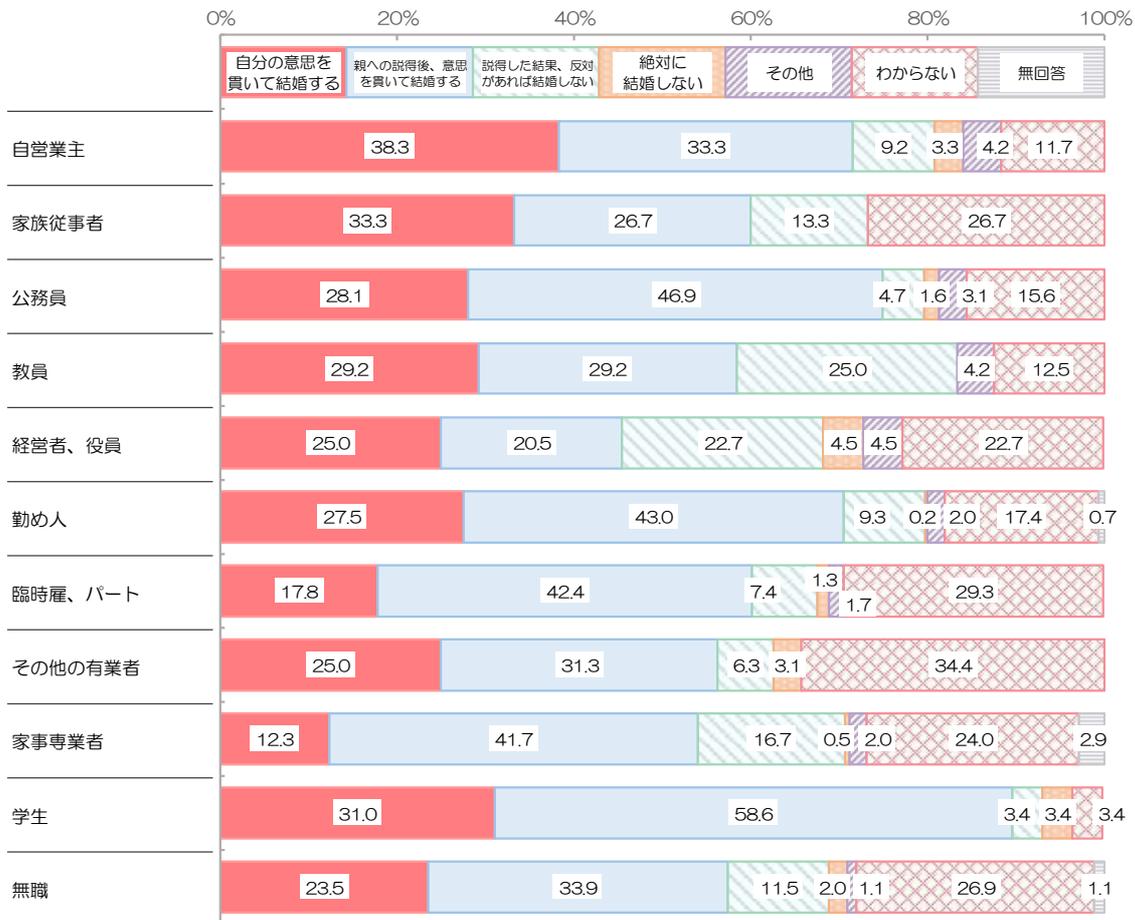
●年代別比較

「自分の意思を貫いて結婚する」「親への説得後、意思を貫いて結婚する」を『結婚する』、「反対があれば結婚しない」「絶対に結婚しない」を『結婚しない』にまとめ、年代別比較



いずれの年代も、『結婚する』と答えた人は、『結婚しない』と答えた人より割合が高い

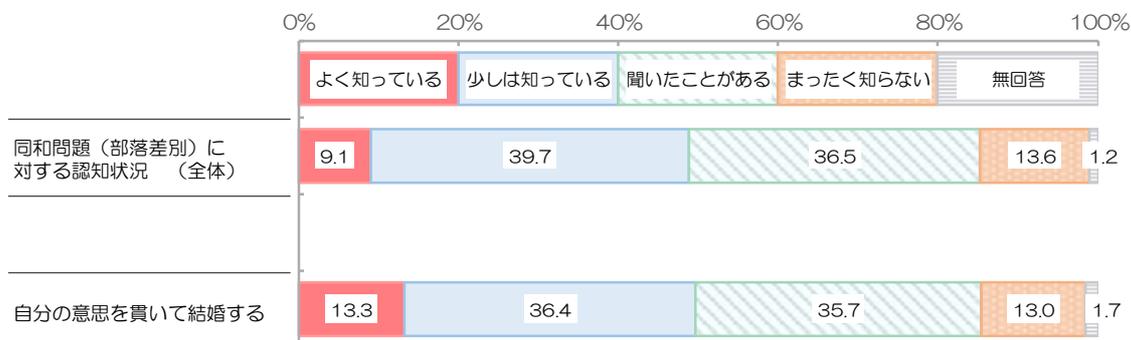
●職業別比較



いずれの職業も、『結婚する』と答えた人は、『結婚しない』と答えた人より割合が高い

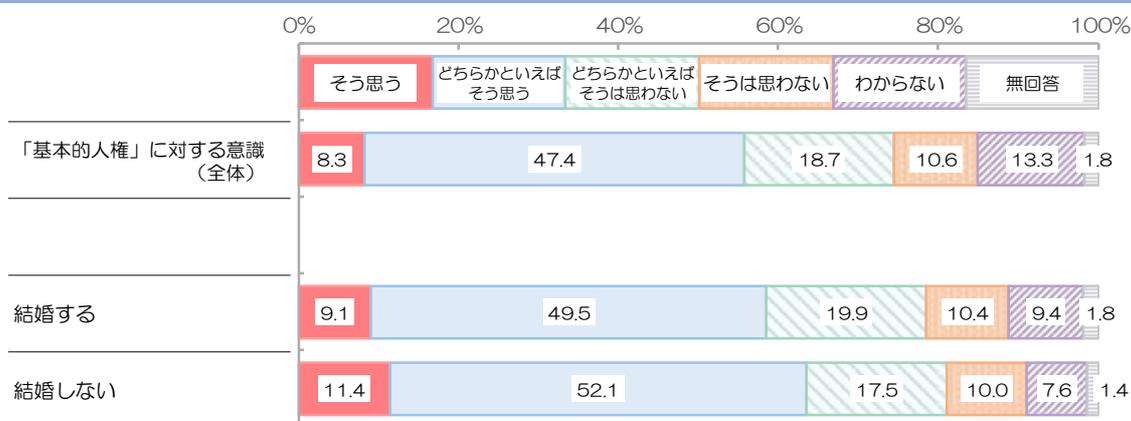
【設問間クロス集計】

質問 10「結婚における差別意識（本人の結婚）」と質問 2「同和問題（部落差別）の認知状況」との関連分析



☀️ 「自分の意思を貫いて結婚する」と答えた人は、全体と比べると同和問題（部落差別）を「よく知っている」と答えた割合が高い

質問 10「結婚における差別意識（本人の結婚）」と質問 19「『基本的人権』に対する意識」との関連分析



☀️ 『結婚する』と答えた人は、「基本的人権の尊重された社会だと思う」と答えた割合が『結婚しない』と答えた人より低い

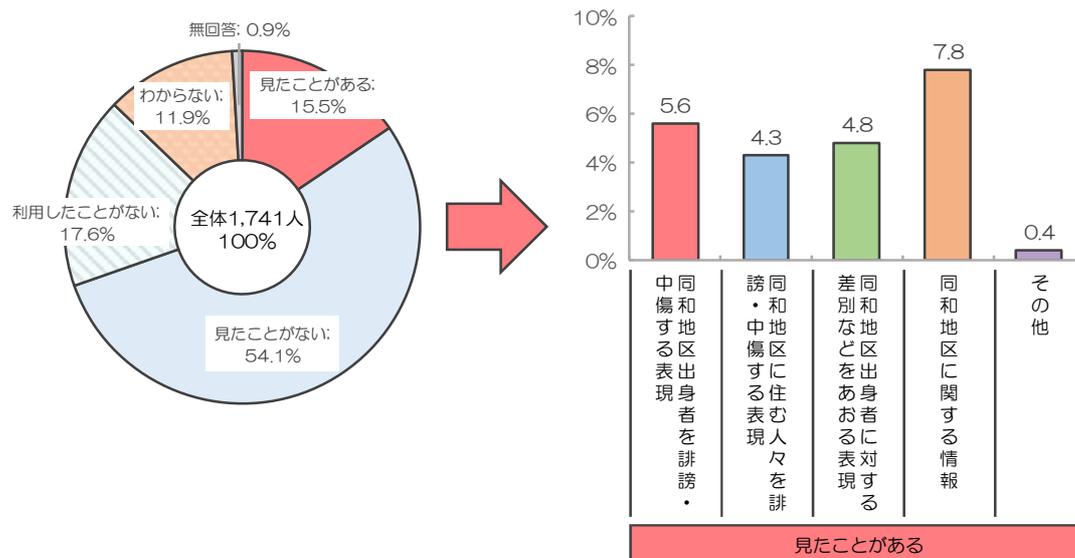
1.1 インターネット上での差別についての認知状況

【質問11】

あなたは、同和問題（部落差別）に関して、インターネット上で差別しているのを見たことがありますか。それはどのようなものですか。（MA）
（あてはまるものすべてに○）

- 1 同和地区出身者を誹謗・中傷する表現
- 2 同和地区を特定し、そこに住む人々を誹謗・中傷する表現
- 3 同和地区出身者に対する差別などをあおる表現
- 4 同和地区に関する情報
- 5 その他
- 6 差別しているのを見たことがない
- 7 インターネットを利用したことがない
- 8 わからない

【単純集計】

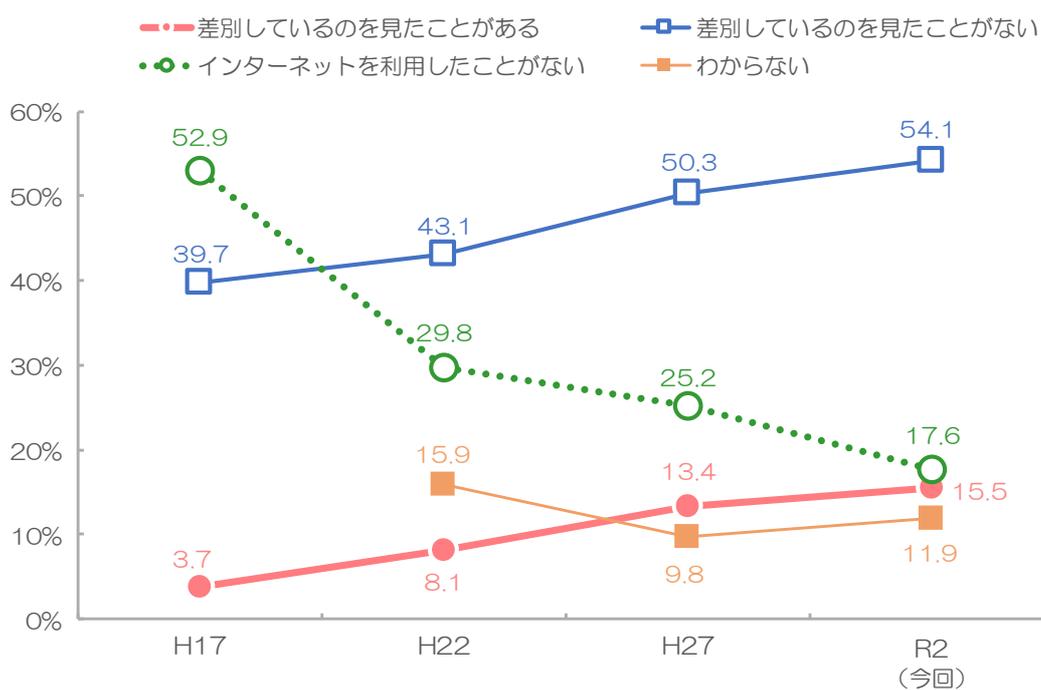


『見たことがある』と答えた人の内容の割合は、「同和地区に関する情報」7.8%、「同和地区出身者を誹謗・中傷する表現」5.6%、「同和地区出身者に対する差別などをあおる表現」4.8%、「同和地区を特定し、そこに住む人々を誹謗・中傷する表現」4.3%となっている。

 インターネット上で差別しているのを『見たことがある』と答えた人の割合は、15.5%

※注：『見たことがある』と答えた人の割合は、全体（100%）から「見たことがない」、「利用したことがない」、「わからない」、「無回答」を引いたもの。

【時系列比較】

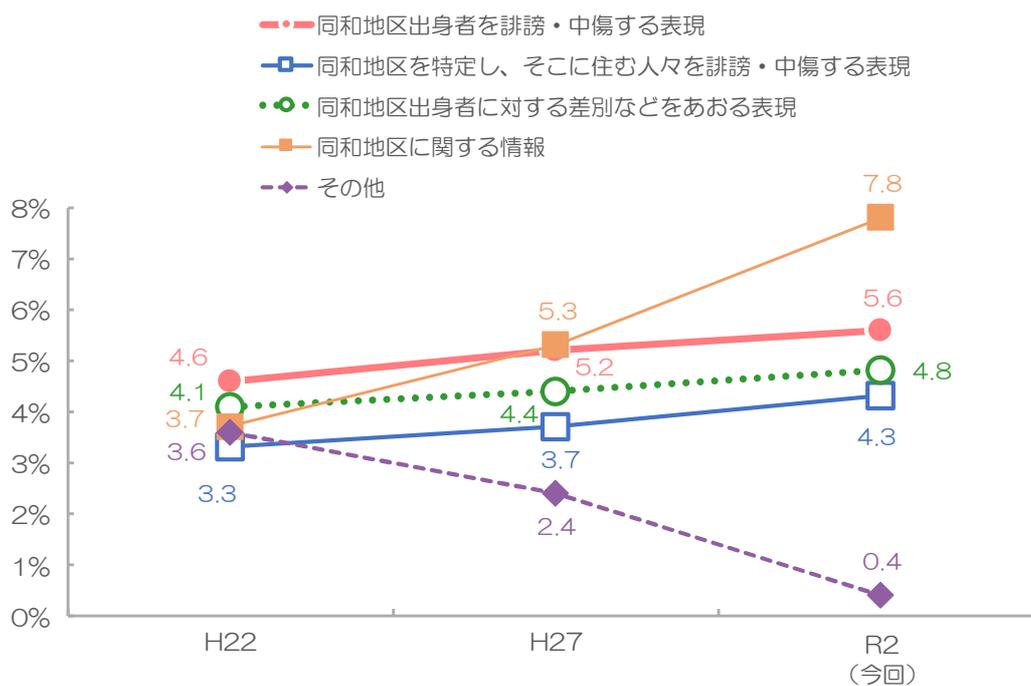


※注：H17は「わからない」という項目はなかった。

インターネット上で差別しているのを『見たことがある』と答えた人は、15.5%で前回から2.1%増えている。

一方、「差別しているのを見たことがない」と答えた人の割合は3.8%増えている。

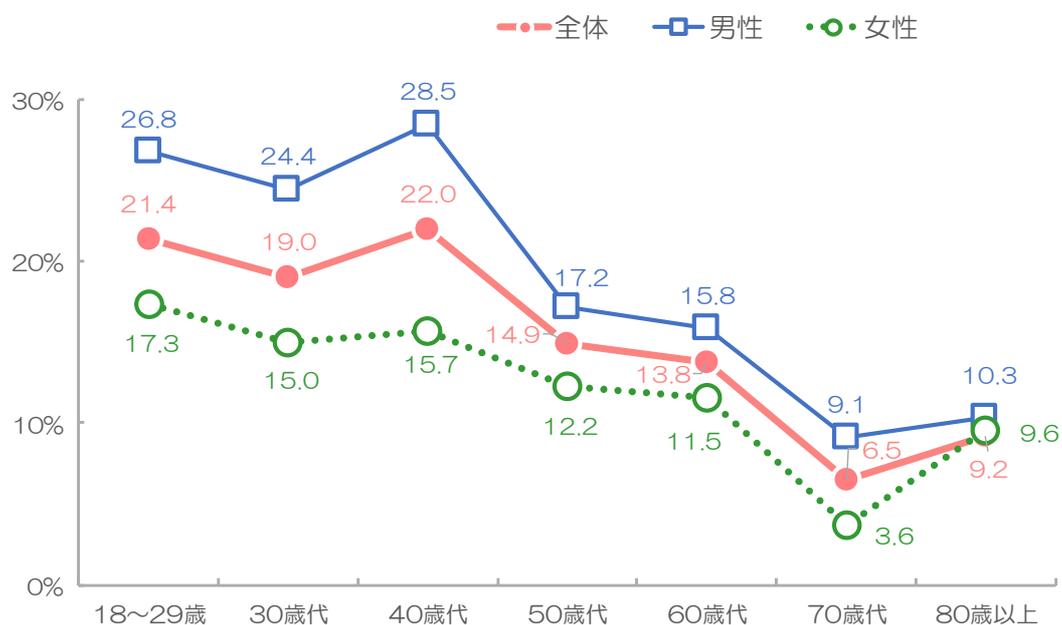
『見たことがある』と答えた人の割合は増えている



【属性別集計】

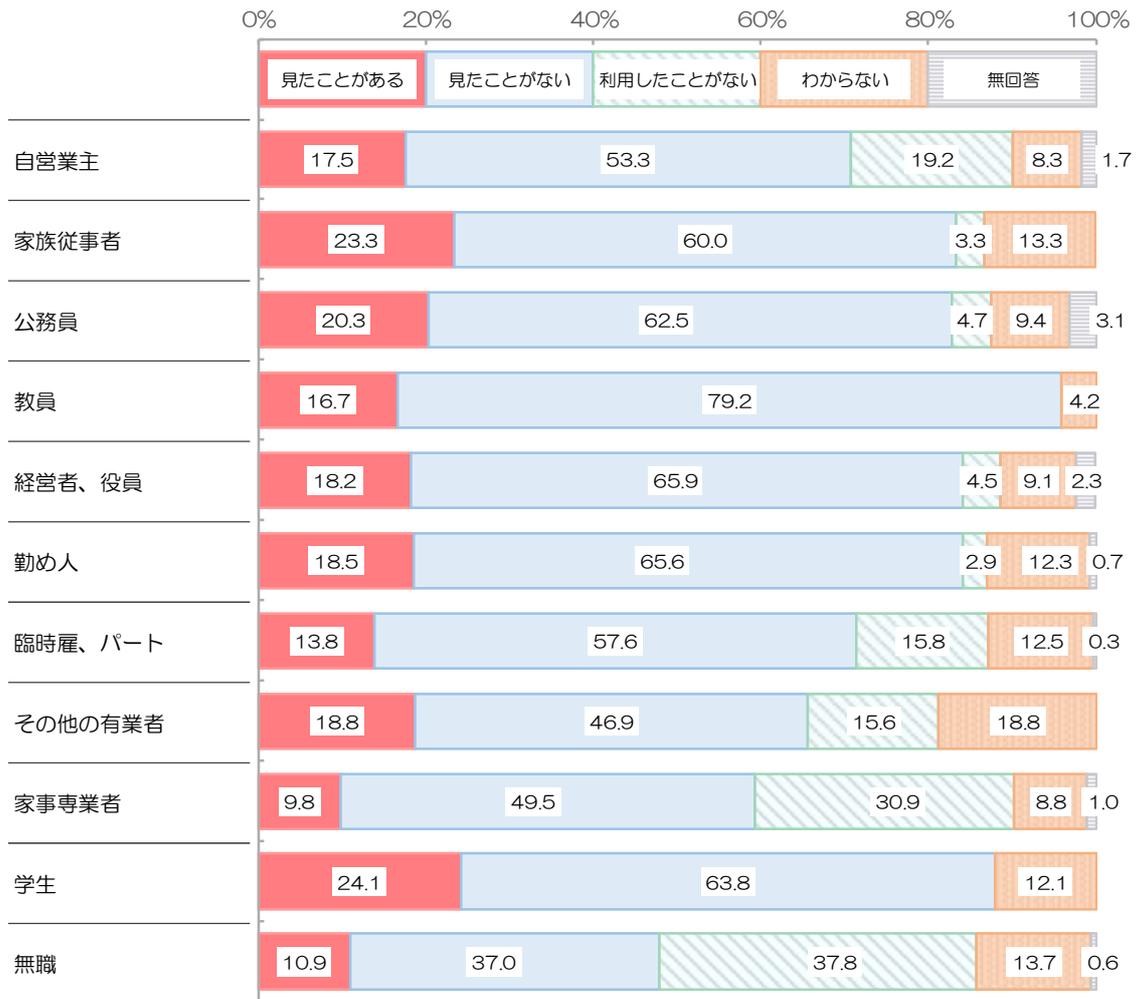
● 性年代別比較

『見たことがある』と答えた人を、性年代別比較



- ☀ 『見たことがある』と答えた人の割合は、年代全体で見ると18~29歳、30歳代、40歳代で20%前後と高く、いずれの年代も男性の方が女性よりも高い

●職業別比較



1.2 起きていると思う人権問題

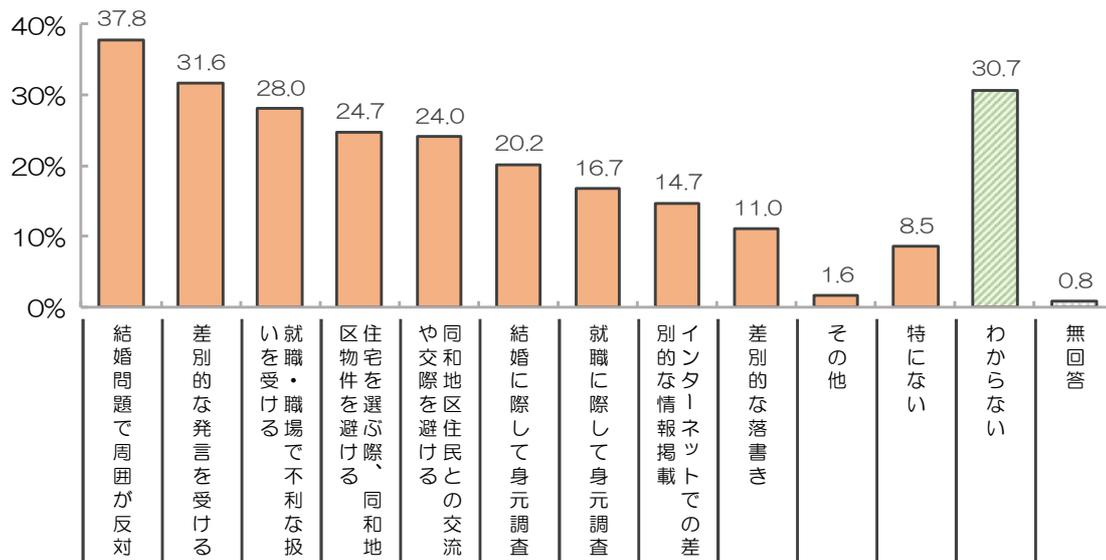
【質問12】

あなたは、同和問題（部落差別）に関して、現在どのような人権問題が起きていると思いますか。（MA）

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| 1 結婚問題で周囲が反対すること | 10 その他 |
| 2 就職・職場で不利な扱いを受けること | 11 特にない |
| 3 差別的な発言を受けること | 12 わからない |
| 4 差別的な落書きがあること | |
| 5 結婚に際して身元調査（聞き合わせ）が行われること | |
| 6 就職に際して身元調査（聞き合わせ）が行われること | |
| 7 同和地区やそこで生活する住民との交流や交際を避けたりすること | |
| 8 住宅を選ぶ際に、同和地区や同和地区を含む小学校区にある物件を避けること | |
| 9 インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること | |

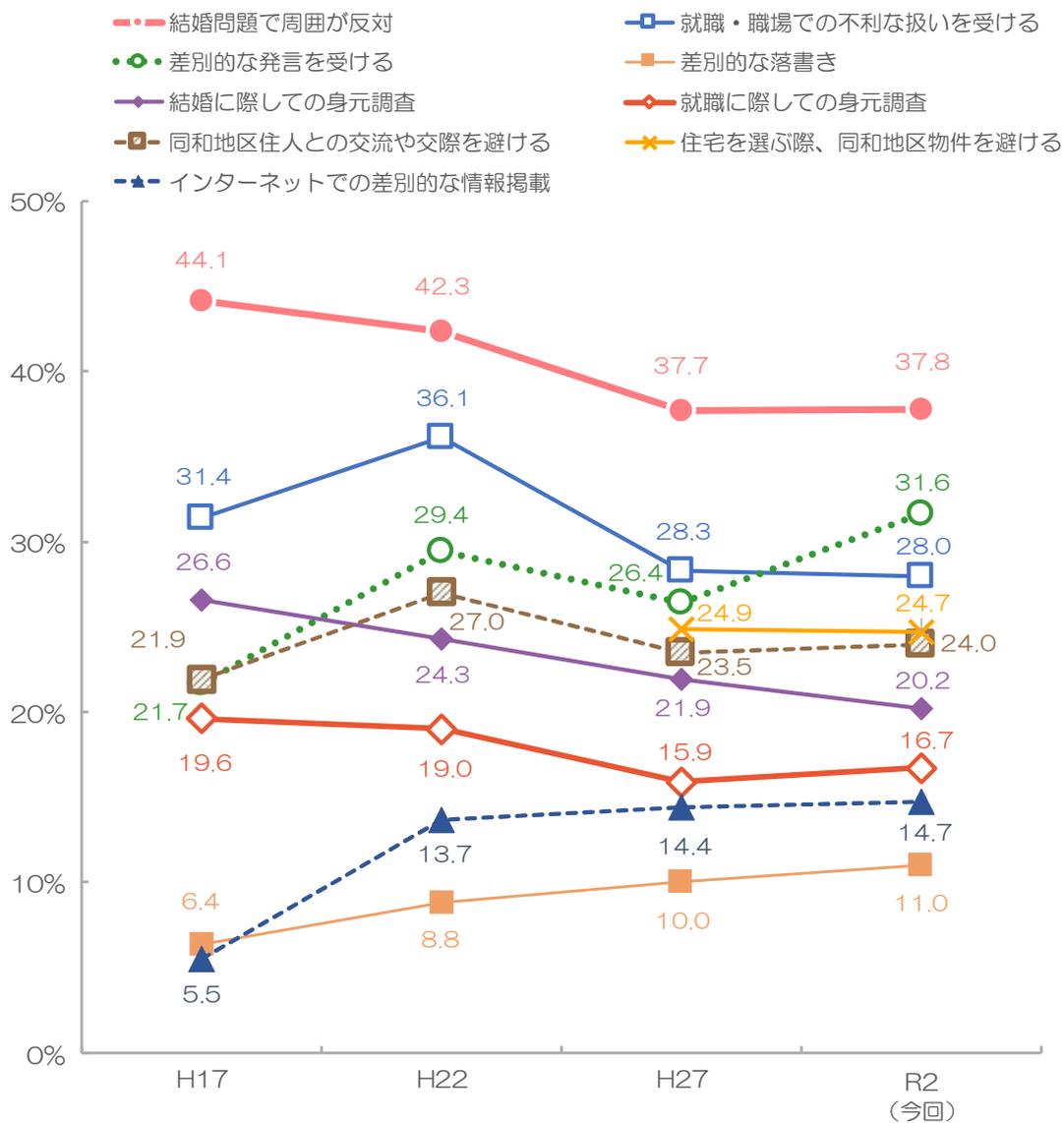
【単純集計】



「結婚問題で周囲が反対」が37.8%と最も高く、次いで「差別的な発言を受ける」31.6%、「就職・職場で不利な扱いを受ける」28.0%の順となっている。

 現在、起きている人権問題として、「結婚問題で周囲が反対」と答えた人の割合が最も高い

【時系列比較】

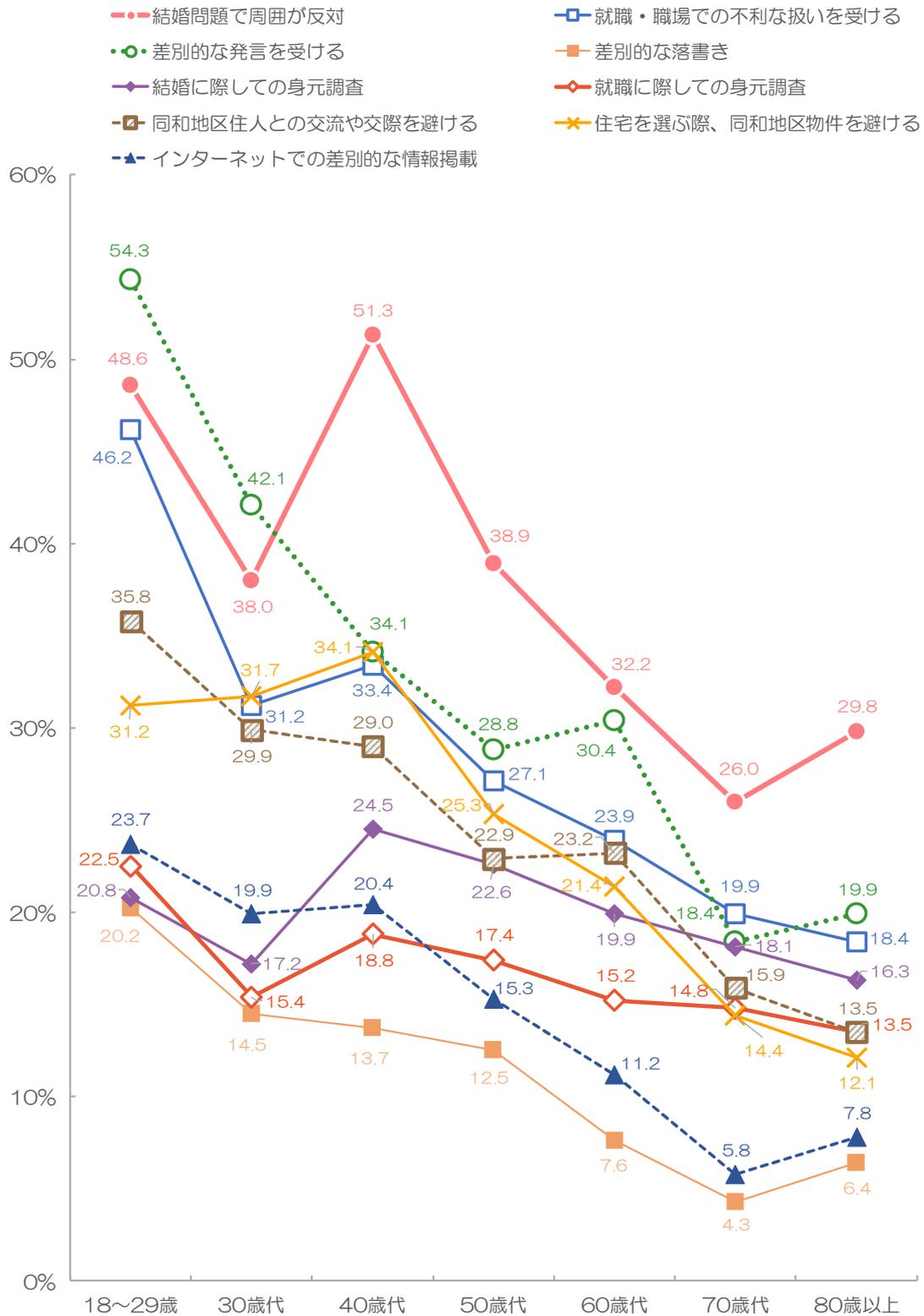


※注：「住宅を選ぶ際、同和地区物件を避ける」という項目はH27から調査した。

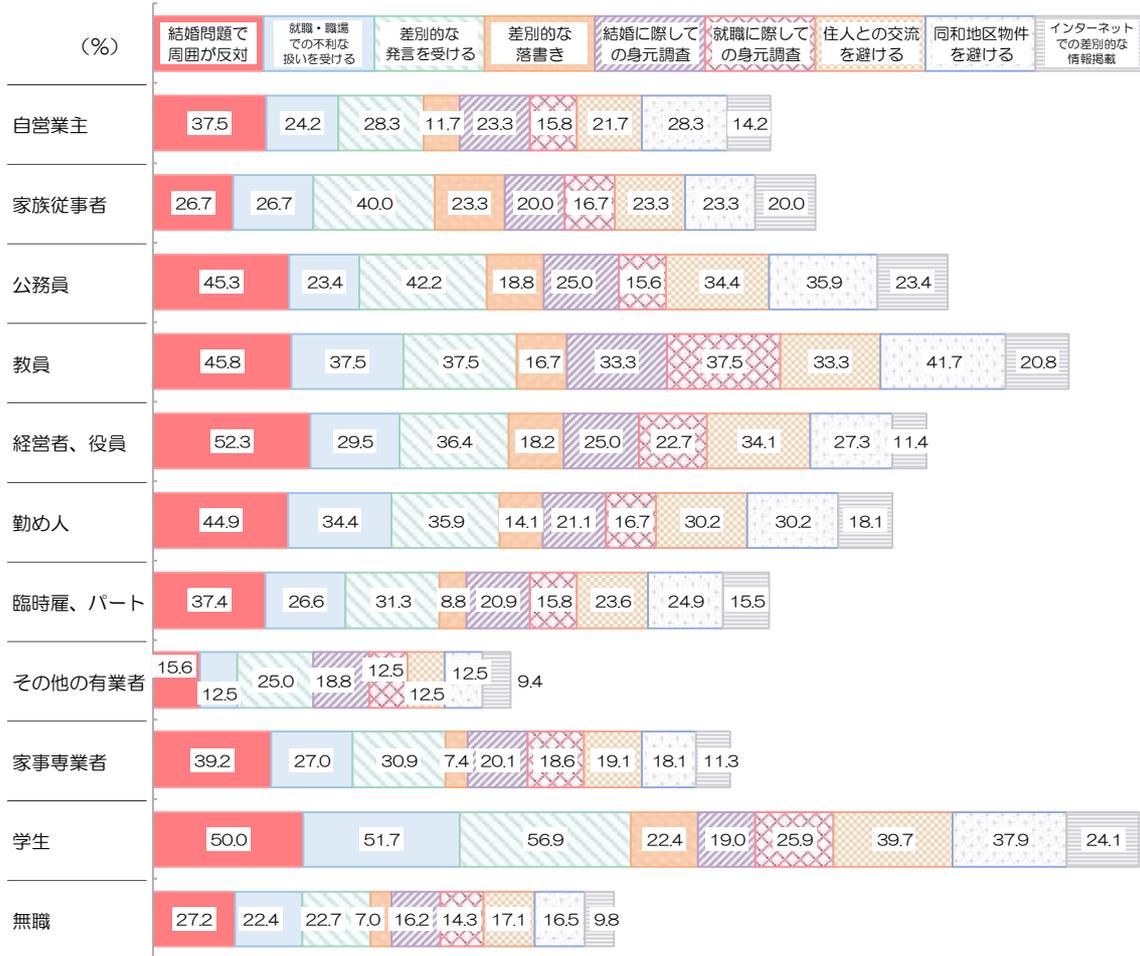
☀️ 「差別的な発言を受ける」「差別的な落書き」「インターネットでの差別的な情報掲載」と答えた人の割合は、以前の調査と比較して最も高くなっている

【属性別集計】

●年代別比較



●職業別比較



※注：問 12 はマルチ（複数回答）のため、職業別ごとの回答の合計は 100%を超える。

【設問間クロス集計】

質問 12「起きていると思う人権問題」と質問 17「同和問題（部落差別）の解決策」の関連分析



※注：問 17 はマルチ（複数回答）のため、項目別ごとの回答の合計は 100%を超える。

☀️「結婚問題で周囲が反対」と答えた人は、「教育・啓発の推進」と答えた割合が全体と比べて高い

1.3 啓発活動への参加・関わりの状況

【質問13】

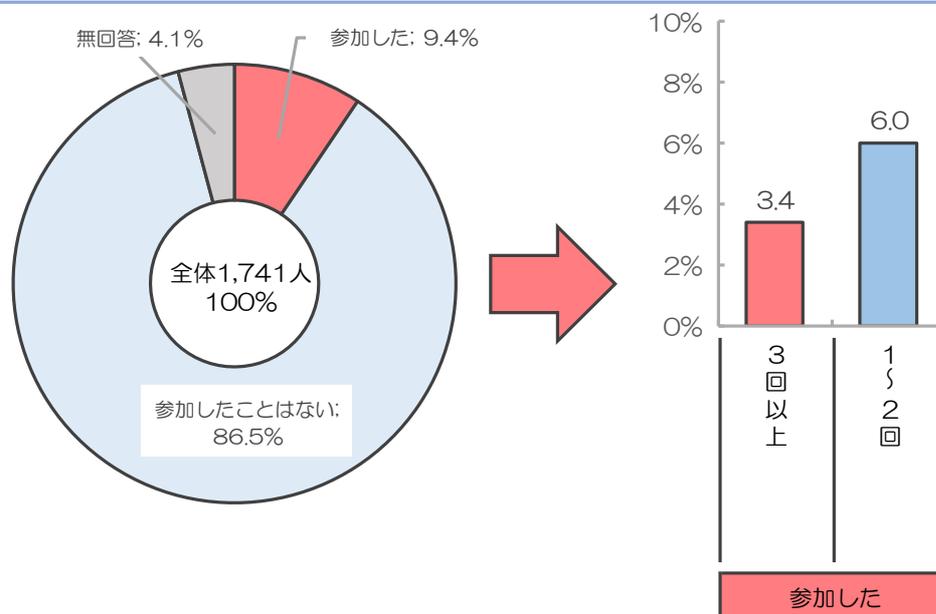
あなたは、同和問題（部落差別）に関連する講演会や研修会に参加したり、新聞やテレビ・ラジオなどで同和問題（部落差別）に関連したことを見たり、聞いたり、読んだりしたことが何回ありますか。（各SA）

（A、B、Cそれぞれについてあてはまるもの1つに○）

事 項	3回以上	1～2回	ない
1 講演会・講座・研修会への参加	A	B	C
2 なごや人権啓発センターの展示	A	B	C
3 広報なごや	A	B	C
4 テレビ・ラジオ	A	B	C
5 映画・DVD・ビデオ	A	B	C
6 インターネット	A	B	C
7 冊子・パンフレット	A	B	C
8 新聞	A	B	C
9 雑誌	A	B	C
10 ポスター	A	B	C
11 たれ幕・立看板	A	B	C

【単純集計】

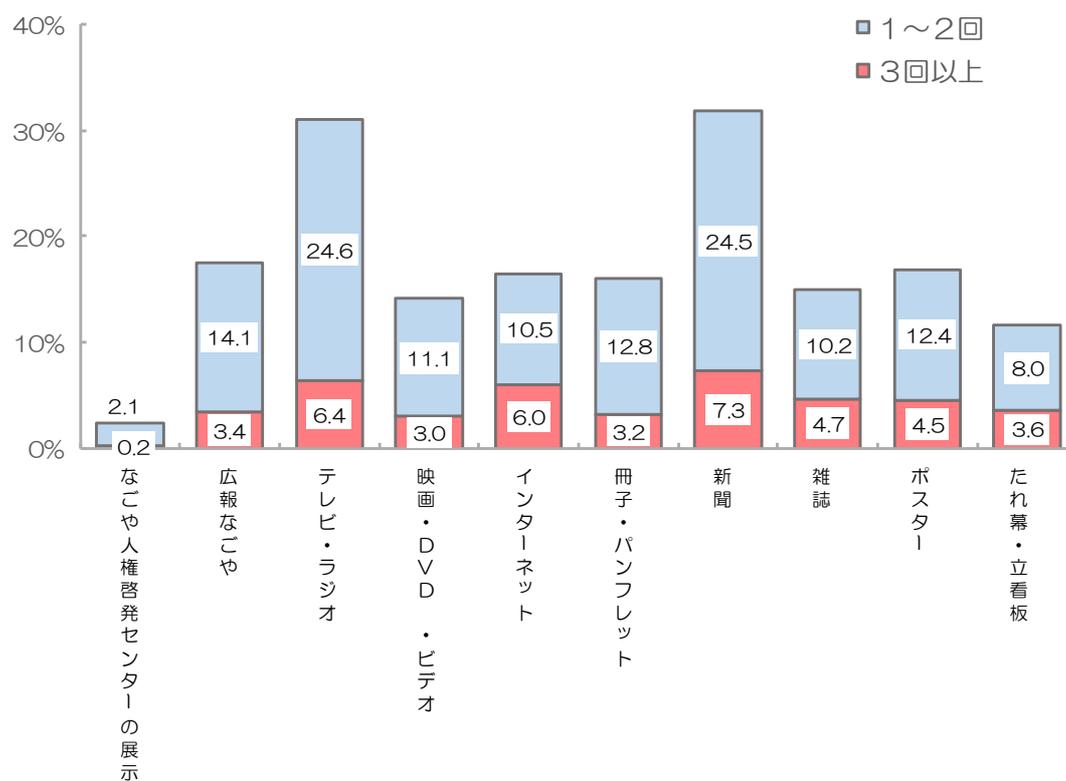
「講演会・講座・研修会」への参加状況



【講演会・講座・研修会】へ参加した回数が「3回以上」（3.4%）、「1～2回」（6.0%）と答えた人の割合を合わせた『参加した』は9.4%となっている。

 【講演会・講座・研修会】に『参加した』と答えた人は、9.4%

「講演会・講座・研修会」以外の啓発媒体に接した回数

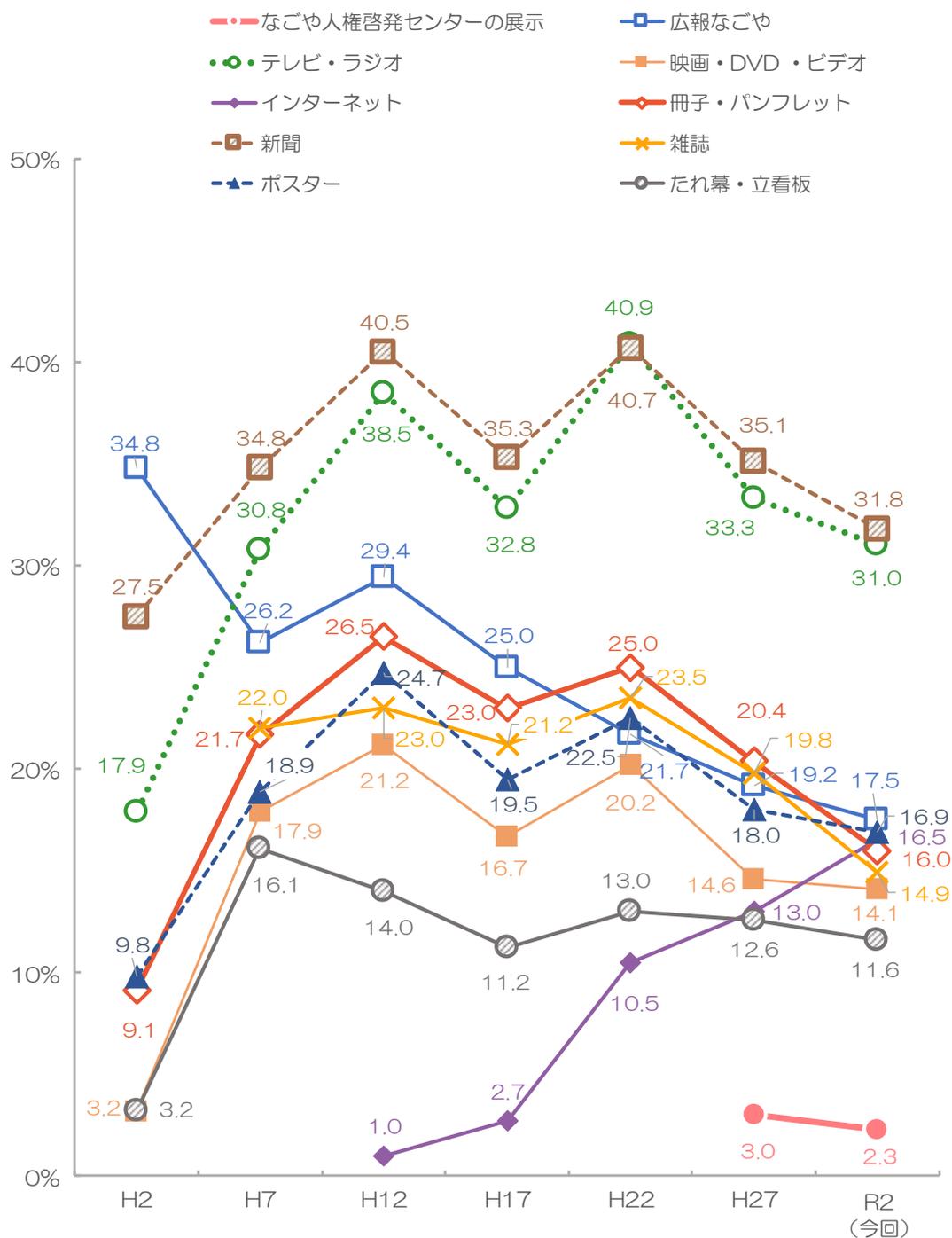


同和問題(部落差別)に関することを見聞きした媒体では【新聞】と答えた人が最も高く、「3回以上」「1~2回」を合わせると31.8%、次いで【テレビ・ラジオ】が31.0%となっている。

☀ 同和問題(部落差別)について接したのは、【新聞】【テレビ・ラジオ】と答えた人の割合が他の啓発媒体と答えた人より高い

【時系列比較】

「講演会・講座・研修会」以外の啓発媒体との関わり状況



※注1：H2 は各啓発活動について見たり、聞いたり、読んだりしたものをすべて選んでもらう方法で調査した。

2：H2 は「テレビ・ラジオ・ビデオ」と「映画「小さな指輪」など」という項目で調査した。

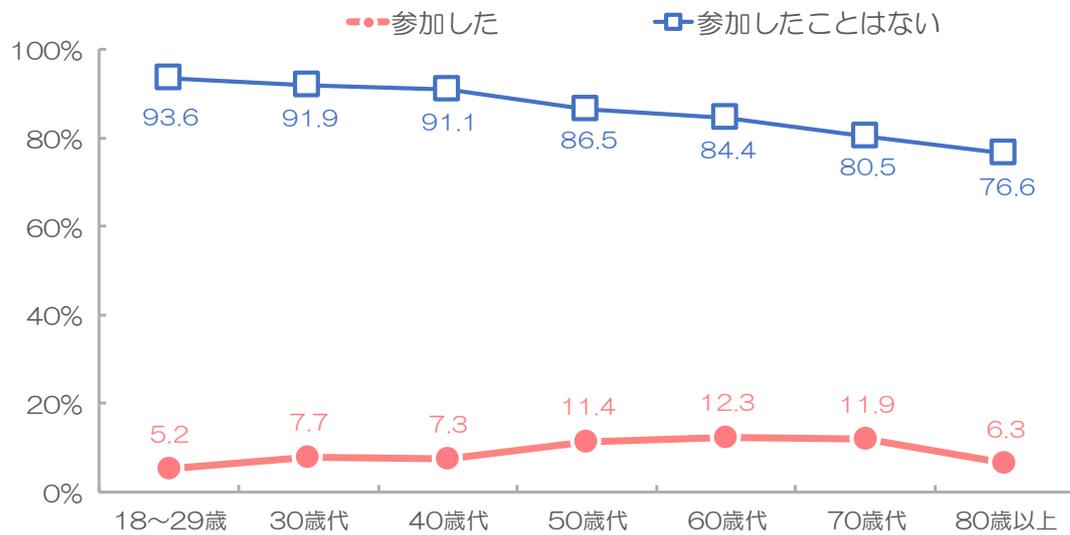
3：「なごや人権啓発センターの展示」は、前回（H27）から追加した項目。

☀️ 【インターネット】の割合が増えている

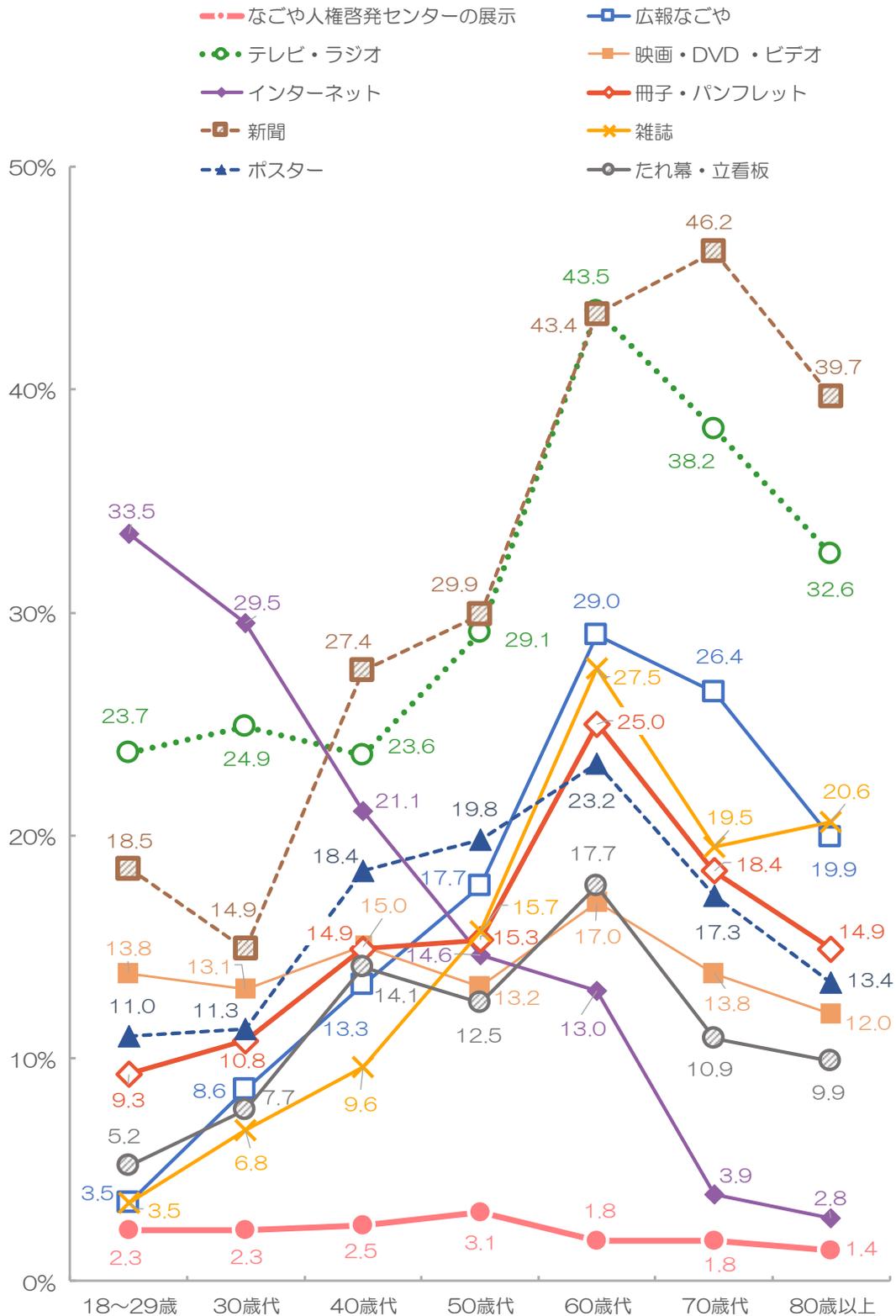
【属性別集計】

●年代別比較

「講演会・講座・研修会」への参加状況を、年代別比較



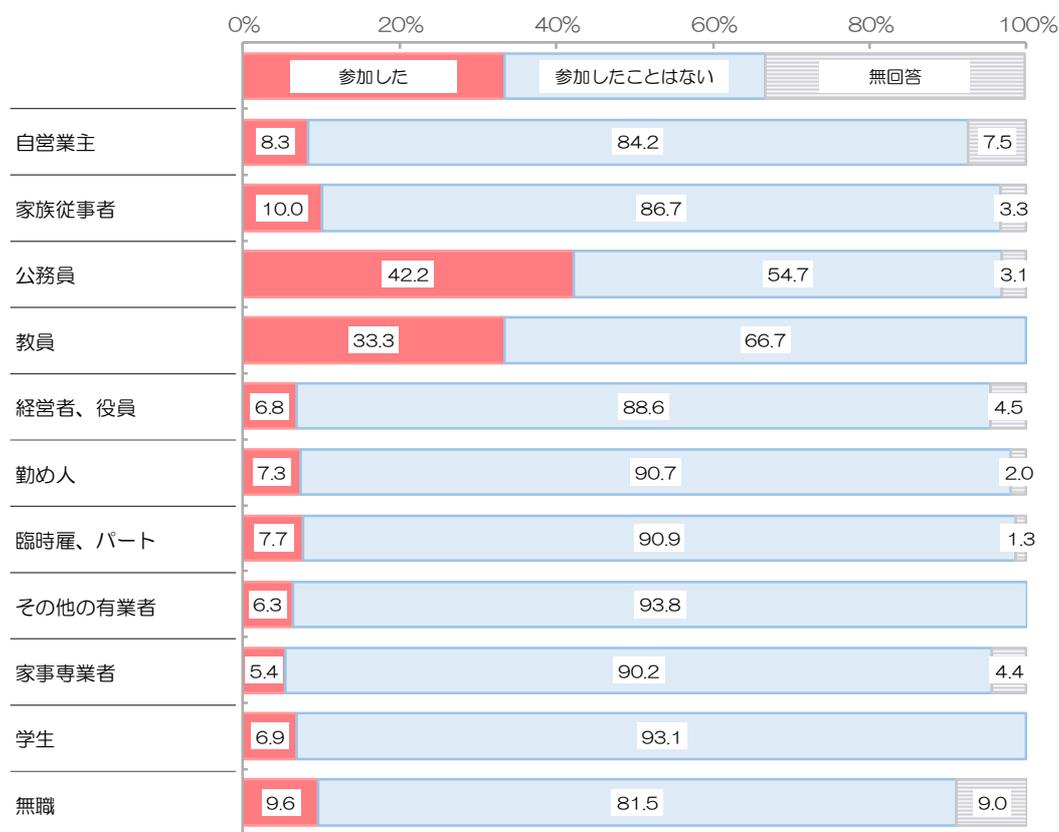
「講演会・講座・研修会」以外の啓発媒体との関わり状況を、年代別比較



18~29歳、30歳代は【インターネット】の割合が最も高い

●職業別比較

「講演会・講座・研修会」への参加状況を、職業別比較



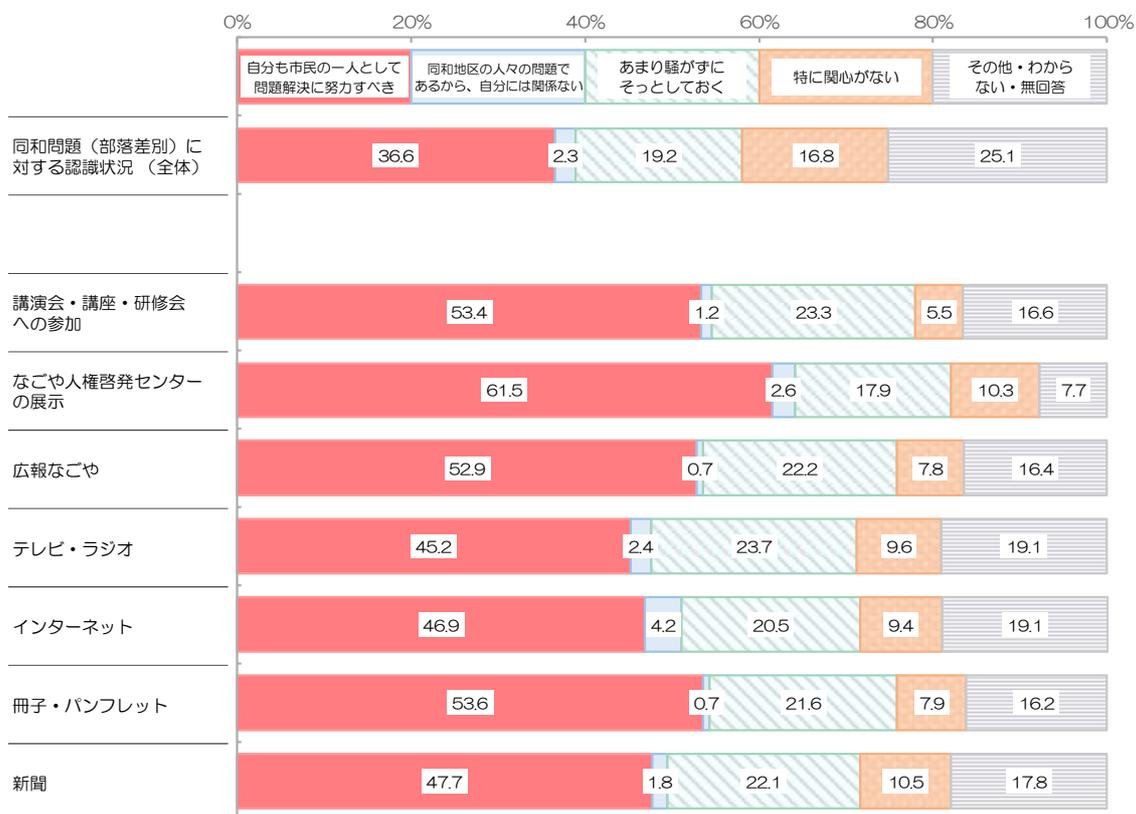
「講演会・講座・研修会」以外の啓発媒体と接したことがある割合を、職業別比較

	(%)									
	セ な ご や ー の 権 展 啓 示 発	広 報 な ご や	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	映 画 ・ D V D ・ ビ テ オ	イ ン タ ー ネ ッ ト	冊 子 ・ パ ン フ レ ッ ト	新 聞	雑 誌	ポ ス タ ー	た れ 幕 ・ 立 看 板
自営業主	3.3	20.0	34.1	10.0	15.8	10.8	33.3	20.0	18.4	15.0
家族従事者	3.3	23.3	46.7	23.3	16.6	26.7	40.0	26.7	30.0	13.3
公務員	4.7	25.1	29.7	18.8	18.8	42.2	35.9	10.9	37.5	26.6
教員	12.5	37.5	45.9	25.0	16.7	45.8	45.8	25.0	37.5	33.3
経営者、役員	2.3	18.2	25.0	13.6	18.2	15.9	47.7	29.6	18.1	9.0
勤め人	1.3	11.0	26.2	14.8	24.6	13.5	24.9	9.6	16.3	13.4
臨時雇、パート	2.0	17.5	33.0	14.2	15.2	15.9	29.7	16.8	15.5	9.4
その他の有業者	3.1	12.5	12.6	6.3	21.9	9.4	28.1	15.7	15.7	12.6
家事専業者	3.4	22.6	32.8	11.8	7.9	13.3	36.3	12.3	11.3	8.4
学生	0.0	1.7	27.6	17.2	39.6	8.6	24.1	3.4	8.6	5.2
無職	1.7	22.7	34.7	14.0	8.4	17.3	37.8	19.6	18.0	9.8

※各職業の上位二位までの回答率を網掛けにて示している。

【設問間クロス集計】

質問 13「啓発活動への参加・関わりの状況」（【講演会・講座・研修会への参加】【なごや人権啓発センターの展示】【広報なごや】【テレビ・ラジオ】【インターネット】【冊子・パンフレット】【新聞】）と質問6「同和問題（部落差別）に対する認識状況」の関連分析



☀️ 【なごや人権啓発センターの展示】で接したと答えた人は、他の啓発媒体で接したと答えた人より「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた割合が高い

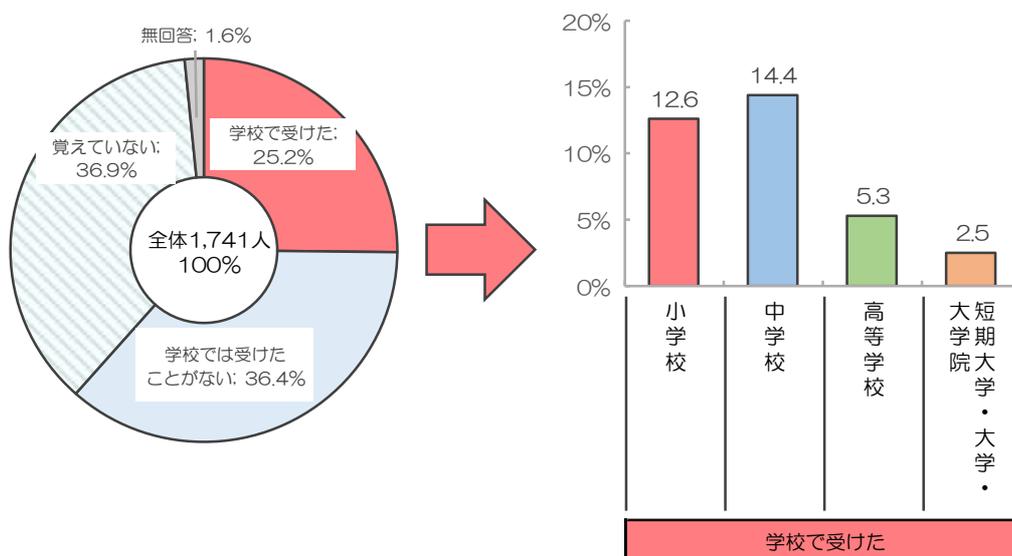
1.4 同和問題（部落差別）の学習

【質問14】

あなたは、学校で同和問題（部落差別）についての授業を受けたことがありますか。（MA）
（あてはまるものすべてに○）

- 1 小学校
- 2 中学校
- 3 高等学校(旧制中学校なども含む)
- 4 短期大学・大学・大学院(高等専門学校、専門学校なども含む)
- 5 学校では受けたことがない
- 6 覚えていない

【単純集計】

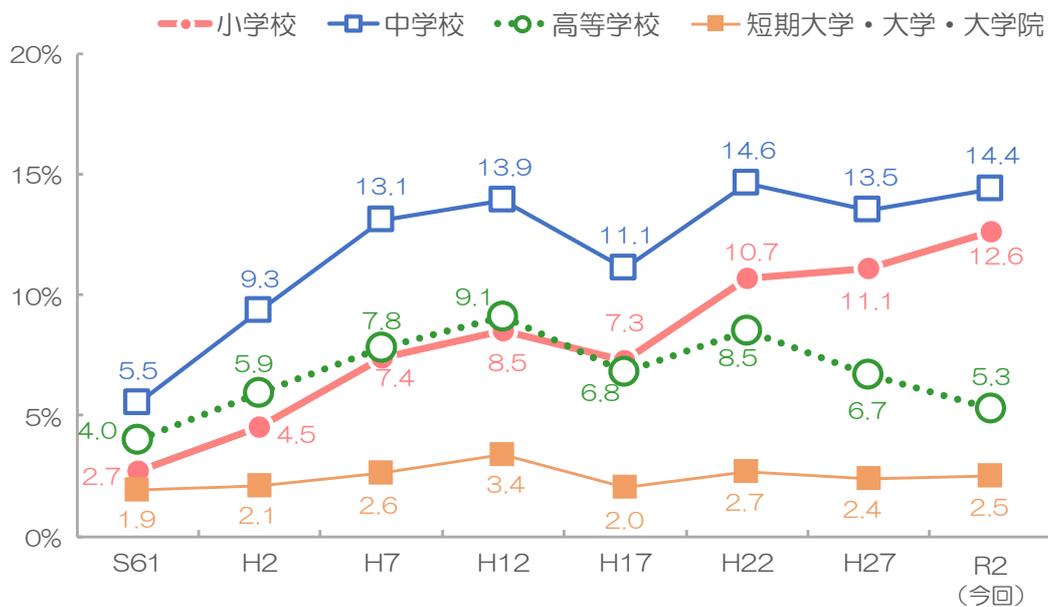


『学校で受けた』と答えた人の割合は、25.2%、「学校では受けたことがない」と答えた人の割合は、36.4%となっている。また、受けたことがある学校は、「中学校」が14.4%と最も高くなっている。

 同和問題（部落差別）についての授業を受けたことがある学校は、「中学校」と答えた人の割合が最も高い

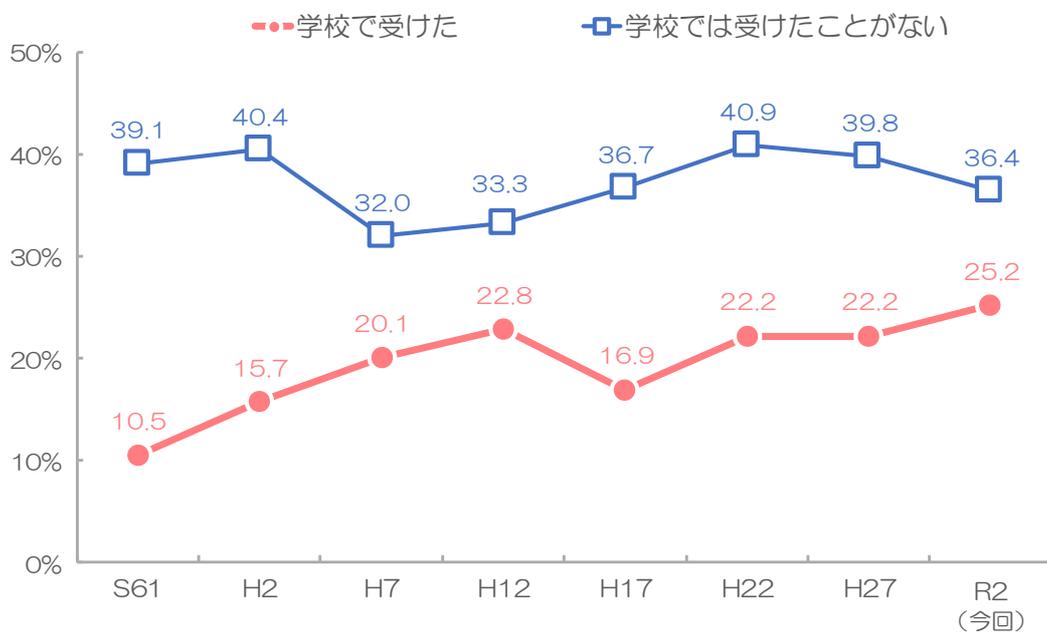
※注：『学校で受けた』と答えた人の割合は、全体（100%）から「学校では受けたことがない」、「覚えていない」、「無回答」を引いたもの。（「小学校」「中学校」「高等学校（旧制中学校なども含む）」「大学・大学院・専門学校」のいずれかで授業を受けた人の割合）

【時系列比較】



☀️ 「小学校」と答えた人の割合は増えている

『学校で受けた』と『学校では受けたことがない』の時系列比較

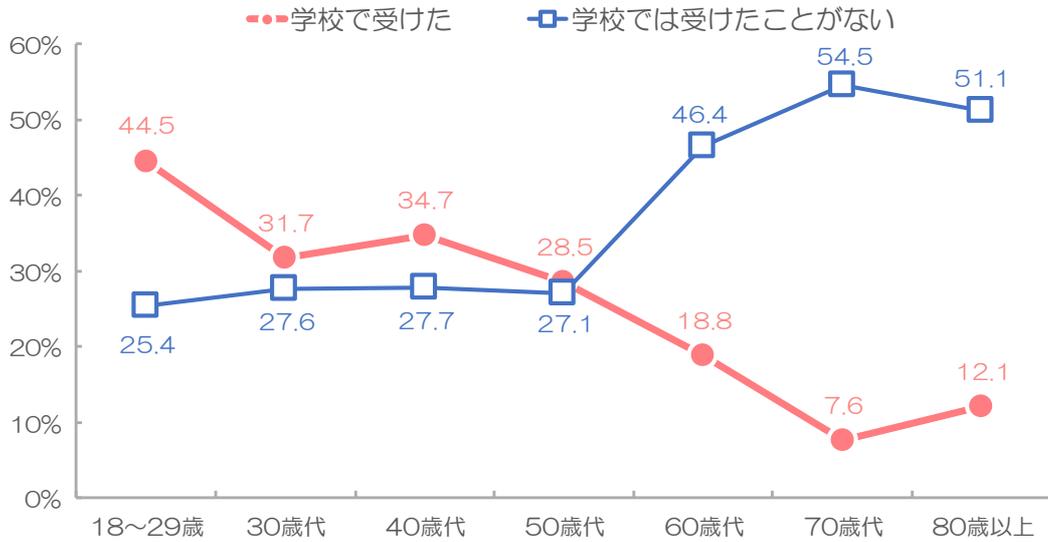


※注：H2～H17は「同和問題を知らない」という項目も調査したため、『学校で受けた』と答えた人の割合は、全体（100%）から「学校では受けたことがない」、「覚えていない」、「無回答」、「同和問題を知らない」を引いたものとなっている。

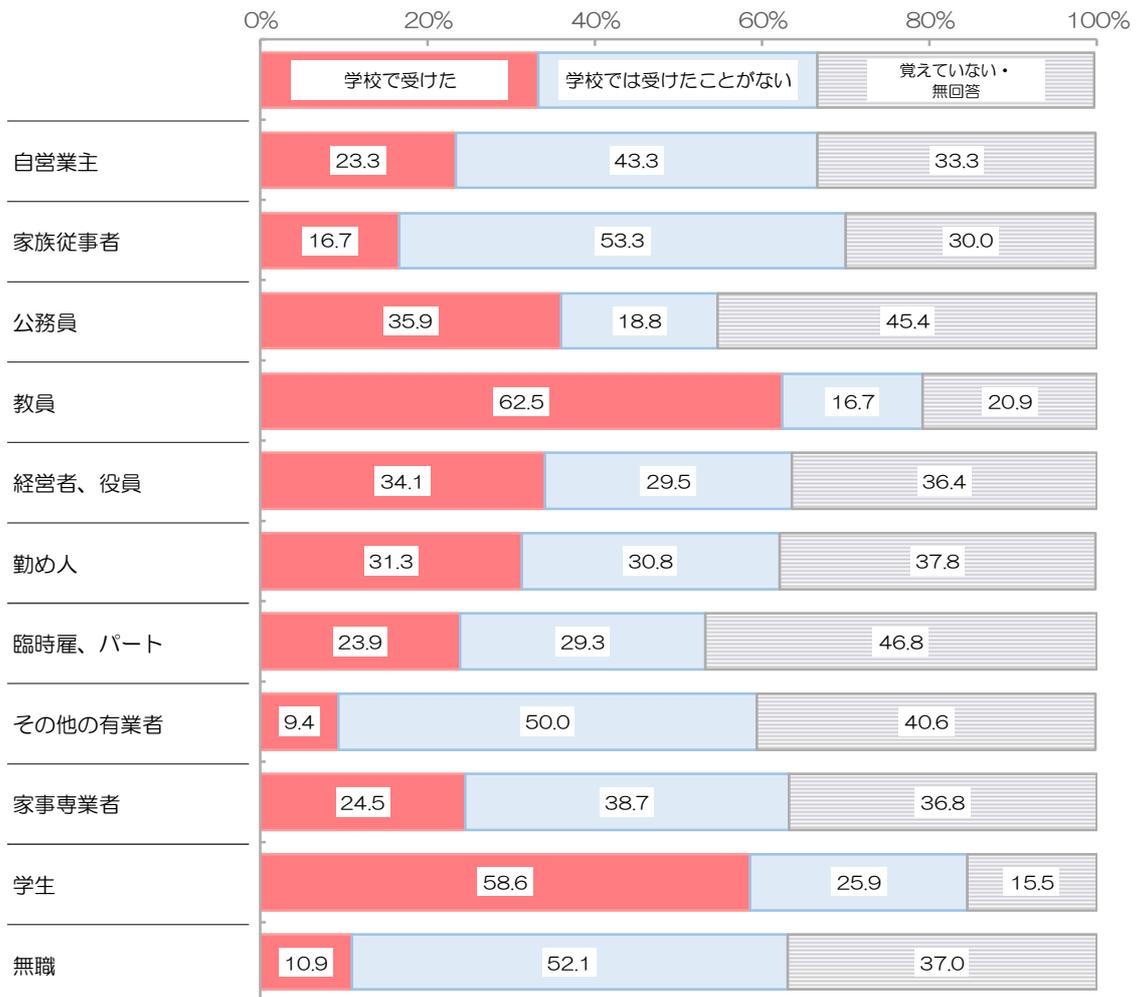
☀️ 『学校で受けた』と答えた人の割合は増えている

【属性別集計】

●年代別比較

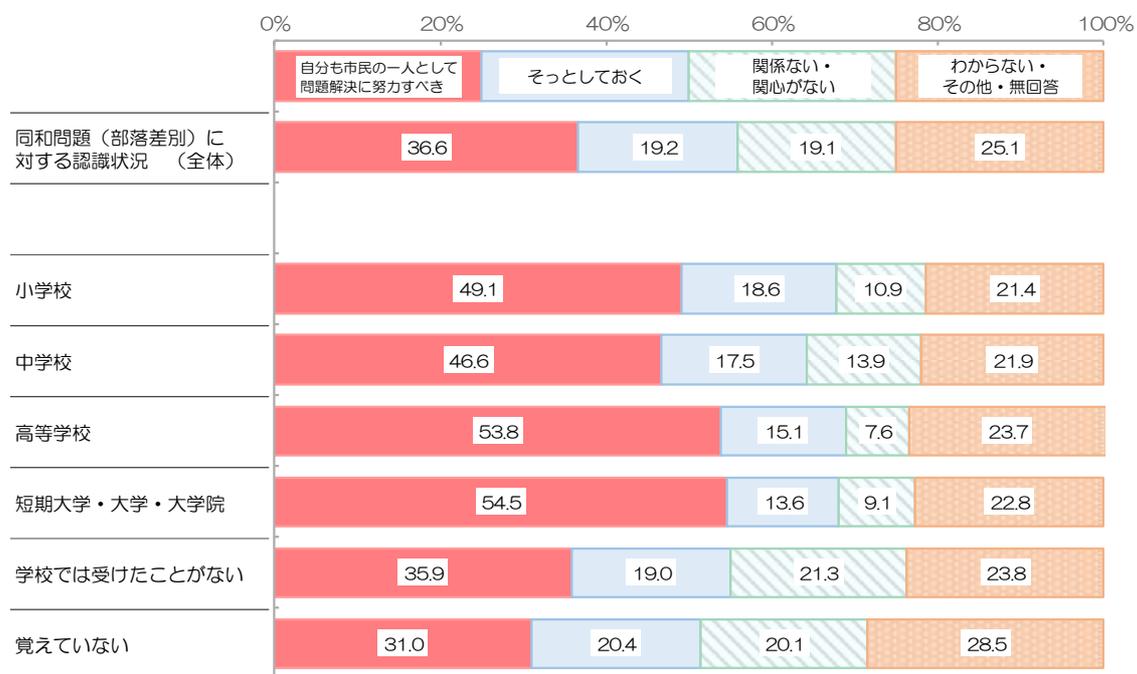


●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問 14「同和問題（部落差別）の学習」と質問 6「同和問題（部落差別）に対する認識状況」との関連分析



❁ いずれの学校も「授業を受けたことがある」と答えた人は、「学校で受けたことがない」、「覚えていない」と答えた人より「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた割合が高い

15 人権教育に期待するもの

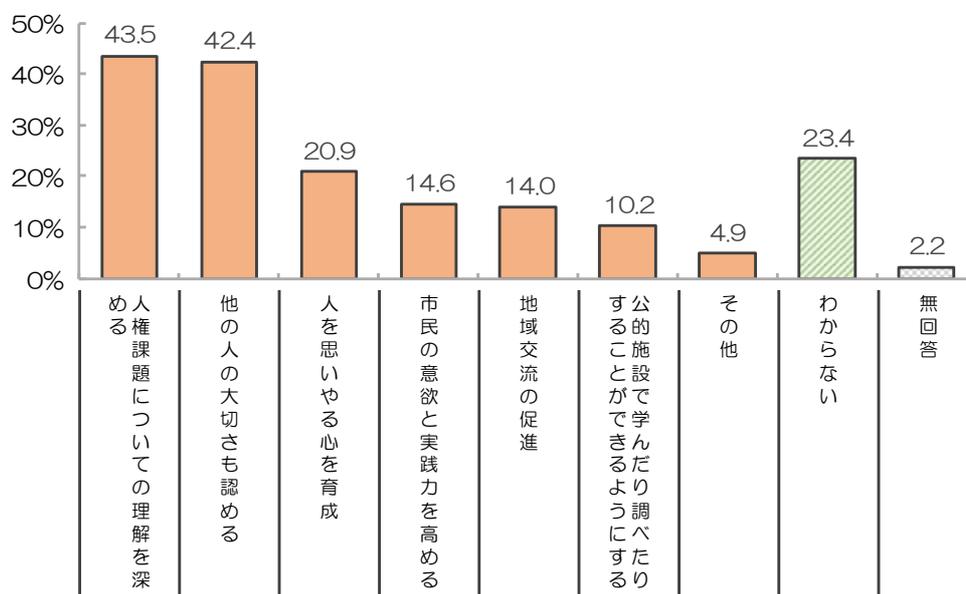
【質問15】

あなたは、同和問題（部落差別）などの人権課題について、学校や社会で行っている人権教育や人権啓発に何を期待しますか。（MA）

（あてはまるものすべてに○）

- 1 あらゆる偏見や差別をなくすため、同和問題（部落差別）などの人権課題についての理解を深めるようにする
- 2 同和問題（部落差別）などの人権課題解決への市民の意欲と実践力を高めるようにする
- 3 ボランティア活動や高齢者との交流などを通じて人を思いやる心を育成するようにする
- 4 自分の大切さに気づくことができるとともに、他の人の大切さも認めることができるようにする
- 5 地域の実情に応じた様々な学習機会を提供し、地域交流の促進をはかるようにする
- 6 同和問題（部落差別）などの人権課題をなごや人権啓発センターなどの公的施設で学んだり調べたりすることができるための資料や講座を充実させる
- 7 その他
- 8 わからない

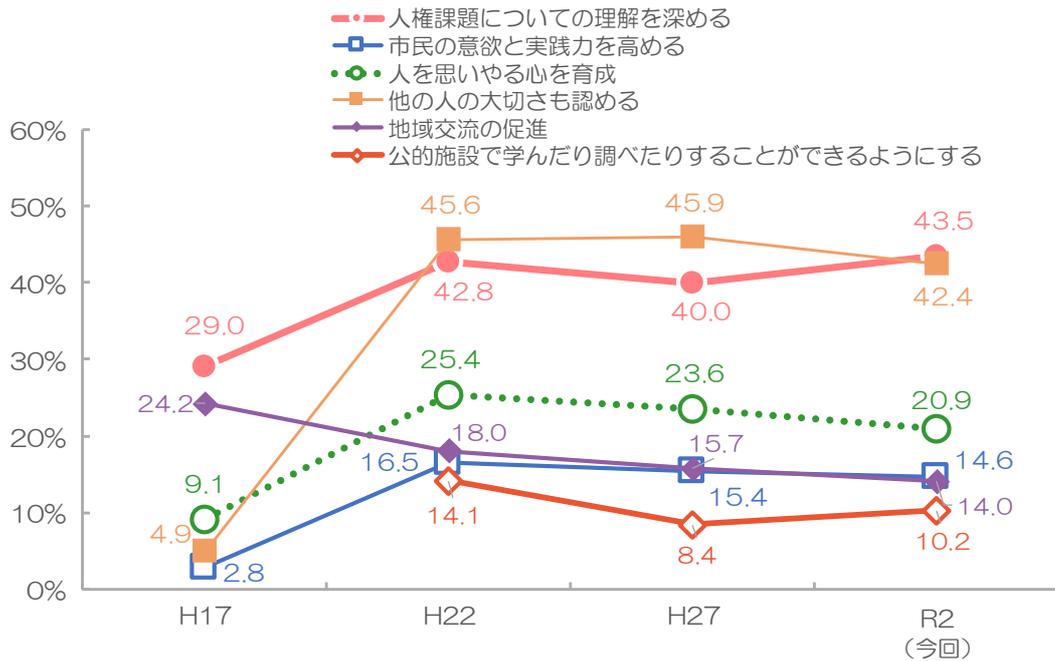
【単純集計】



「人権課題についての理解を深める」が43.5%と最も高く、次いで「他の人の大切さも認める」が42.4%となっている。

 人権教育に期待するものとして、「人権課題についての理解を深める」と「他の人の大切さも認める」と答えた人の割合が高い

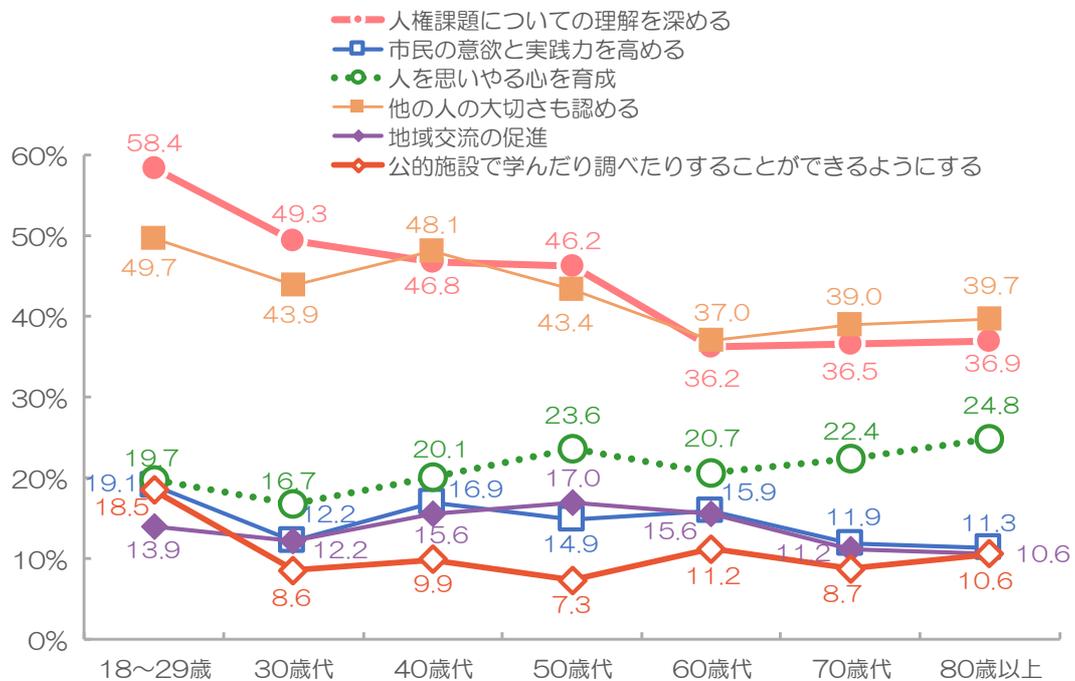
【時系列比較】



※注：「公的施設で学んだり調べたりすることができるようにする」という項目はH22から調査した。

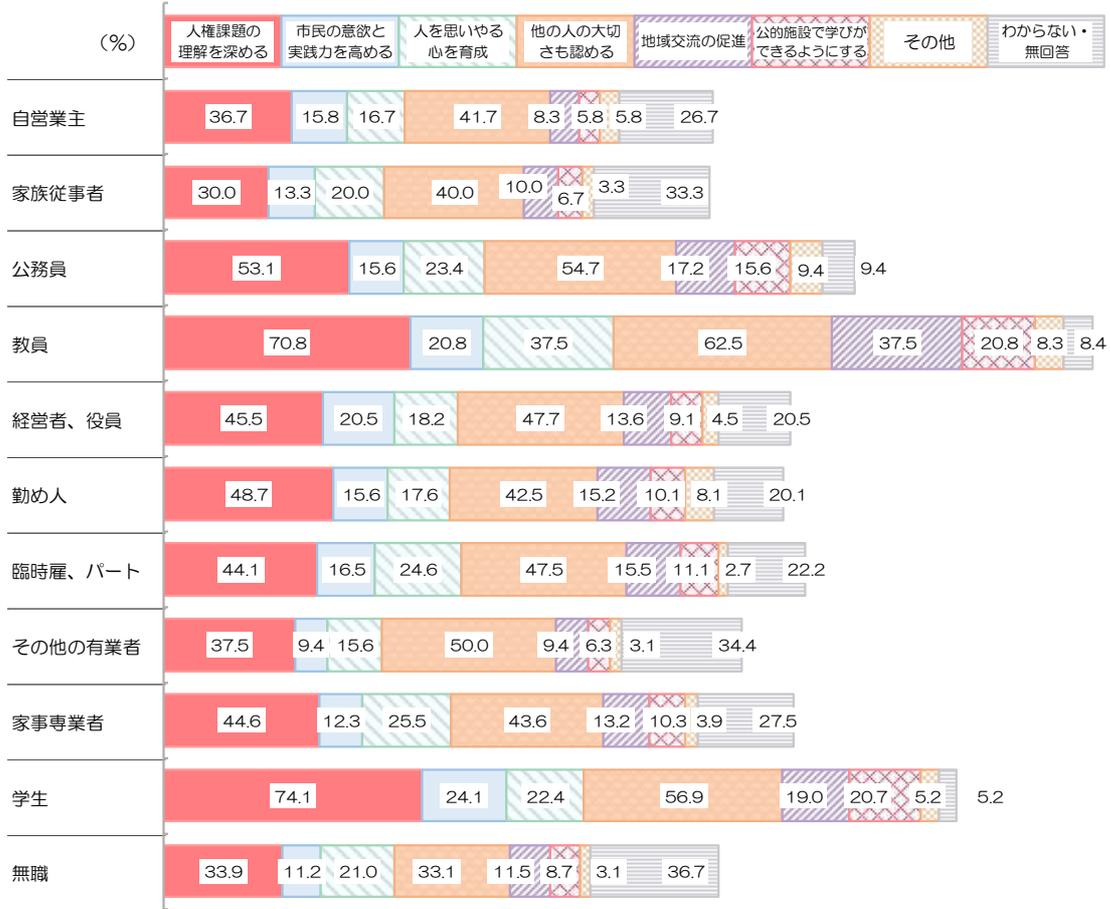
【属性別集計】

●年代別比較



☀️ いずれの年代も、「人権課題についての理解を深める」と「他の人の大切さも認める」と答えた人の割合が高い

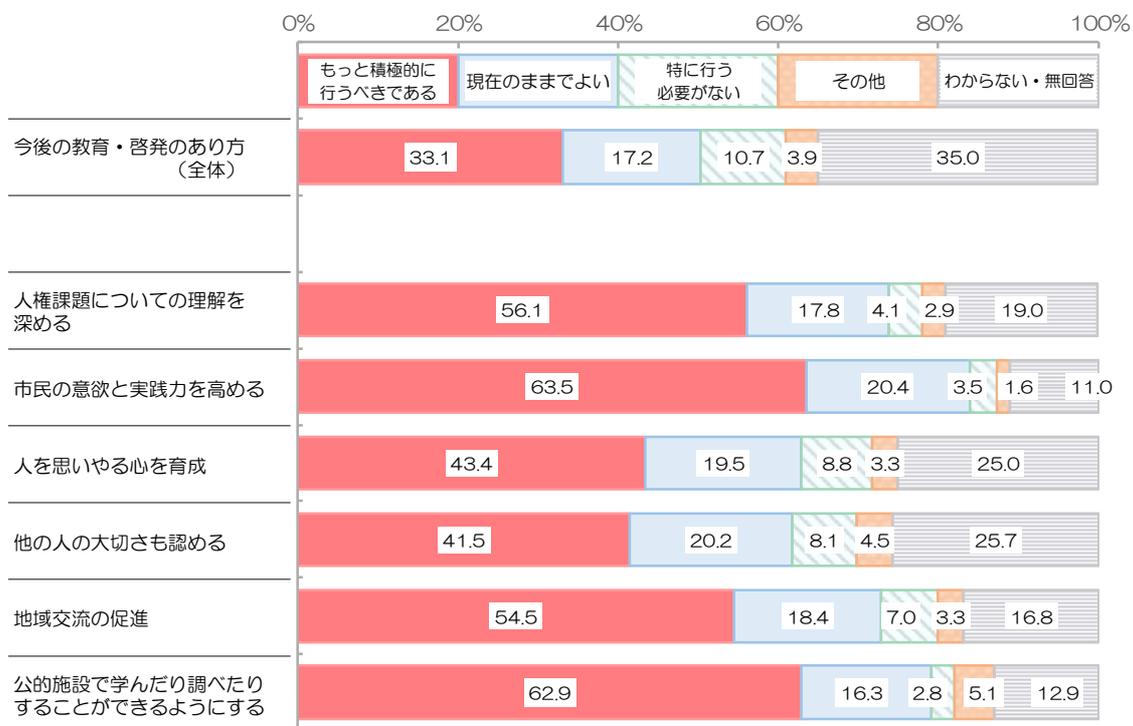
●職業別比較



※注：問 15 はマルチ（複数回答）のため、職業別ごとの回答の合計は 100%を超える。

【設問間クロス集計】

質問 15「人権教育に期待するもの」と質問 16「今後の教育・啓発のあり方」との関連分析



☀ 人権教育について「市民の意欲と実践力を高める」、「公的施設で学んだり調べたりすることができるようにする」と答えた人は、他の選択肢を選んだ人より「もっと積極的に行うべきである」と答えた割合が高い

1.6 今後の教育・啓発のあり方

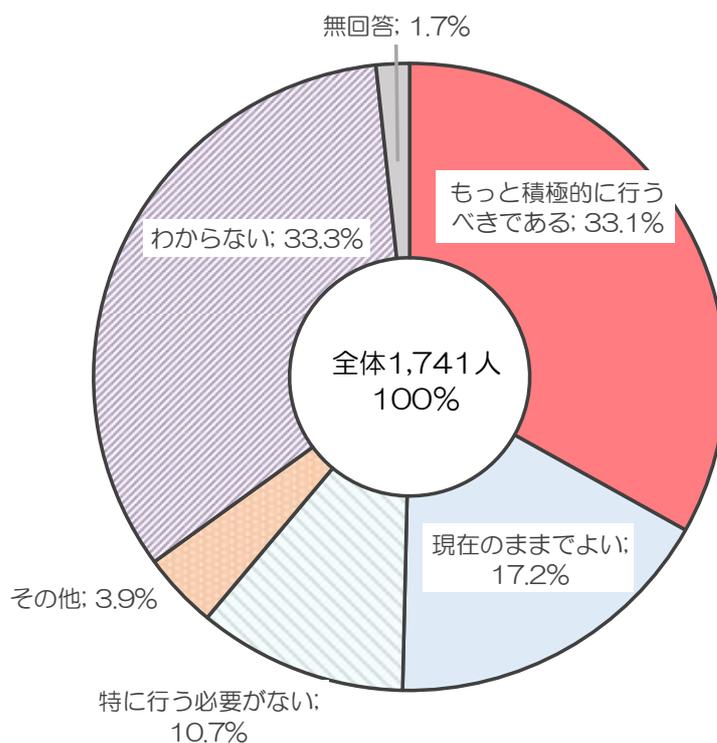
【質問16】

あなたは、同和問題（部落差別）についての啓発・教育を今後どうすべきだと思いますか。
(SA)

(あてはまる番号1つに○)

- 1 もっと積極的に行うべきである
- 2 現在のままでよい
- 3 特に行う必要がない
- 4 その他
- 5 わからない

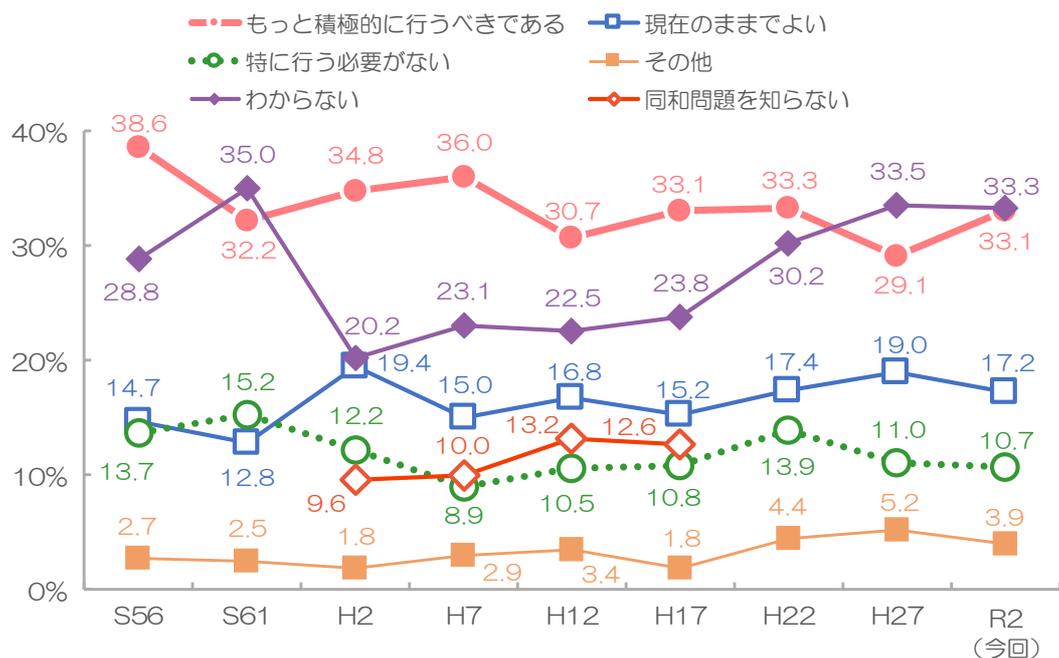
【単純集計】



今後の教育・啓発のあり方について、「もっと積極的に行うべきである」と答えた人の割合は33.1%となっており、「現在のままでよい」(17.2%)、「特に行う必要がない」(10.7%)と答えた人の割合をそれぞれ上回っている。

☀️ 「もっと積極的に行うべきである」と答えた人の割合は、「わからない」と答えた人を除き最も高い

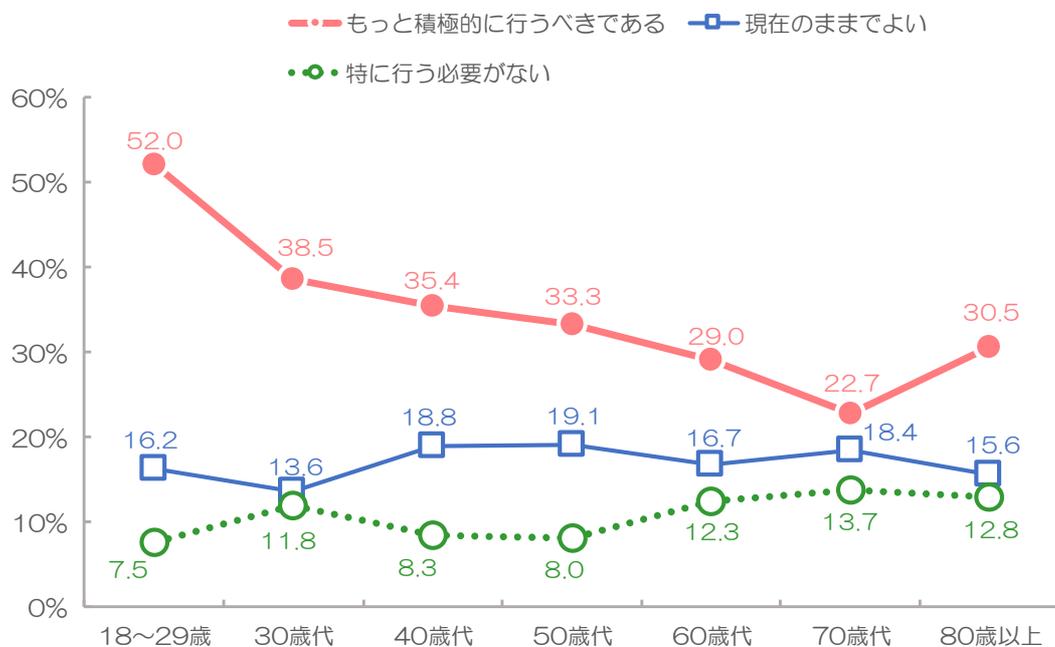
【時系列比較】



※注：H2～H17は「同和問題を知らない」という項目も調査した。

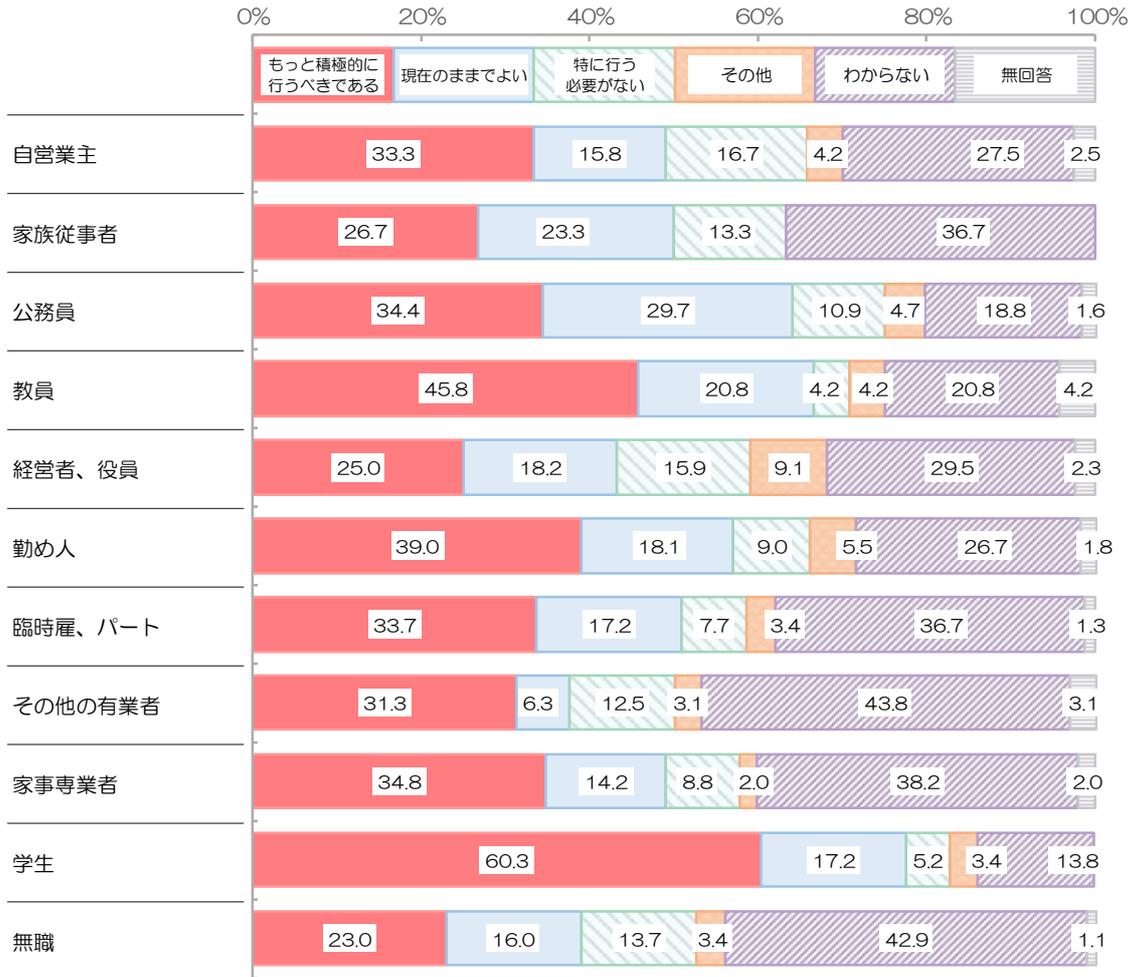
【属性別集計】

●年代別比較



🔴 18～29歳は、「もっと積極的に行うべきである」と答えた人の割合が、他の年代に比べて最も高い

●職業別比較



17 同和問題（部落差別）の解決策

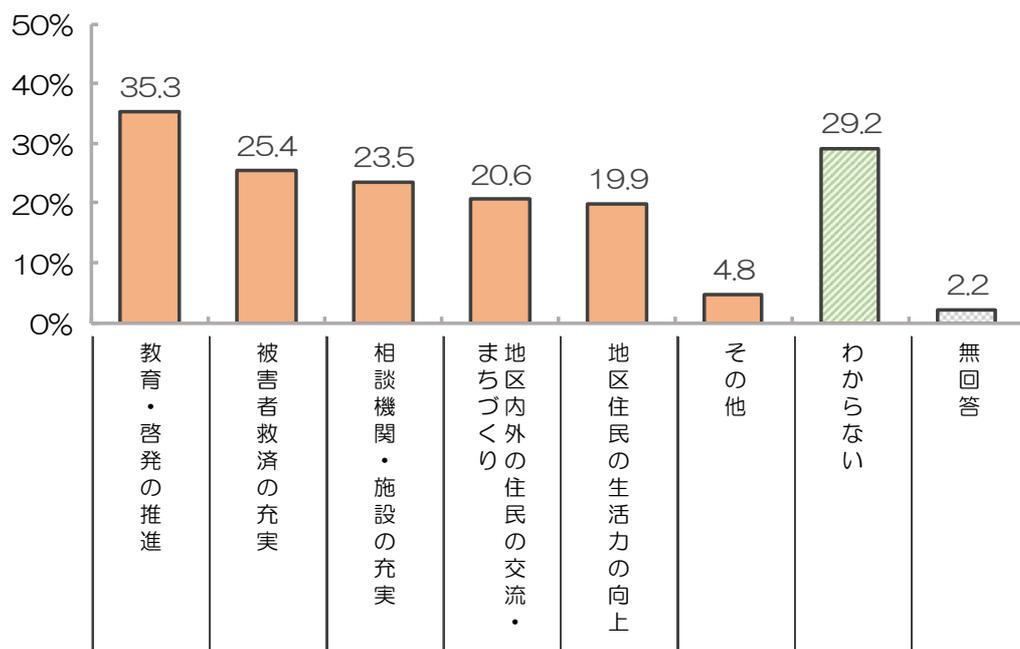
【質問17】

あなたは、同和問題（部落差別）の解決のためどのようなことを行ったらよいと思いますか。（MA）

（あてはまるものすべてに○）

- 1 同和問題（部落差別）に関する教育や啓発活動を推進する
- 2 同和問題（部落差別）に関する相談のための機関・施設を充実する
- 3 同和問題（部落差別）に関して人権が侵害された被害者の救済を充実する
- 4 同和地区の人の収入の安定・向上をはかり生活力を高める
- 5 同和地区内外の人たちが交流を活発にし、まちづくりをすすめる
- 6 その他
- 7 わからない

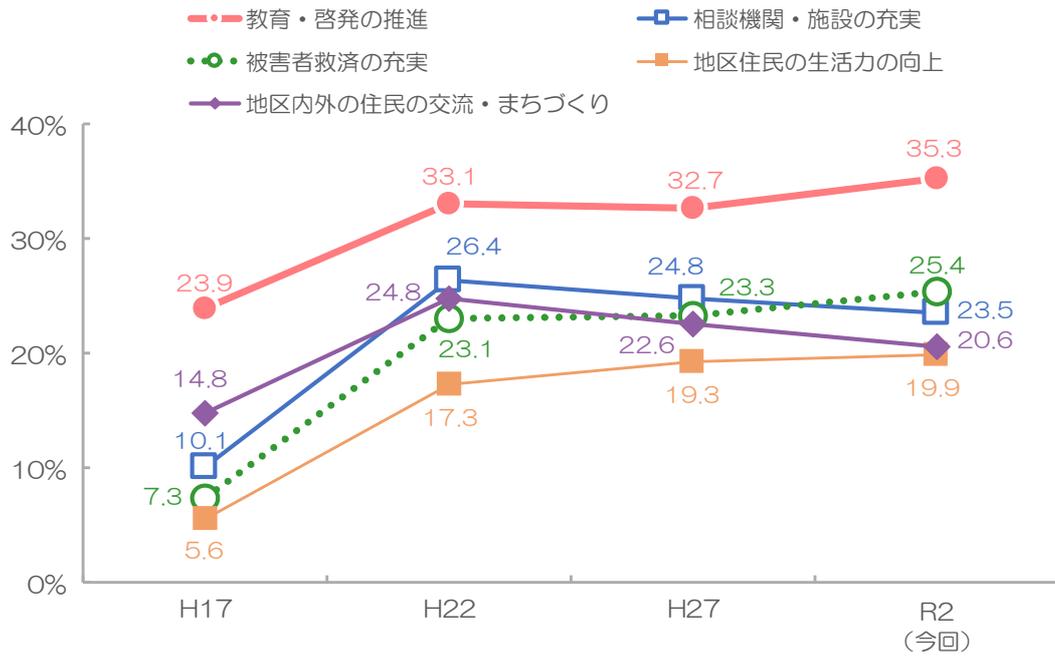
【単純集計】



「教育・啓発の推進」と答えた人の割合は、35.3%と最も高く、「被害者救済の充実」は25.4%、「相談機関・施設の充実」は23.5%となっている。

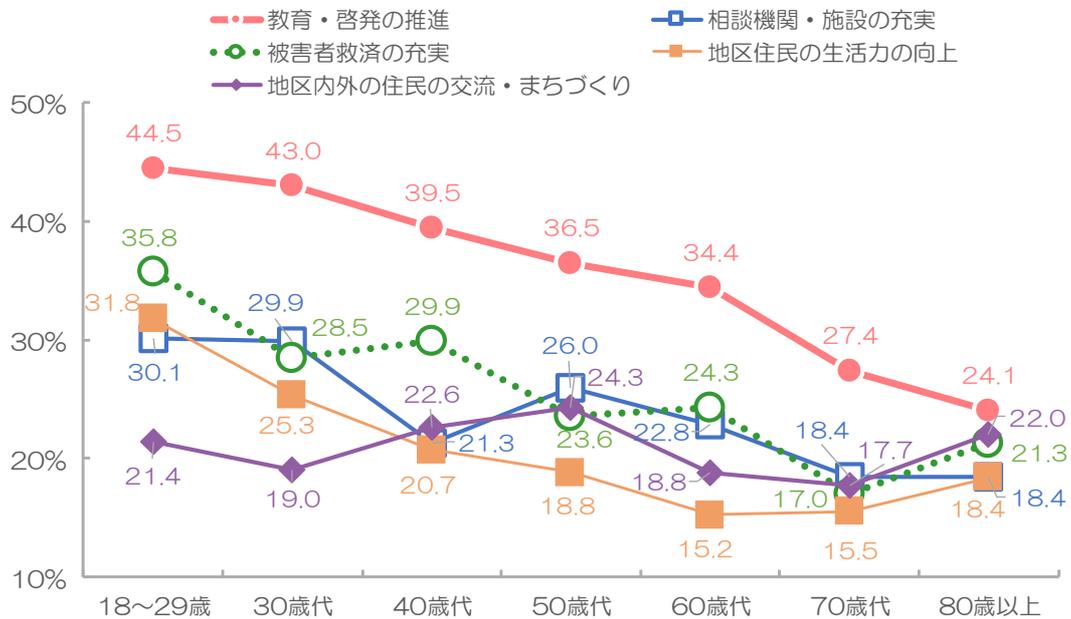
 同和問題（部落差別）の解決策として、「教育・啓発の推進」と答えた人の割合が最も高い

【時系列比較】



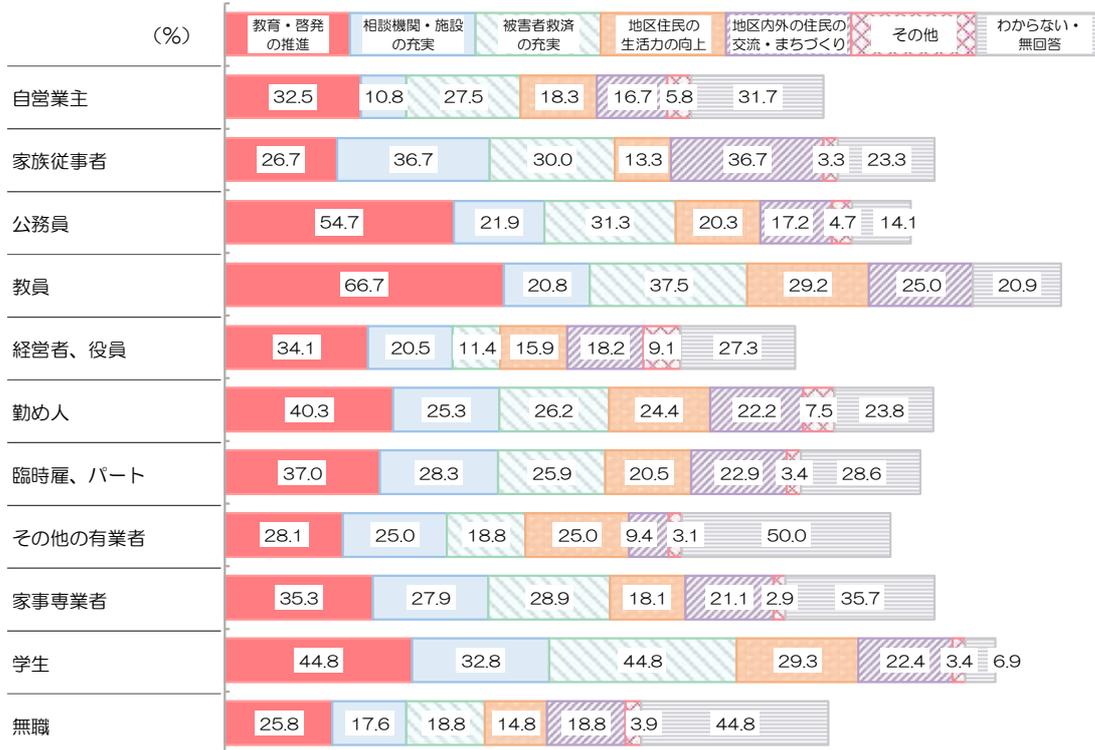
【属性別集計】

●年代別比較



 いずれの年代も、「教育・啓発の推進」と答えた人の割合が最も高い

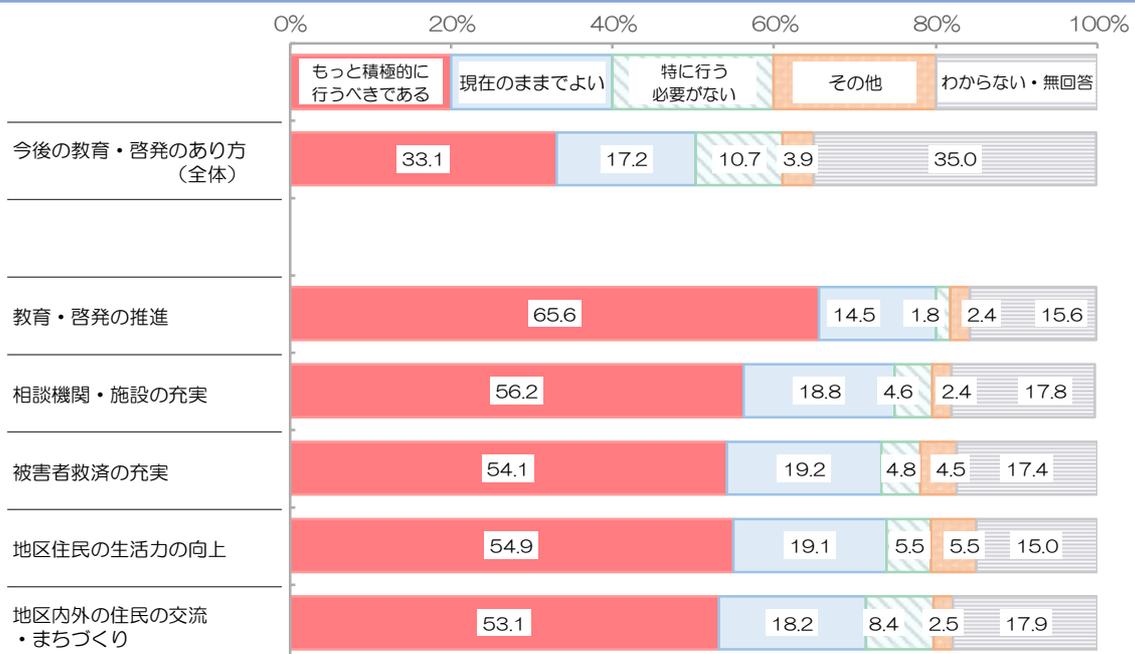
●職業別比較



※注：問 17 はマルチ（複数回答）のため、職業別ごとの回答の合計は 100%を超える。

【設問間クロス集計】

質問 17「同和問題（部落差別）の解決策」と質問 16「今後の教育・啓発のあり方」との関連分析



同和問題（部落差別）の解決策として、「教育・啓発の推進」と答えた人は、他の解決策を答えた人より「もっと積極的に 行うべきである」と答えた割合が高い

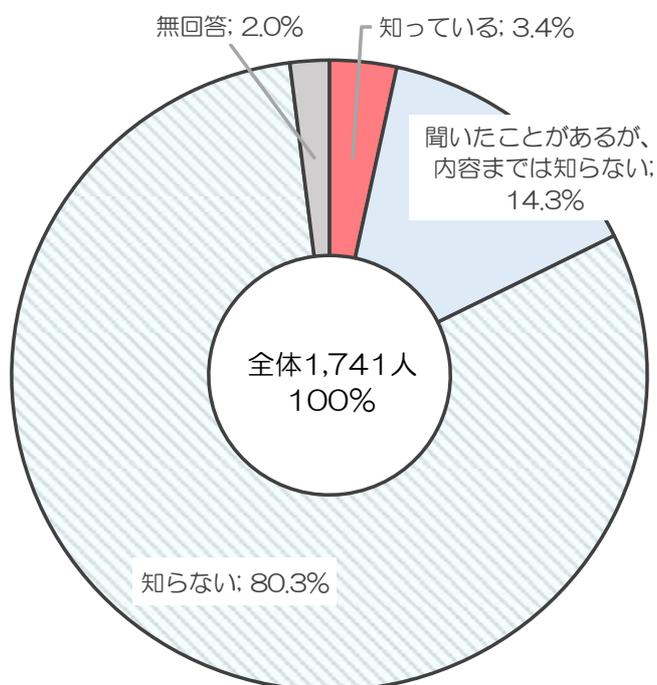
18 「部落差別の解消の推進に関する法律」の認知状況

【質問18】

あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律」を知っていますか。(SA)
(あてはまる番号1つに○)

- 1 知っている
- 2 法律の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない
- 3 知らない

【単純集計】

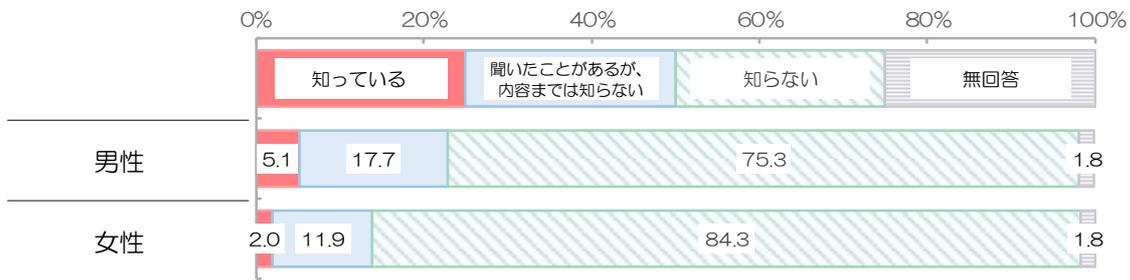


「知っている」と答えた人の割合は3.4%、「聞いたことがあるが、内容までは知らない」14.3%、「知らない」80.3%となっている。

☀️ 「部落差別の解消の推進に関する法律」を「知っている」と答えた人の割合は、3.4%

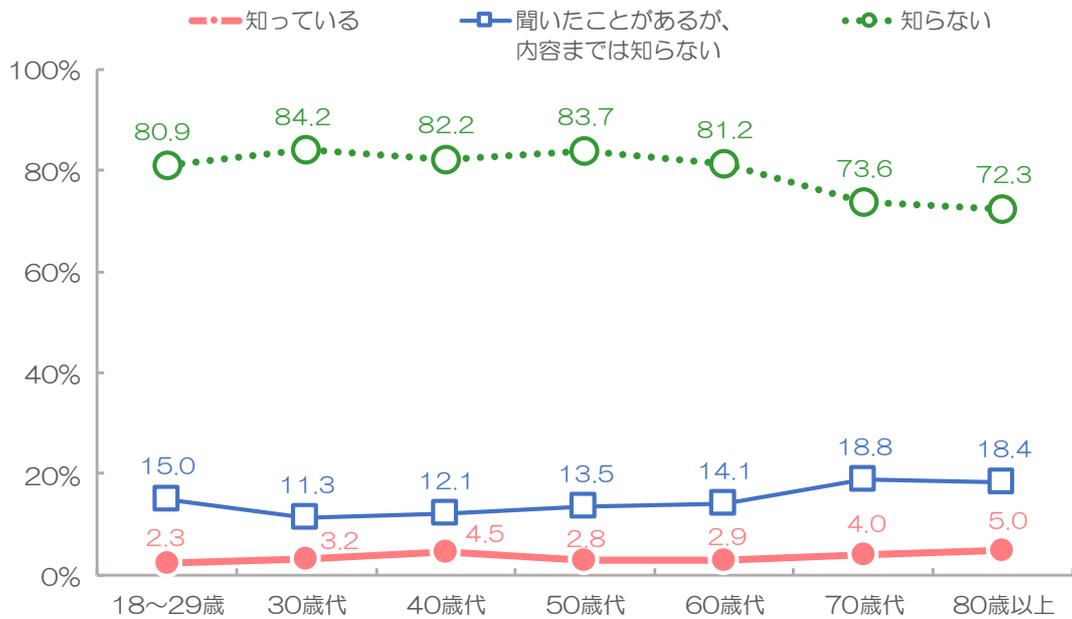
【属性別集計】

●性別比較



☀️ 「部落差別の解消の推進に関する法律」を「知っている」と答えた人の割合は、男性の方が高い

●年代別比較

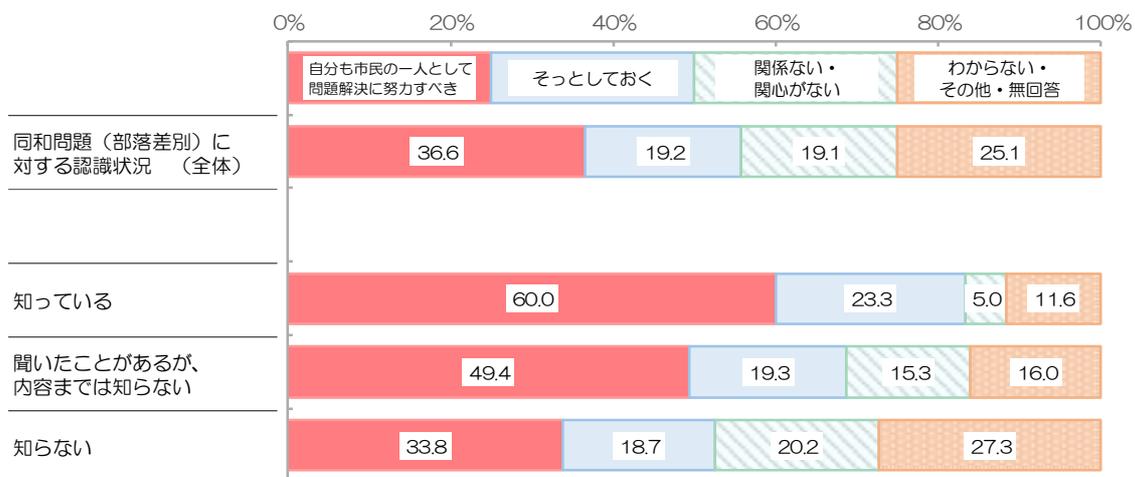


●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問 18 「「部落差別の解消の推進に関する法律」の認知状況」と質問 6 「同和問題（部落差別）に対する認識状況」との関連分析



☀️ 「部落差別の解消の推進に関する法律」を「知っている」と答えた人は、「知らない」と答えた人より「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた割合が高い

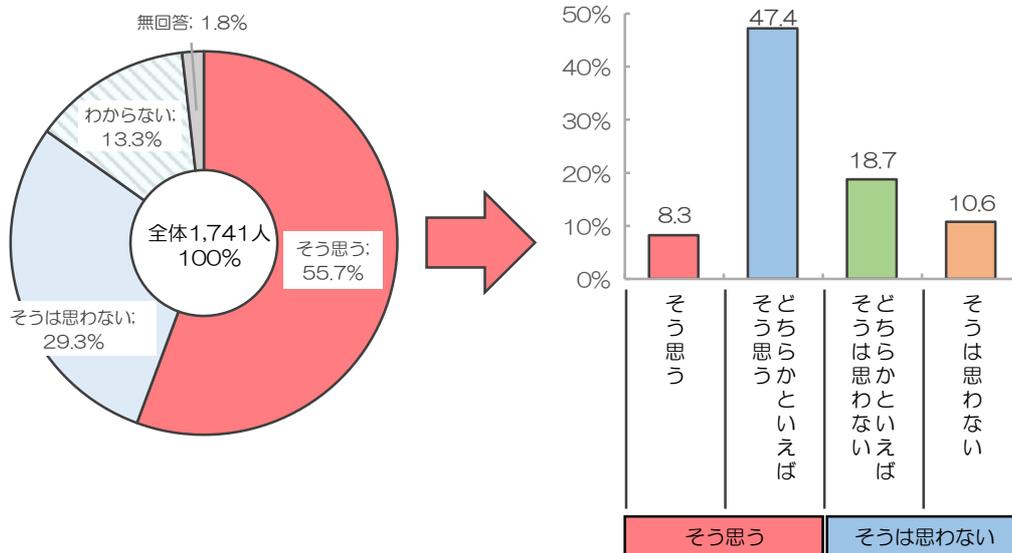
19 「基本的人権」に対する意識

【質問19】

あなたは、今の日本が基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。(SA)
(あてはまる番号1つに○)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそうは思わない
- 4 そうは思わない
- 5 わからない

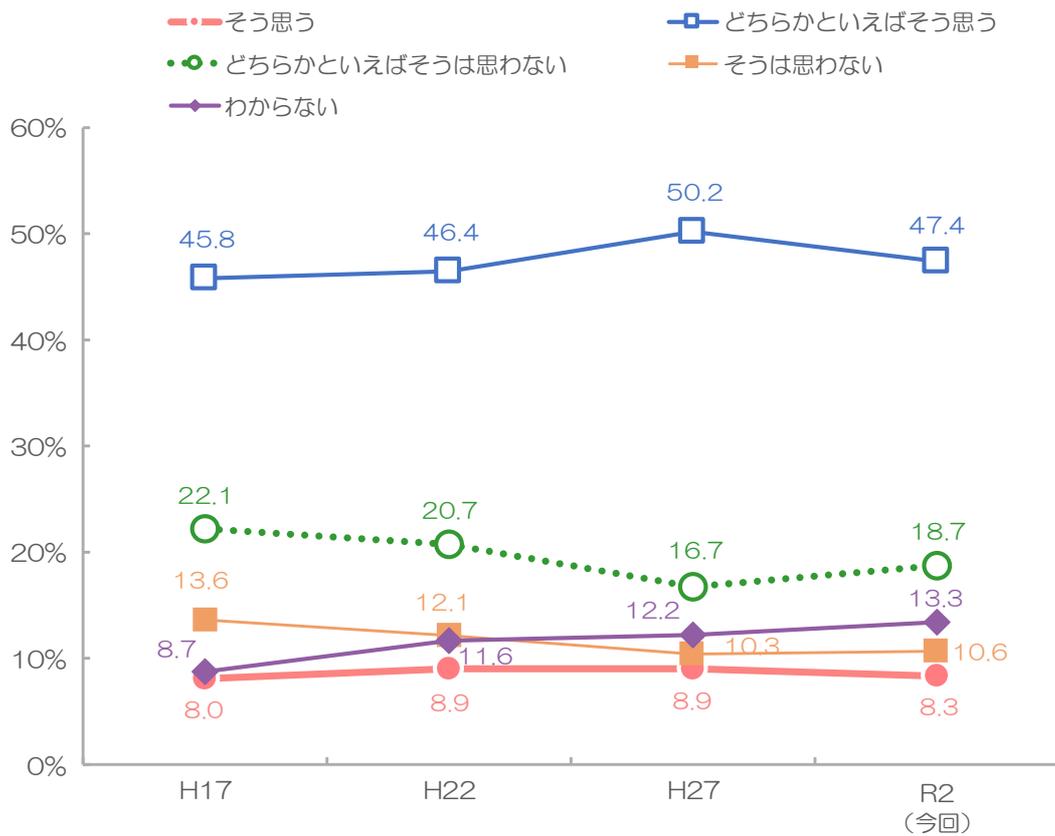
【単純集計】



「そう思う」(8.3%)、「どちらかといえばそう思う」(47.4%)と答えた人の割合を合わせた『そう思う』は、55.7%となっている。

🌟 今の日本が「基本的人権が尊重されている社会だと思う」と答えた人の割合が最も高い

【時系列比較】

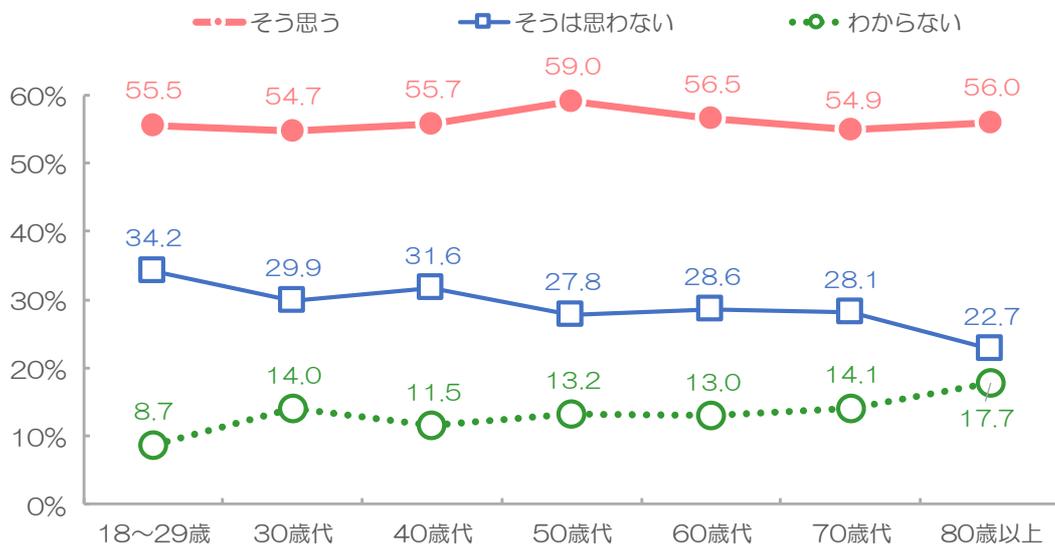


「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人を合わせた『そう思う』の割合は、前回より 3.4%減っており、「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」と答えた人を合わせた『そうは思わない』の割合は、前回より 2.3%増えている。

【属性別集計】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を『そう思う』、「どちらかといえばそうは思わない」「そうは思わない」を『そうは思わない』に分け、年代別、職業別比較

●年代別比較



いずれの年代も、『そう思う』と答えた人の割合が最も高い

●職業別比較



いずれの職業も、『そう思う』と答えた人の割合が最も高い

Ⅲ 単純集計表/性別クロス集計表

(上段：件数/下段：構成比)

問1－Ⅰ 同じように仕事ができるのに、性別だけで昇進に差をつける

全 体		差 別 だ と 思 う	差 別 で な い と 思 う	い ち が い に い え な い	わ か ら な い	無 回 答
1741		1214	53	433	30	11
100.0		69.7	3.0	24.9	1.7	0.6
男性	761	497	37	212	11	4
	100.0	65.3	4.9	27.9	1.4	0.5
女性	884	659	13	194	14	4
	100.0	74.5	1.5	21.9	1.6	0.5
その他・ 無回答	96	58	3	27	5	3
	100.0	60.4	3.1	28.1	5.2	3.1

問1－Ⅱ 家柄が違うということで、結婚に反対する

全 体		差 別 だ と 思 う	差 別 で な い と 思 う	い ち が い に い え な い	わ か ら な い	無 回 答
1741		861	126	682	63	9
100.0		49.5	7.2	39.2	3.6	0.5
男性	761	381	78	278	20	4
	100.0	50.1	10.2	36.5	2.6	0.5
女性	884	435	43	365	38	3
	100.0	49.2	4.9	41.3	4.3	0.3
その他・ 無回答	96	45	5	39	5	2
	100.0	46.9	5.2	40.6	5.2	2.1

問1－Ⅲ 人を雇うときに身元調査（聞き合わせ）をする

全 体		差 別 だ と 思 う	差 別 で な い と 思 う	い ち が い に い え な い	わ か ら な い	無 回 答
1741		408	518	747	56	12
100.0		23.4	29.8	42.9	3.2	0.7
男性	761	159	283	302	12	5
	100.0	20.9	37.2	39.7	1.6	0.7
女性	884	232	208	406	34	4
	100.0	26.2	23.5	45.9	3.8	0.5
その他・ 無回答	96	17	27	39	10	3
	100.0	17.7	28.1	40.6	10.4	3.1

問1－Ⅳ 結婚のときに相手の身元調査（聞き合わせ）をする

全 体		差 別 だ と 思 う	差 別 で な い と 思 う	い ち が い に い え な い	わ か ら な い	無 回 答
1741		312	567	792	56	14
100.0		17.9	32.6	45.5	3.2	0.8
男性	761	136	288	312	20	5
	100.0	17.9	37.8	41.0	2.6	0.7
女性	884	165	243	441	28	7
	100.0	18.7	27.5	49.9	3.2	0.8
その他・ 無回答	96	11	36	39	8	2
	100.0	11.5	37.5	40.6	8.3	2.1

問2 同和問題（部落差別）を知っていますか

全体		よく知っている	少しは知っている	聞いたことがある	まったく知らない	無回答
		1741	158	691	635	236
	100.0	9.1	39.7	36.5	13.6	1.2
男性	761	100	317	241	96	7
	100.0	13.1	41.7	31.7	12.6	0.9
女性	884	50	347	360	117	10
	100.0	5.7	39.3	40.7	13.2	1.1
その他・無回答	96	8	27	34	23	4
	100.0	8.3	28.1	35.4	24.0	4.2

問3 同和問題（部落差別）を初めて知ったきっかけを教えてください

全体		い兄弟姉妹（祖父母、父母、聞	親戚の人から聞いた	近所の人から聞いた	友人から聞いた	職場の人から聞いた	学校の授業で教わった	知った	テレビ・映画・本などで	インターネットで知った	講演会や研修会で知った	「同和問題と人権」など	広報なごや・啓発冊子	その他	覚えていない	初めてのアンケート調査で	無回答
		1741	341	17	38	107	86	329	281	42	49	25	26	160	227	13	
	100.0	19.6	1.0	2.2	6.1	4.9	18.9	16.1	2.4	2.8	1.4	1.5	9.2	13.0	0.7		
男性	761	124	5	13	47	55	136	131	26	28	15	19	66	91	5		
	100.0	16.3	0.7	1.7	6.2	7.2	17.9	17.2	3.4	3.7	2.0	2.5	8.7	12.0	0.7		
女性	884	200	11	20	53	28	183	132	14	19	9	7	84	119	5		
	100.0	22.6	1.2	2.3	6.0	3.2	20.7	14.9	1.6	2.1	1.0	0.8	9.5	13.5	0.6		
その他・無回答	96	17	1	5	7	3	10	18	2	2	1	0	10	17	3		
	100.0	17.7	1.0	5.2	7.3	3.1	10.4	18.8	2.1	2.1	1.0	0.0	10.4	17.7	3.1		

問4 同和問題（部落差別）について初めて知ったのは、いつ頃のことですか

全体		6歳未満（小学校に入る前）	6歳～12歳未満（小学生の頃）	12歳～15歳未満（中学生の頃）	15歳～19歳未満	19歳以降	覚えていない	初めてのアンケート調査で	無回答
		1741	15	376	301	192	374	236	234
	100.0	0.9	21.6	17.3	11.0	21.5	13.6	13.4	0.7
男性	761	5	160	140	91	177	91	92	5
	100.0	0.7	21.0	18.4	12.0	23.3	12.0	12.1	0.7
女性	884	10	198	148	86	179	133	125	5
	100.0	1.1	22.4	16.7	9.7	20.2	15.0	14.1	0.6
その他・無回答	96	0	18	13	15	18	12	17	3
	100.0	0.0	18.8	13.5	15.6	18.8	12.5	17.7	3.1

問5 同和問題（部落差別）を初めて知ったり聞いたとき、どう思いましたか

全体		差別があることを許せない	かなげに差別に存在するの	どうかわからないことなの	同和地区の人をかわい	思わなかった	自分とは関係ない	何となく自分たちと違	自分とは関係ないこと	その他	覚えていない	わからない	無回答
		1741	103	707	348	124	73	97	81	42	75	80	11
	100.0	5.9	40.6	20.0	7.1	4.2	5.6	4.7	2.4	4.3	4.6	0.6	
男性	761	43	302	146	50	38	49	38	26	33	32	4	
	100.0	5.7	39.7	19.2	6.6	5.0	6.4	5.0	3.4	4.3	4.2	0.5	
女性	884	53	375	182	66	33	45	36	14	38	37	5	
	100.0	6.0	42.4	20.6	7.5	3.7	5.1	4.1	1.6	4.3	4.2	0.6	
その他・無回答	96	7	30	20	8	2	3	7	2	4	11	2	
	100.0	7.3	31.3	20.8	8.3	2.1	3.1	7.3	2.1	4.2	11.5	2.1	

問6 同和問題（部落差別）について、現在どうお考えですか

全 体	力て自	関で同	うしあ	特	そ	わ	無
	すこの	係ある	つてあ	に	の	か	回
	べきも	ないか	てまり	関	他	ら	答
	だ題市	いから	おの騒	心		な	
	と思の	と思、	のがが	が			
	う解民	う、人	がすよ	不			
	に決の	う自々	によい	い			
	と努人	う分問	そと	そ			
	しと	は題	と	と			
1741	638	40	334	293	99	322	15
100.0	36.6	2.3	19.2	16.8	5.7	18.5	0.9
男性	761	269	18	161	162	42	103
	100.0	35.3	2.4	21.2	21.3	5.5	13.5
女性	884	342	18	151	119	54	194
	100.0	38.7	2.0	17.1	13.5	6.1	21.9
その他・ 無回答	96	27	4	22	12	3	25
	100.0	28.1	4.2	22.9	12.5	3.1	26.0

問7 職場や近所の人、地区出身とわかったとき、どうされますか

全 体	親こ	い	う	そ	わ	無
	れし	は	つ	の	か	回
	くま	は	き	他	ら	答
	つで	あ	あ		な	
	と	で	い			
	あ	け	だ			
	う	き	つ			
	じ	く	き			
	よ	け	つ			
	う	き	あ			
	に	あ	あ			
1741	1418	86	9	15	202	11
100.0	81.4	4.9	0.5	0.9	11.6	0.6
男性	761	632	47	1	8	69
	100.0	83.0	6.2	0.1	1.1	9.1
女性	884	717	34	7	7	114
	100.0	81.1	3.8	0.8	0.8	12.9
その他・ 無回答	96	69	5	1	0	19
	100.0	71.9	5.2	1.0	0.0	19.8

問8 親しい人の結婚相手が地区出身とわかったとき、どうされますか

全 体	本	て	す	そ	わ	無
	人	か	結	の	か	回
	の	ほ	婚	他	ら	答
	意	ら	す		な	
	思	、	る			
	を	へ	こ			
	尊	な	と			
	重	き	こ			
	す	て	に			
		い	は			
		ば	反			
		え	対			
		結	あ			
		婚	る			
		あ	あ			
1741	1281	94	43	37	271	15
100.0	73.6	5.4	2.5	2.1	15.6	0.9
男性	761	574	44	26	15	95
	100.0	75.4	5.8	3.4	2.0	12.5
女性	884	646	47	16	19	151
	100.0	73.1	5.3	1.8	2.1	17.1
その他・ 無回答	96	61	3	1	3	25
	100.0	63.5	3.1	1.0	3.1	26.0

問9 お子さんの結婚相手が地区出身とわかったとき、どうされますか

全 体	子	は	れ	絶	そ	わ	無
	ど	子	家	対	の	か	回
	と	親	族	に	他	ら	答
	の	と	、	結		な	
	意	し	や	婚			
	思	か	結	類			
	を	も	婚	を			
	尊	の	を	の			
	重	た	認	認			
	す	な	め	め			
		い	な	な			
		が	が	が			
		強	い	い			
		る	あ	あ			
		け	い	い			
		が	あ	あ			
		れ	い	い			
1741	1039	275	42	32	61	278	14
100.0	59.7	15.8	2.4	1.8	3.5	16.0	0.8
男性	761	482	114	16	19	27	99
	100.0	63.3	15.0	2.1	2.5	3.5	13.0
女性	884	505	148	25	12	30	156
	100.0	57.1	16.7	2.8	1.4	3.4	17.6
その他・ 無回答	96	52	13	1	1	4	23
	100.0	54.2	13.5	1.0	1.0	4.2	24.0

問10 地区出身者と結婚する時、親類から反対を受けたらどうしますか

全 体	婚 自 分 の 意 思 を 貫 い て 結 婚 す る	貴 後 に 結 婚 す る 意 思 を 傾 け て 得 ない	親 類 の 説 得 に 全 力 を 傾 け る	婚 親 類 の 説 得 な い 反 対 結 果 、 家 族 結 や め る	絶 対 に 結 婚 し な い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	
									1741
		100.0	23.8	39.2	10.7	1.4	1.8	22.2	0.8
男性	761	238	284	69	13	16	136	5	
	100.0	31.3	37.3	9.1	1.7	2.1	17.9	0.7	
女性	884	154	369	105	10	16	223	7	
	100.0	17.4	41.7	11.9	1.1	1.8	25.2	0.8	
その他・ 無回答	96	23	30	13	1	0	27	2	
	100.0	24.0	31.3	13.5	1.0	0.0	28.1	2.1	

問11 インターネット上で差別しているのを見たことがありますか

全 体	誹 同 ・ 和 中 傷 区 出 身 者 を 誹 る 表 現	誹 同 和 中 傷 区 に 住 む 人 々 を 誹 る 表 現	現 在 の 同 和 差 別 な 出 身 者 に 対 す る 情 報	同 和 地 区 に 関 する 情 報	そ の 他	こ 差 と 別 が な い の を 見 た	し ん た こ と が な い の を 見 た	わ か ら な い	無 回 答		
										1741	98
		100.0	5.6	4.3	4.8	7.8	0.4	54.1	17.6	11.9	0.9
男性	761	53	40	50	69	6	415	120	78	5	
	100.0	7.0	5.3	6.6	9.1	0.8	54.5	15.8	10.2	0.7	
女性	884	40	27	31	58	1	496	169	105	6	
	100.0	4.5	3.1	3.5	6.6	0.1	56.1	19.1	11.9	0.7	
その他・ 無回答	96	5	8	3	8	0	31	17	24	5	
	100.0	5.2	8.3	3.1	8.3	0.0	32.3	17.7	25.0	5.2	

問12 現在どのような人権問題が起きていると思いますか

全 体	結 婚 問 題 で 周 圍 が 反 対	扱 就 い 職 を 受 け 取 る 場 所 で 不 利 な	こ 差 と 別 的 な 発 言 を 受 け る	こ 差 と 別 的 な 落 書 き が あ る	が 結 婚 に 際 し て 身 元 調 査	が 就 職 に 際 し て 身 元 調 査	民 同 和 事 務 所 に 関 する 交 流 を 避 け る 住 民	同 和 地 区 の 物 件 を 選 ぶ 際 に 、 同 和	地 区 の 物 件 を 選 ぶ 際 に 、 同 和	住 宅 を 選 ぶ 際 に 、 同 和	載 し た 差 別 情 報 が 利 用	し ん た こ と が な い の を 見 た	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
		100.0	37.8	28.0	31.6	11.0	20.2	16.7	24.0	24.7	14.7	1.6	8.5	30.7	0.8	
男性	761	286	209	227	94	159	129	200	176	117	17	80	204	6		
	100.0	37.6	27.5	29.8	12.4	20.9	17.0	26.3	23.1	15.4	2.2	10.5	26.8	0.8		
女性	884	345	260	304	91	176	147	204	237	130	9	54	296	3		
	100.0	39.0	29.4	34.4	10.3	19.9	16.6	23.1	26.8	14.7	1.0	6.1	33.5	0.3		
その他・ 無回答	96	27	19	20	7	16	14	13	17	9	1	14	35	5		
	100.0	28.1	19.8	20.8	7.3	16.7	14.6	13.5	17.7	9.4	1.0	14.6	36.5	5.2		

問13.1 講演会・講座・研修会への参加

全 体	3 回 以 上	1 回 2 回	な い	無 回 答		
					1741	59
		100.0	3.4	6.0	86.5	4.1
男性	761	34	57	644	26	
	100.0	4.5	7.5	84.6	3.4	
女性	884	23	40	785	36	
	100.0	2.6	4.5	88.8	4.1	
その他・ 無回答	96	2	7	77	10	
	100.0	2.1	7.3	80.2	10.4	

問13.2 なごや人権啓発センターの展示

全 体		3 回 以 上	1 ~ 2 回	な い	無 回 答
1741		3	36	1598	104
100.0		0.2	2.1	91.8	6.0
男性	761	1	13	706	41
	100.0	0.1	1.7	92.8	5.4
女性	884	2	20	813	49
	100.0	0.2	2.3	92.0	5.5
その他・ 無回答	96	0	3	79	14
	100.0	0.0	3.1	82.3	14.6

問13.3 広報なごや

全 体		3 回 以 上	1 ~ 2 回	な い	無 回 答
1741		60	246	1345	90
100.0		3.4	14.1	77.3	5.2
男性	761	26	107	591	37
	100.0	3.4	14.1	77.7	4.9
女性	884	28	128	688	40
	100.0	3.2	14.5	77.8	4.5
その他・ 無回答	96	6	11	66	13
	100.0	6.3	11.5	68.8	13.5

問13.4 テレビ・ラジオ

全 体		3 回 以 上	1 ~ 2 回	な い	無 回 答
1741		111	429	1126	75
100.0		6.4	24.6	64.7	4.3
男性	761	60	185	484	32
	100.0	7.9	24.3	63.6	4.2
女性	884	44	225	583	32
	100.0	5.0	25.5	66.0	3.6
その他・ 無回答	96	7	19	59	11
	100.0	7.3	19.8	61.5	11.5

問13.5 映画・DVD・ビデオ

全 体		3 回 以 上	1 ~ 2 回	な い	無 回 答
1741		53	194	1397	97
100.0		3.0	11.1	80.2	5.6
男性	761	29	84	608	40
	100.0	3.8	11.0	79.9	5.3
女性	884	20	100	720	44
	100.0	2.3	11.3	81.4	5.0
その他・ 無回答	96	4	10	69	13
	100.0	4.2	10.4	71.9	13.5

問13.6 インターネット

全 体		3 回 以上	1 ～ 2 回	ない	無 回 答
1741		105	183	1356	97
100.0		6.0	10.5	77.9	5.6
男性	761	64	92	570	35
	100.0	8.4	12.1	74.9	4.6
女性	884	37	82	717	48
	100.0	4.2	9.3	81.1	5.4
その他・ 無回答	96	4	9	69	14
	100.0	4.2	9.4	71.9	14.6

問13.7 冊子・パンフレット

全 体		3 回 以上	1 ～ 2 回	ない	無 回 答
1741		56	222	1361	102
100.0		3.2	12.8	78.2	5.9
男性	761	38	103	583	37
	100.0	5.0	13.5	76.6	4.9
女性	884	16	109	708	51
	100.0	1.8	12.3	80.1	5.8
その他・ 無回答	96	2	10	70	14
	100.0	2.1	10.4	72.9	14.6

問13.8 新聞

全 体		3 回 以上	1 ～ 2 回	ない	無 回 答
1741		127	426	1113	75
100.0		7.3	24.5	63.9	4.3
男性	761	76	205	452	28
	100.0	10.0	26.9	59.4	3.7
女性	884	43	209	598	34
	100.0	4.9	23.6	67.6	3.8
その他・ 無回答	96	8	12	63	13
	100.0	8.3	12.5	65.6	13.5

問13.9 雑誌

全 体		3 回 以上	1 ～ 2 回	ない	無 回 答
1741		81	178	1389	93
100.0		4.7	10.2	79.8	5.3
男性	761	59	97	572	33
	100.0	7.8	12.7	75.2	4.3
女性	884	18	76	743	47
	100.0	2.0	8.6	84.0	5.3
その他・ 無回答	96	4	5	74	13
	100.0	4.2	5.2	77.1	13.5

問13.10 ポスター

全 体		3 回 以上	1 ～ 2 回	ない	無 回 答
1741		79	216	1346	100
100.0		4.5	12.4	77.3	5.7
男性	761	47	111	564	39
	100.0	6.2	14.6	74.1	5.1
女性	884	25	100	711	48
	100.0	2.8	11.3	80.4	5.4
その他・ 無回答	96	7	5	71	13
	100.0	7.3	5.2	74.0	13.5

問13.11 たれ幕・立看板

全 体		3 回 以上	1 ～ 2 回	ない	無 回 答
1741		63	139	1438	101
100.0		3.6	8.0	82.6	5.8
男性	761	44	82	597	38
	100.0	5.8	10.8	78.4	5.0
女性	884	17	50	768	49
	100.0	1.9	5.7	86.9	5.5
その他・ 無回答	96	2	7	73	14
	100.0	2.1	7.3	76.0	14.6

問14 学校で同和問題（部落差別）についての授業を受けたことがありますか

全 体		小 学 校	中 学 校	高 等 学 校 （ 旧 制 中 学 校 ）	短 期 大 学 ・ 大 学 （ 門 校 ）	学 校 で は 受 け た こ と が な い	覚 え て い な い	無 回 答
1741		220	251	93	44	633	642	28
100.0		12.6	14.4	5.3	2.5	36.4	36.9	1.6
男性	761	86	112	39	21	302	258	12
	100.0	11.3	14.7	5.1	2.8	39.7	33.9	1.6
女性	884	126	130	51	19	297	342	13
	100.0	14.3	14.7	5.8	2.1	33.6	38.7	1.5
その他・ 無回答	96	8	9	3	4	34	42	3
	100.0	8.3	9.4	3.1	4.2	35.4	43.8	3.1

問15 人権課題について、人権教育や人権啓発に何を期待しますか

全 体		解 人 権 を 深 め る に よ つ う い て す る 理								
1741		757	255	364	739	244	178	86	407	38
100.0		43.5	14.6	20.9	42.4	14.0	10.2	4.9	23.4	2.2
男性	761	329	122	135	290	103	64	53	178	15
	100.0	43.2	16.0	17.7	38.1	13.5	8.4	7.0	23.4	2.0
女性	884	401	120	213	420	129	103	32	191	19
	100.0	45.4	13.6	24.1	47.5	14.6	11.7	3.6	21.6	2.1
その他・ 無回答	96	27	13	16	29	12	11	1	38	4
	100.0	28.1	13.5	16.7	30.2	12.5	11.5	1.0	39.6	4.2

問16 同和問題（部落差別）についての啓発・教育を今後どうすべきだと思いますか

全 体		き も つ と 積 極 的 に 行 う べ き	現 在 の ま ま で よ い	特 に 行 う 必 要 が な い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
		1741	576	300	187	68	580
	100.0	33.1	17.2	10.7	3.9	33.3	1.7
男性	761	239	151	108	29	222	12
	1000	31.4	19.8	14.2	3.8	29.2	1.6
女性	884	314	134	63	37	321	15
	1000	35.5	15.2	7.1	4.2	36.3	1.7
その他・ 無回答	96	23	15	16	2	37	3
	1000	24.0	15.6	16.7	2.1	38.5	3.1

問17 同和問題の解決のためどのようなことを行ったらよいと思いますか

全 体		や 同 啓 発 活 動 に 関 連 す る 推 進 す る 教 育	充 た め す る 機 会 に 関 す る 設 置 を	同 和 問 題 に 関 す る 被 害 者 の 権 利 を 保 護 す る	同 和 問 題 に 関 す る 被 害 者 の 権 利 を 保 護 す る	同 和 問 題 に 関 す る 被 害 者 の 権 利 を 保 護 す る	同 和 問 題 に 関 す る 被 害 者 の 権 利 を 保 護 す る	同 和 問 題 に 関 す る 被 害 者 の 権 利 を 保 護 す る	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
		1741	614	409	442	346	358	83	508	39	
	1000	35.3	23.5	25.4	19.9	20.6	4.8	29.2	2.2		
男性	761	267	151	172	137	151	46	220	15		
	1000	35.1	19.8	22.6	18.0	19.8	6.0	28.9	2.0		
女性	884	329	240	251	196	192	35	250	19		
	1000	37.2	27.1	28.4	22.2	21.7	4.0	28.3	2.1		
その他・ 無回答	96	18	18	19	13	15	2	38	5		
	1000	18.8	18.8	19.8	13.5	15.6	2.1	39.6	5.2		

問18 「部落差別の解消の推進に関する法律」を知っていますか

全 体		知 っ て い る	は と 法 律 の 名 前 は 内 容 は ま た こ の ま ま で は な い	知 ら な い	無 回 答
		1741	60	249	1398
	1000	3.4	14.3	80.3	2.0
男性	761	39	135	573	14
	1000	5.1	17.7	75.3	1.8
女性	884	18	105	745	16
	1000	2.0	11.9	84.3	1.8
その他・ 無回答	96	3	9	80	4
	1000	3.1	9.4	83.3	4.2

問19 今の日本が基本的人権が尊重されている社会だと思いますか

全 体		そ う 思 う	思 ど う か と い え ば そ う	は ど 思 わ な か い と い え ば そ う	そ う は 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
		1741	144	826	325	184	231
	1000	8.3	47.4	18.7	10.6	13.3	1.8
男性	761	94	386	119	82	68	12
	1000	12.4	50.7	15.6	10.8	8.9	1.6
女性	884	44	404	189	90	142	15
	1000	5.0	45.7	21.4	10.2	16.1	1.7
その他・ 無回答	96	6	36	17	12	21	4
	1000	6.3	37.5	17.7	12.5	21.9	4.2

Q1 あなたの性別をご記入ください

全 体		男 性	女 性	そ の 他	無 回 答
1741		761	884	96	87
100.0		43.7	50.8	5.5	5.0
男性	761	761	-	-	-
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
女性	884	-	884	-	-
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
その他・ 無回答	96	-	-	9	87
	100.0	0.0	0.0	9.4	90.6

Q2 あなたは何歳代ですか

全 体		1 8 ～ 2 9 歳	3 0 ～ 3 9 歳	4 0 ～ 4 9 歳	5 0 ～ 5 9 歳	6 0 ～ 6 9 歳	7 0 ～ 7 9 歳	8 0 歳 以上	無 回 答
1741		173	221	314	288	276	277	141	51
100.0		9.9	12.7	18.0	16.5	15.9	15.9	8.1	2.9
男性	761	71	90	137	134	139	132	58	0
	100.0	9.3	11.8	18.0	17.6	18.3	17.3	7.6	0.0
女性	884	98	127	172	147	130	137	73	0
	100.0	11.1	14.4	19.5	16.6	14.7	15.5	8.3	0.0
その他・ 無回答	96	4	4	5	7	7	8	10	51
	100.0	4.2	4.2	5.2	7.3	7.3	8.3	10.4	53.1

Q3 あなたの職業は何ですか

全 体		ど の 事 業 主 (自 営 業 主 ・ 自 由 職 業 者)	自 営 業 主 (商 工 事 業 主 ・ 自 由 職 業 者)	家 族 従 事 者 (自 由 職 業 者)	公 務 員	教 員	企 業 ・ 役 員 ・ 団 体 の 経 営 者	企 業 ・ 団 体 の 勤 め 人	臨 時 雇 用 ・ 非 正 規 雇 用 ・ マ ー ケ ッ ト リ セ ン ス ・ パ ー ト タイ ム 社 員	そ の 他 の 有 業 者	家 事 専 業 者	学 生	無 職	無 回 答
1741		120	30	64	24	44	454	297	32	204	58	357	57	
100.0		6.9	1.7	3.7	1.4	2.5	26.1	17.1	1.8	11.7	3.3	20.5	3.3	
男性	761	83	6	36	8	38	279	67	19	1	22	198	4	
	100.0	10.9	0.8	4.7	1.1	5.0	36.7	8.8	2.5	0.1	2.9	26.0	0.5	
女性	884	33	23	23	16	6	167	227	10	200	36	143	0	
	100.0	3.7	2.6	2.6	1.8	0.7	18.9	25.7	1.1	22.6	4.1	16.2	0.0	
その他・ 無回答	96	4	1	5	0	0	8	3	3	3	0	16	53	
	100.0	4.2	1.0	5.2	0.0	0.0	8.3	3.1	3.1	3.1	0.0	16.7	55.2	

同和問題(部落差別)についての 市民意識調査票

名古屋市

お答えいただくにあたってのお願い

- 1 お答えいただくのは、この調査票をお送りしたあて名の方ご本人にお願いします。
- 2 お答えは、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
- 3 お答えの中で「その他」を選ばれた場合は、お手数ですが()内に具体的に内容をご記入ください。
- 4 質問にお答えいただきましたら、同封の封筒に入れて、令和2年11月2日(月)までにご返送ください。(切手は不要です。)
- 5 お答えいただいた内容は、統計を作るためだけに使います。また、調査票は無記名で、個人が特定されることは一切ありませんので、ご安心ください。

【質問1】 日本国憲法の第14条には、「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」と定められています。あなたは「差別」ということについてどうお考えですか。

(I～IVのそれぞれについてあてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

I 同じように仕事ができるのに、性別だけで昇進に差をつけることは	
1 差別だと思う	69.7%
2 差別でないと思う	3.0
3 いちがいにいけない	24.9
4 わからない	1.7
	無回答 0.6
II 家柄が違うということで、結婚に反対することは	
1 差別だと思う	49.5%
2 差別でないと思う	7.2
3 いちがいにいけない	39.2
4 わからない	3.6
	無回答 0.5
III 人を雇うときに身元調査（聞き合わせ）をすることは	
1 差別だと思う	23.4%
2 差別でないと思う	29.8
3 いちがいにいけない	42.9
4 わからない	3.2
	無回答 0.7
IV 結婚のときに相手の身元調査（聞き合わせ）をすることは	
1 差別だと思う	17.9%
2 差別でないと思う	32.6
3 いちがいにいけない	45.5
4 わからない	3.2
	無回答 0.8

【質問2】 あなたは同和問題（部落差別）を知っていますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1 よく知っている	9.1%
2 少しは知っている	39.7
3 聞いたことがある	36.5
4 まったく知らない	13.6
	無回答 1.2

【質問3】 あなたが同和問題（部落差別）を初めて知ったり、聞いたりしたきっかけは、誰からまたは何からですか。

（あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。）

1	家族(祖父母、父母、兄弟姉妹など)から聞いた	19.6%
2	親戚の人から聞いた	1.0
3	近所の人から聞いた	2.2
4	友人から聞いた	6.1
5	職場の人から聞いた	4.9
6	学校の授業で教わった	18.9
7	テレビ・ラジオ・新聞・映画・本などで知った	16.1
8	インターネットで知った	2.4
9	講演会や研修会で知った	2.8
10	広報なごや・啓発冊子「同和問題と人権」などで知った	1.4
11	その他()	1.5
12	覚えていない	9.2
13	このアンケート調査で初めて知った	13.0
	無回答	0.7

【質問4】 あなたが同和問題（部落差別）について初めて知ったり、聞いたりしたのは、いつ頃のことですか。（あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。）

1	6歳未満(小学校に入学する前)	0.9%
2	6歳～12歳未満(小学生の頃)	21.6
3	12歳～15歳未満(中学生の頃)	17.3
4	15歳～19歳未満	11.0
5	19歳以降	21.5
6	覚えていない	13.6
7	このアンケート調査で初めて知った	13.4
	無回答	0.7

同和問題（部落差別）とは、「同和地区」や「被差別部落」などとよばれる地域の出身であることや、そこに住んでいるというだけの理由でいわれなき差別や不利益を受け、基本的人権や人間としての尊厳がおびやかされ、侵されているという日本固有の人権問題です。

【質問5】 あなたが同和問題（部落差別）を初めて知ったり、聞いたりしたとき、どう思いましたか。（あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。）

1	差別があることを許せないと思った	5.9%
2	なぜ差別が存在するのか不思議に思った	40.6
3	どういうことなのかよくわからなかった	20.0
4	同和地区の人をかわいそうに思った	7.1
5	自分は同和地区に生まれなくてよかったと思った	4.2
6	何となく自分たちと違うと思った	5.6
7	自分には関係ないことと思った	4.7
8	その他()	2.4
9	覚えていない	4.3
10	わからない	4.6
	無回答	0.6

【質問6】 同和問題（部落差別）について、現在あなたはどのようにお考えですか。（あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。）

1	人間の自由や平等にかかわる問題なので、自分も市民の一人としてこの問題の解決に努力すべきだと思う	36.6%
2	同和地区の人々の問題であるから、自分には関係ないと思う	2.3
3	あまり騒がずにそっとしておくのがよいと思う	19.2
4	特に関心がない	16.8
5	その他()	5.7
6	わからない	18.5
	無回答	0.9

【質問7】 かりに、日ごろ親しくつきあっている職場の人や近所の人が、同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか。（あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。）

1	これまでと同じように親しくつきあう	81.4%
2	表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく	4.9
3	つきあいはやめてしまう	0.5
4	その他()	0.9
5	わからない	11.6
	無回答	0.6

【質問 8】 かりに、あなたの親類や親しい人の結婚しようとしている相手が、同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1	本人の意思を尊重する	73.6%
2	自分がかまわないが、世間へのてまえがあるから、できれば結婚してほしくない	5.4
3	結婚することには反対する	2.5
4	その他()	2.1
5	わからない	15.6
	無回答	0.9

【質問 9】 かりに、あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1	子どもの意思を尊重する	59.7%
2	親として反対するが、子どもの意思が強ければしかたない	15.8
3	家族や親類の反対があれば、結婚を認めない	2.4
4	絶対に結婚を認めない	1.8
5	その他()	3.5
6	わからない	16.0
	無回答	0.8

【質問 10】 かりに、あなたが同和地区出身の人と恋愛をし、結婚しようとしたとき、家族や親類の人から強い反対を受けたら、あなたはどうされますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1	自分の意思を貫いて結婚する	23.8%
2	親の説得に全力を傾けた後に、自分の意思を貫いて結婚する	39.2
3	説得した結果、家族や親類の反対があれば結婚しない	10.7
4	絶対に結婚しない	1.4
5	その他()	1.8
6	わからない	22.2
	無回答	0.8

【質問 11】 あなたは、同和問題（部落差別）に関して、インターネット上で差別しているのを見たことがありますか。それはどのようなものですか。
 （あてはまる番号すべてに○印をつけてください。）

1	同和地区出身者を ^{ひぼう} 誹謗・中傷する表現	5.6%
2	同和地区を特定し、そこに住む人々を ^{ひぼう} 誹謗・中傷する表現	4.3
3	同和地区出身者に対する差別などをあおる表現	4.8
4	同和地区に関する情報	7.8
5	その他()	0.4
6	差別しているのを見たことがない	54.1
7	インターネットを利用したことがない	17.6
8	わからない	11.9
	無回答	0.9

【質問 12】 あなたは、同和問題（部落差別）に関して、現在どのような人権問題が起きていると思いますか。（あてはまる番号すべてに○印をつけてください。）

1	結婚問題で周囲が反対すること	37.8%
2	就職・職場で不利な扱いを受けること	28.0
3	差別的な発言を受けること	31.6
4	差別的な落書きがあること	11.0
5	結婚に際して身元調査(聞き合わせ)が行われること	20.2
6	就職に際して身元調査(聞き合わせ)が行われること	16.7
7	同和地区やそこで生活する住民との交流や交際を避けたりすること	24.0
8	住宅を選ぶ際に、同和地区や同和地区を含む小学校区にある物件を避けること	24.7
9	インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること	14.7
10	その他()	1.6
11	特にない	8.5
12	わからない	30.7
	無回答	0.8

【質問 13】 あなたは、同和問題（部落差別）に関連する講演会や研修会に参加したり、新聞やテレビ・ラジオなどで同和問題（部落差別）に関連したことを見たり、聞いたり、読んだりしたことが何回ありますか。

（1～11のそれぞれについてA、B、Cのいずれかに○印をつけてください。）

事 項	3回以上	1～2回	ない	無回答
1 講演会・講座・研修会への参加	3.4%	6.0%	86.5%	4.1%
2 なごや人権啓発センター（※）の展示	0.2	2.1	91.8	6.0
3 広報なごや	3.4	14.1	77.3	5.2
4 テレビ・ラジオ	6.4	24.6	64.7	4.3
5 映画・DVD・ビデオ	3.0	11.1	80.2	5.6
6 インターネット	6.0	10.5	77.9	5.6
7 冊子・パンフレット	3.2	12.8	78.2	5.9
8 新聞	7.3	24.5	63.9	4.3
9 雑誌	4.7	10.2	79.8	5.3
10 ポスター	4.5	12.4	77.3	5.7
11 たれ幕・立看板	3.6	8.0	82.6	5.8

（※）なごや人権啓発センター（伏見ライフプラザ 12 階）

愛称「ソレイユプラザなごや」は、市民のみなさん一人ひとりが様々な人権問題について、気づき・学び・行動するための機会を提供するとともに、学校・地域・企業をはじめとする様々な団体・グループが人権研修や人権学習の際に利用できる施設です。

【質問 14】 あなたは、学校で同和問題（部落差別）についての授業を受けたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○印をつけてください。）

1	小学校	12.6%
2	中学校	14.4
3	高等学校(旧制中学校なども含む)	5.3
4	短期大学・大学・大学院(高等専門学校、専門学校なども含む)	2.5
5	学校では受けたことがない	36.4
6	覚えていない	36.9
	無回答	1.6

【質問 15】 あなたは、同和問題（部落差別）などの人権課題について、学校や社会で行っている人権教育や人権啓発に何を期待しますか。（あてはまる番号すべてに○印をつけてください。）

1	あらゆる偏見や差別をなくすため、同和問題（部落差別）などの人権課題についての理解を深めるようにする	43.5%
2	同和問題（部落差別）などの人権課題解決への市民の意欲と実践力を高めるようにする	14.6
3	ボランティア活動や高齢者との交流などを通じて人を思いやる心を育成するようにする	20.9
4	自分の大切さに気づくことができるとともに、他の人の大切さも認めることができるようにする	42.4
5	地域の実情に応じた様々な学習機会を提供し、地域交流の促進をはかるようにする	14.0
6	同和問題（部落差別）などの人権課題をなごや人権啓発センターなどの公的施設で学んだり調べたりすることができるための資料や講座を充実させる	10.2
7	その他()	4.9
8	わからない	23.4
	無回答	2.2

【質問 16】 あなたは、同和問題（部落差別）についての啓発・教育を今後どうすべきだと思いますか。（あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。）

1	もっと積極的に行うべきである	33.1%
2	現在のままでよい	17.2
3	特に行う必要がない	10.7
4	その他()	3.9
5	わからない	33.3
	無回答	1.7

【質問 17】 あなたは、同和問題（部落差別）の解決のためどのようなことを行ったらよいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○印をつけてください。）

1	同和問題(部落差別)に関する教育や啓発活動を推進する	35.3%
2	同和問題(部落差別)に関する相談のための機関・施設を充実する	23.5
3	同和問題(部落差別)に関して人権が侵害された被害者の救済を充実する	25.4
4	同和地区の人の収入の安定・向上をはかり生活力を高める	19.9
5	同和地区内外の人たちが交流を活発にし、まちづくりをすすめる	20.6
6	その他()	4.8
7	わからない	29.2
	無回答	2.2

【質問 18】 あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律（※）」を知っていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。）

1	知っている	3.4%
2	法律の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない	14.3
3	知らない	80.3
	無回答	2.0

【質問 19】 あなたは、今の日本が基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。（あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。）

1	そう思う	8.3%
2	どちらかといえばそう思う	47.4
3	どちらかといえばそうは思わない	18.7
4	そうは思わない	10.6
5	わからない	13.3
	無回答	1.8

（※）「部落差別の解消の推進に関する法律」

現在も部落差別は存在し、部落差別が許されないものであるとの認識のもとに、部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現することを目的として、平成28年12月16日に施行されました。

最後に、あなた自身のことについてお伺いします。

【Q1】 あなたの性別をご記入ください。

1	男性	43.7%
2	女性	50.8
3	その他	0.5
	無回答	5.0

【Q2】 あなたの年齢(令和2年10月1日現在)についてお聞かせください。
(あてはまる番号に1つだけ〇印をつけてください。)

1	18～29歳	9.9%
2	30～39歳	12.7
3	40～49歳	18.0
4	50～59歳	16.5
5	60～69歳	15.9
6	70～79歳	15.9
7	80歳以上	8.1
	無回答	2.9

【Q3】 あなたの職業は何ですか。
(あてはまる番号に1つだけ〇印をつけてください。)

1	自営業主(商工サービス、建設業、自由業などの事業主)	6.9%
2	家族従事者(商工サービス、建設業、自由業などの家族従事の方)	1.7
3	公務員	3.7
4	教員	1.4
5	企業・団体の経営者、役員	2.5
6	企業・団体の勤め人	26.1
7	臨時雇、パートタイマー、派遣、契約社員などの非正規雇用	17.1
8	その他の有業者	1.8
9	家事専業者	11.7
10	学生	3.3
11	無職	20.5
	無回答	3.3

ご協力ありがとうございました。

お尋ねしたこと以外で、同和問題(部落差別)についてお考えのこと、お気づきのことがありましたら、お聞かせください。

質問は以上です。お手数ですが、回答もれや○印のつけ忘れ・つけすぎがないよう、もう一度お確かめください。

この調査票は、同封の封筒に入れて11月2日(月)までにご返送ください。

(切手は不要です。)

お問い合わせ先

名古屋おしえてダイヤル (受付時間 8:00~21:00 年中無休)

電話 <052> 953 - 7584 FAX <052> 971-4894

※電話番号のおかけ間違いにご注意ください

(調査実施担当)

名古屋市役所 スポーツ市民局人権施策推進室

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話 (052) 972-2582 FAX (052) 972-6453

URL <http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/49-3-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

名古屋市 人権 検索

令和2年度

同和問題（部落差別）についての市民意識調査報告書

発行：名古屋市スポーツ市民局人権施策推進室

発行年月：令和3年3月

発行部数：450部・特定

編集：(株)中部タイム・エージェント

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。